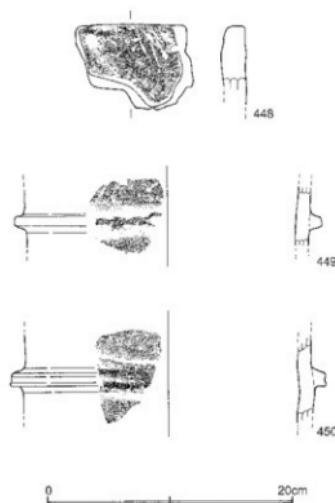


第56図 T・U・X・Z トレンチ土層断面図



第57図 Zトレンチ出土埴輪

包含層出土埴輪（第58図）

埴丘外表面および埴丘調査区の流上（表上）から埴輪片を採集している。出土した円筒埴輪片はいずれも小片であるが、口径25~30cm前後のが主体を占めるものと推定される。口縁端部は面取り調整を施すタイプと、環部内面側を若干摘み上げるタイプの2者がある。胴部には断面台形状を呈するタガが巡るが、その条数については不明である。器面調整は、口縁部外面付近については1次調整として斜位のハケメ調整を施したのち、A種ヨコハケによる2次調整を加える例が多い。胴部中位は比較的ストロークの長いA種ヨコハケを主体とする。胴部下位から底部外面にかけてはタテハケを基本としている。以上より出土した円筒埴輪は川西編年のⅡ期後半に比定できるものと判断される（川西 1978）。

円筒埴輪の他、朝顔形埴輪、家形埴輪、盾形埴輪の破片、散形埴輪の一部である可能性が考えられる形象埴輪小片等が出土した。このうち形象埴輪片の出土は後円部埴丘斜面と後円部埴頂主体部の壺掘坑埋土中に限定されており、基底部は確認していないものの、その出土状況から判断して本来は後円部埴頂に樹立していたものと推定される。

引用・参考文献

- 青柳 泰介 1995 「家形埴輪の製作技法について」『日本の美術』No348 家形埴輪』至文堂
- 酒 純一 2005 「水の祭祀場を表した埴輪と清水施設」『水と祭祀の考古学』学生社
- 高橋 克壽 1988 「器財埴輪の編年と古墳祭祀」『史林』第71巻第2号
- 宮本長二郎 1995 「古墳時代の家形埴輪」『日本原始古代の住居建築』中央公論美術出版社



第58図 包含層出土埴輪

大代古墳（前方後円墳：1号墳）の調査

墳丘構造（第2・3図）

墳丘斜面に直交あるいは平行に合計20ヵ所の試掘トレンチを設定し、墳丘規模および構造に関する調査を実施した。

墳丘形態は前方後円墳である。墳丘規模は全長約54m、後円部南北径約31m、同東西径約45.0m、前方部長約23m、括れ部第1段裾幅約18m、前方部第1段前面幅約21mである。墳丘高は後円部約6.7m、前方部約3.3mを測る。括れ部に張り出し部はない。

前方部、後円部ともに2段築成である。各段の規模は、後円部第1段裾外周径約40m、第1段テラス幅約1.5m、第1段テラス外周径約33m、後円部第2段裾外周径約31m、後円部墳頂（主体部周辺）平坦面直径約12mである。前方部第2段前面幅約12m、前方部平坦面前面幅約7m、括れ部第1段テラス外周幅約15m、括れ部第2段裾約10mを測る。

墳丘構造は前方部前面および後円部北側では、東西側面における第1段テラス檐ラインが墳丘裾となっており、前方部前面および後円部北側では第1段テラス外側に掘割溝を形成するという特異な墳丘構造を成し、東西側面における墳檐ラインは南北それぞれの掘割溝と連結収束している。これは古墳が立地する尾根の地形的条件により規制を大きく受けた結果によるものと思われるが、また東西側面をより壮大にみせるための配慮とも推定される。墳丘は基本的に地山削り出しで整形しており、盛土は補完的に用いられているものと考えられる。またトレンチの断面観察においては明瞭な版築状況は確認できない。

墳裾、および第1段テラスにいたる斜面裾部では一部で葺石を検出した。葺石はその出土状況から墳丘斜面全体ではなく、裾部を列石状に区画する構造をとる。和泉砂岩を主体とする割石と河原石を併用し、基底石の上に葺石を積み上げ、各段墳丘斜面部裾部外周に葺石を貼り付けて巡らせる。東側括れ部では河原石の割合が高いのに対し、前方部前面では逆に割石が多く用いられる傾向が認められた。葺石構築時における作業工程の一端を示唆している可能性がもたれる。また裾部を区画する基底石に人頭大程度のやや大型材を使用する傾向も認められる。

第1段テラス上、および前方部第2段前面墳頂平坦面において円筒埴輪の基底部を確認した。基底部は中心点間の距離がいずれも約90cmを測り、一定の基準にもとづいて埋設されたものとみられる。出土した円筒埴輪片はいずれも小片であるため、詳細のわかるものは少ない。円筒埴輪口縁部については口径を計測しうる例が殆ど出土していないが、25~30cm前後に收まるものが主体を占めるものと推定される。口縁端部は面取り調整を施すタイプと、端部内面側を若干摘み上げるタイプの2者がある。胴部には断面台形状を呈するタガが巡るが、その条数については不明である。透かし孔は円孔に復元されるものの数点を確認している。器面調整は、口縁部外面付近については1次調整として斜位のハケメ調整を施したのち、A種ヨコハケによる2次調整を加える例が多い。胴部中位は比較的ストロークの長いA種ヨコハケを主体とする。胴部下位から底部外面にかけてはタテハケを基本としている。以上より大代古墳出土の円筒埴輪は川西編年のⅡ期後半に比定できるものと判断される（川西 1978）。

このほか墳丘調査区の流土内からは朝顔形埴輪、家形埴輪、盾形埴輪の破片、鞍形埴輪の一部である可能性が考えられる形象埴輪小片等が出土した。このうち形象埴輪片の出土は後円部墳丘斜面と後円部墳頂主体部の盗掘坑埋土中に限定されており、基底部は確認していないものの、その出土状況から判断して本来は後円部墳頂に樹立していたものと推定される。

豎穴式石室の構造（第59～64図）

後円部墳頂中央部において南北を主軸とする豎穴式石室1基を検出した。石室内には削抜式舟形石棺を安置する。後世の盗掘時に石室の上半部分が破壊を受けており、上部構造を窺うことはできない。また石棺も蓋は遺存していなかった。

墓廣は南北約7.4m、東西約4.5m、深さ約80cmを測る長方形状の平面形を呈し、地山を約50°の角度で斜位に掘り込んでいる。石室は内法で長さ3.7m、北小口幅1.1m、南小口幅1.0mで、北小口側がやや広くなる。主軸方向はN-10°-Eで、ほぼ南北方向を志向する。壁体は結晶片岩板石による長手積みによって構築されており、北小口部で2段約10cm、南小口部で7段約35cmが遺存する。残存部をみると限り、壁体はほぼ垂直に積まれている。

壁体に用いられている結晶片岩は徳島平野、吉野川南岸の眉山山麓ないし鯖喰川周辺において採取されたものと推定される。詳細に観察すると、これら結晶片岩はさらに緑色片岩、紅簾片岩、雲母片岩、綠泥片岩の4種に細分することが可能である。上記4種の比率は、緑色片岩70.5%、紅簾片岩27.9%、雲母片岩0.8%、綠泥片岩0.8%であり、古代古墳では緑色片岩が主体を占めていることが判る。

主体部の構築順序は以下のように復元される。まず墓塼中央底面に小型の河原円礫（和泉砂岩）を多く含む肌理の粗い粘質土を厚さ約15～20cm程度敷き、礫床とする。礫床上に石棺を安置し、その外周圍に棺身中位まで拳大の河原円礫（和泉砂岩）を置き石棺を固定する。最後に石棺の四方を開こうように円礫上に結晶片岩板石を積み上げて石室を構築する。なお壁体の控え積みには持ち送りが認められる。控え積みの結晶片岩板石間にには肌理の粗い粘質土の充填も確認された。石室上部の構造は不明であるが、石室上部は控え積みの板石が中央に向けて求心状に上方に一定の傾斜角を有することから、ドーム状となる可能性がもたれる。

石棺の形態（第66図）

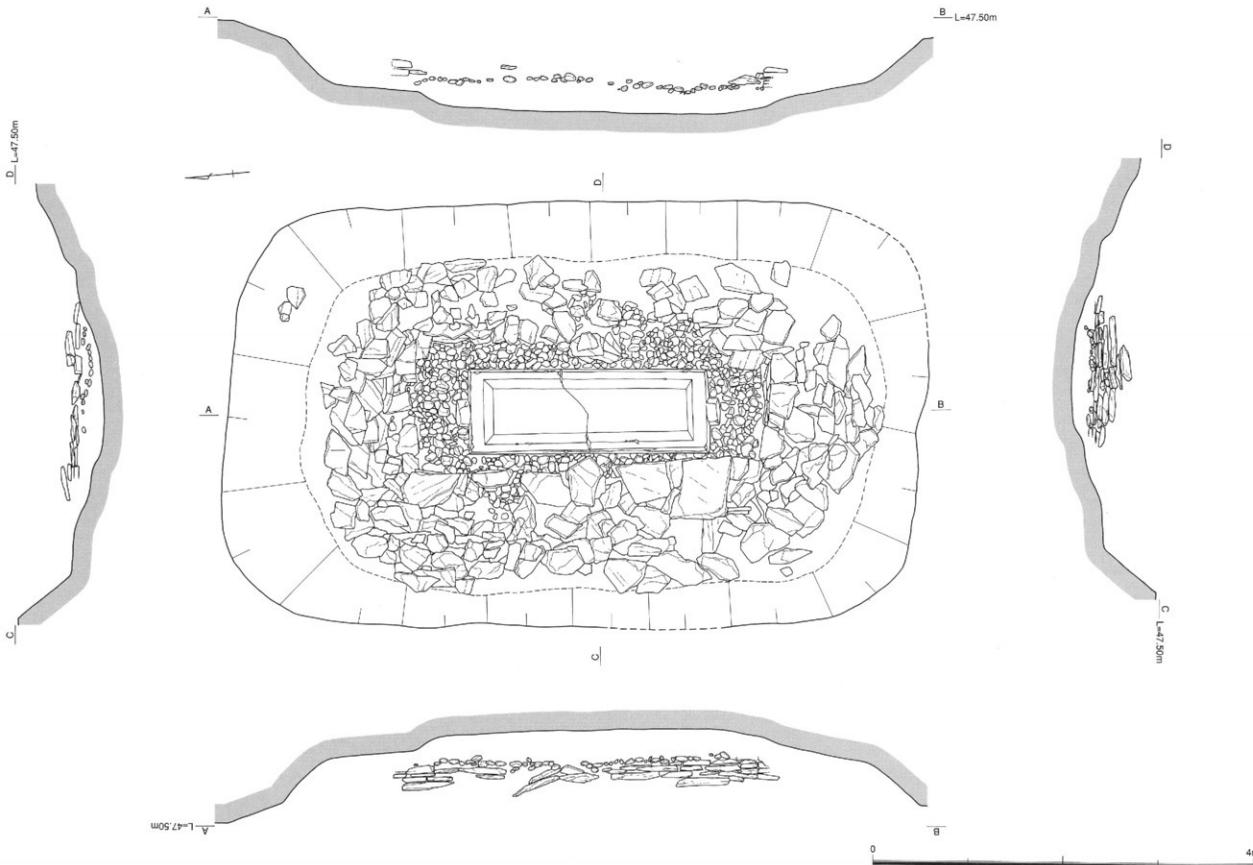
石棺は豎穴式石室のほぼ中央に安置されている。石室の長軸側壁と棺身外側面間が20cm未満と狭いのに対し、南北向小口部では壁体との間に約60cmの空間が存在している。石棺規模は繩掛突起を含む全長が2.84m、内法長2.23m、全幅87cm、内法上端幅66cm、深さは約42cm、同内法24cmを測る。

両小口部外側面にそれぞれ繩掛突起を有し、四壁は直線的な面加工を基調としている。外側面はほぼ垂直に立ち上がり、底面短幅の外縁部にのみ緩い曲面加工を施して底部を舟底状に仕上げている。内側面は向長軸側面および北小口側面が床面に向けて直線的に若干傾斜をもたせているのに対し、南小口側面のみほぼ垂直に立ち上げる。床面はフラットに整形されており、特徴的な形態を示す。石枕状のレリーフは認められない。なお内側面の傾斜角は南半部分が比較的緩くなっている。上記諸属性は削抜式舟形石棺の特徴を備えているといえよう。

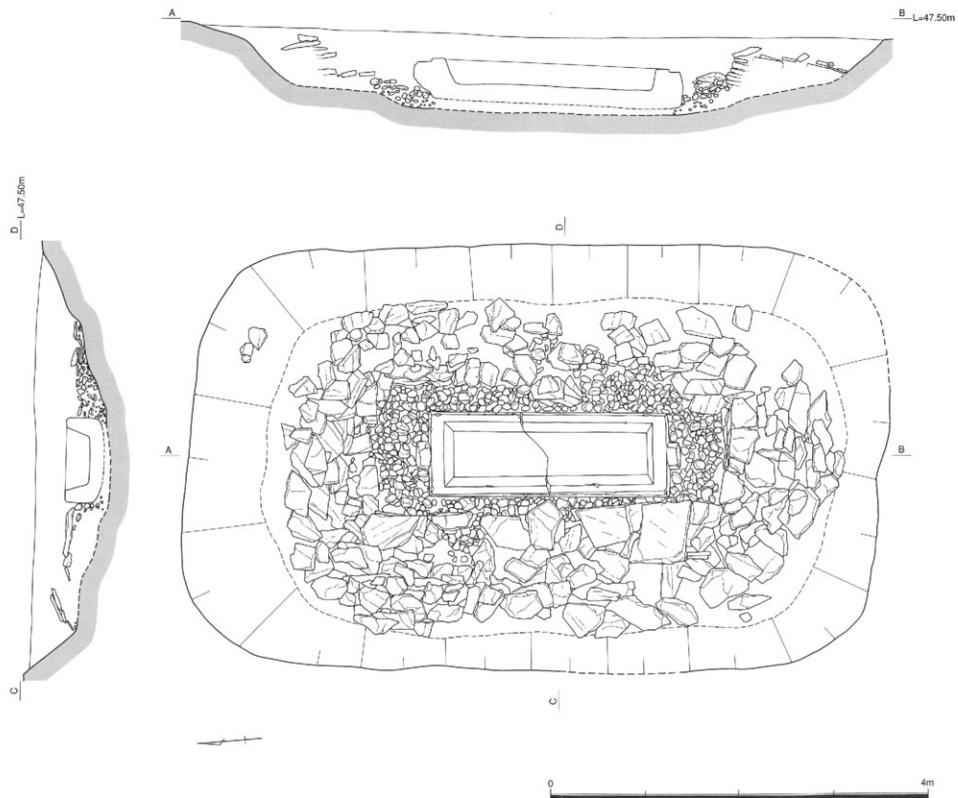
棺石材は肉眼観察によれば、香川県さぬき市（旧・大川郡）津田町火山に産する白色凝灰岩である可能性が強い。香川県さぬき市（旧・大川郡）の大川町と津山村の町境（JR讃岐津田駅南）にある標高約228mの火山（ひやま）山腹から相地崎北麓にかけては「白粉石」とよばれる石英粗面岩質の凝灰岩が産出することで知られる。この凝灰岩は白～薄赤茶色を呈し、ザクロ石を特徴的に含む。

古代古墳出土の石棺は、主に石英・長石からなる白色粗粒の砂～小砾、および薄赤～薄茶色の細粒シルトで構成されている。石棺長軸に沿って平行ラミナや級化構造などの堆積構造が観察される。凝灰物質を含む礫層、砂層、シルト～泥層から成り、各層とも特徴的にザクロ石を含んでいる（横断面調査概

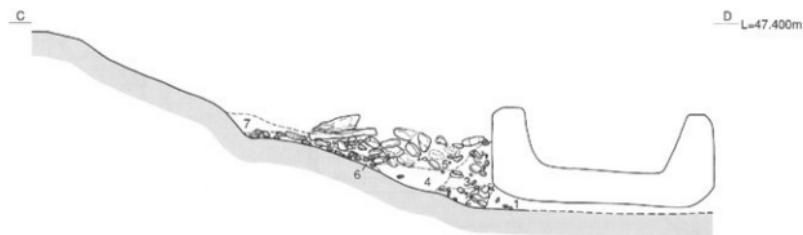
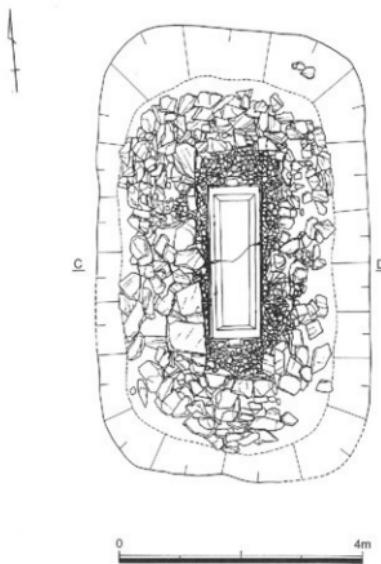




第59図 大代古墳石室平・立面図

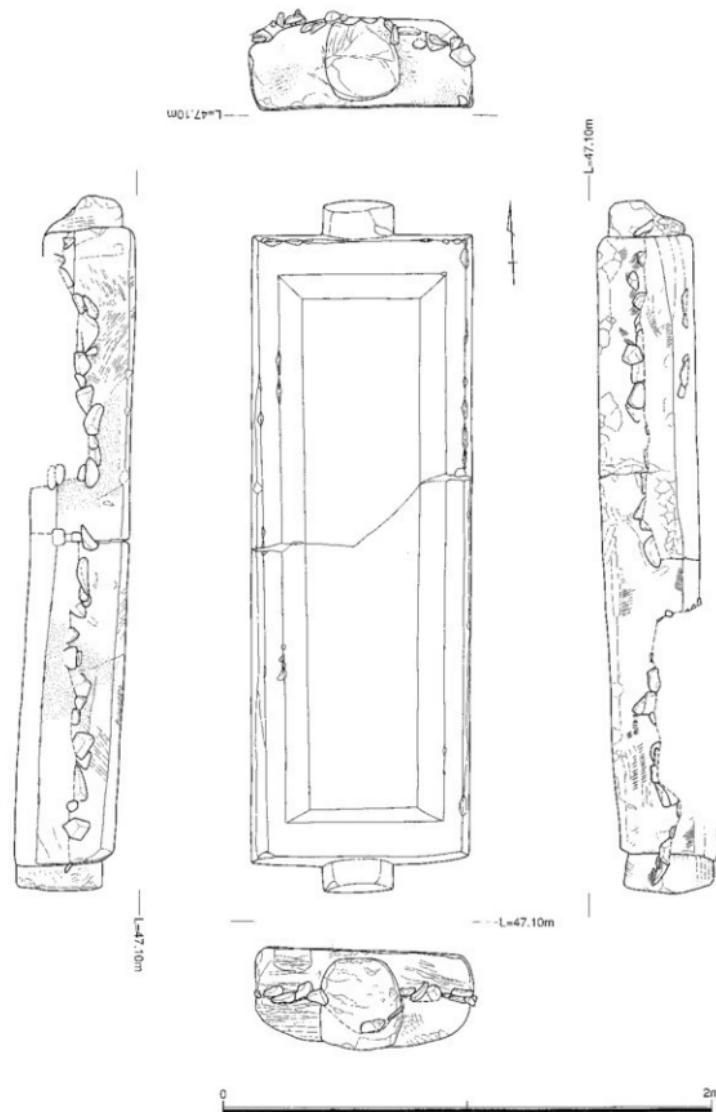


第60図 大代古墳主体部平・断面図

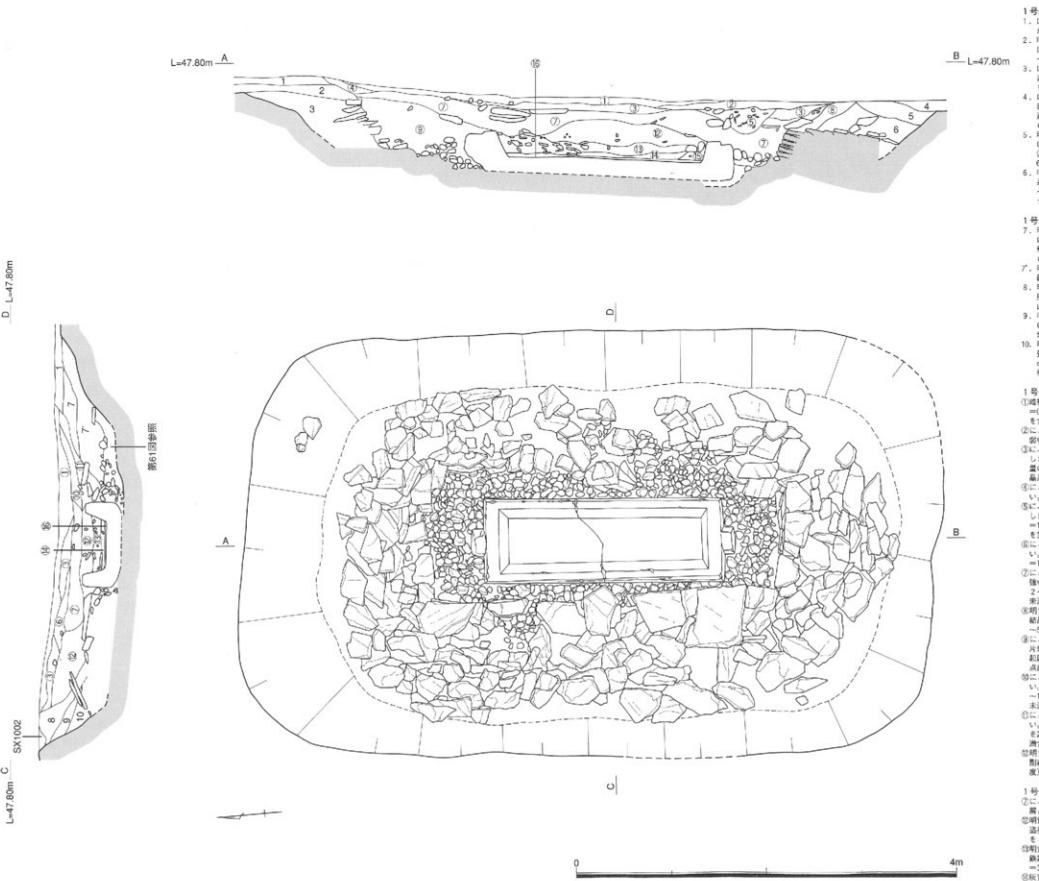


- 1号墳主体部礎床（東中央部）
1. 貴褐色 10YR5/6 砂質土（地山系風化土。粘性わずかにあり。 $\phi=2\sim4cm$ の和泉系砂岩円礎を15~20%含む。格床。)
 2. 円礎層 ($\phi=2\sim5cm$ の和泉系砂岩円礎層。礎間に貴褐色10YR5/6砂質土が充填。)
 3. 明黄褐色 10YR6/6 砂質土（地山系風化土。粘性なし。 $\phi=2\sim4cm$ の和泉系砂岩河原円礎を40%含む。2、3層で礎の周囲を固定したものと想定される。2、3層は礎の密度が高い。)
 4. 貴褐色 10YR5/6 砂質土（地山系風化土。粘性わずかにあり。しまり種めでよい。円礎は5%未満で殆ど含まない。)
 5. 河原円礎層（円礎含有率80~80%。礎間にふい黄褐色10YR6/4砂質土、土は盪振坑埋土と流土による二次的な堆積土。礎は和泉系砂岩で、 $\phi=5\sim15cm$ 。特に $\phi=10\sim15cm$ を主体とする。1~4層の礎よりも明らかに大きい礎を使用している。）
 6. 貴褐色 10YR5/6 砂質土（1~3層と同様。 $\phi=2\sim3cm$ の小型円礎を60%以上含む。）
 7. 明黄褐色 10YR6/6 砂質土（基壠埋土である。地山系風化土、砂岩系円礎は含まない。粘性弱い。しまり良し。）

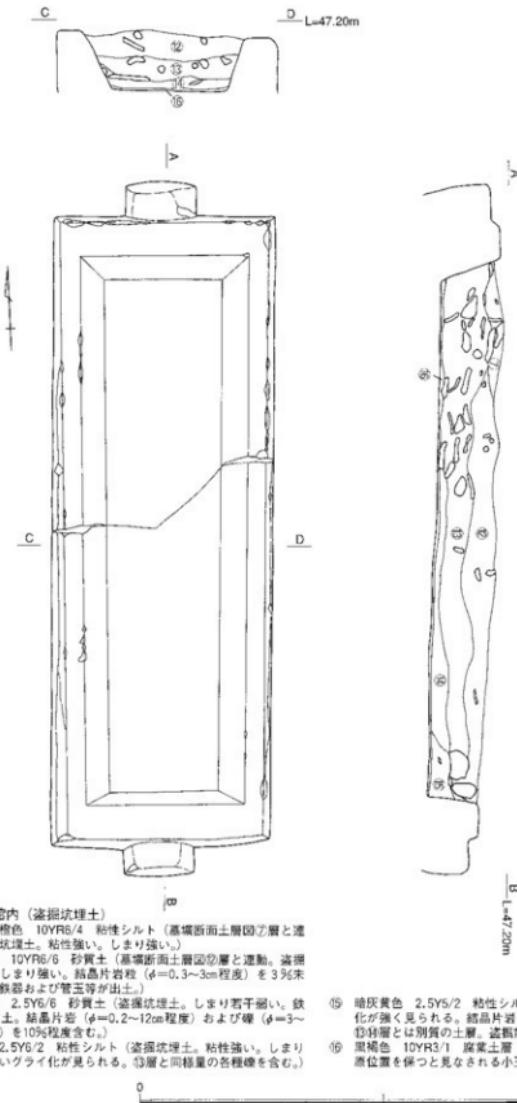
第61図 大代古墳石室礎床断面図



第62図 大代古墳刳抜式舟形石棺平・立面図



63図 大代古墳主体部墓壙平・土層断面図



第64図 大代古墳石棺内埋土土層断面図

報2000)。

上記の観察結果から、大代古墳出土石棺は、この火山付近の白色凝灰岩と酷似することから、該地において原材を切り出したものと考えられる。

石棺の表面には、棺の製作加工痕（削痕 長さ5~10cm、幅0.9~1.2cm程度）が全面に残る。また内底面には倒り抜く際の敲打痕も見られる。

石棺外底面を除く棺の内外全面において水銀朱の塗布が確認された。特に床面北小口部付近において水銀朱が明瞭に遺存している。形態上の諸特徴からも矛盾はないことから、被葬者は北頭位に埋葬されたものと判断される。

引用・参考文献

齊藤実・中山一義 1954「香川県の地質について（その1）東讃地方の新生代層—讃岐層群を中心に」『香川大学農学部学術報告』第5巻 香川大学農学部

齊藤実・坂東祐司・馬場幸秋 1962『香川県地質図および同説明書』内場地下工業(株)高松

副葬品の出土状況（第65図）

主体部内には多くの副葬品が遺存していたが、そのほとんどは盜掘坑埋土中より出土しており、原位置を遊離した状態であった。

原位置に近い状態で出土した遺物は、石棺内床面北小口部の水銀朱集中地点周辺で確認された滑石製白玉28点、緑色凝灰岩製管玉1点、棺外東側面北半部沿いの棺身周囲を固定する円環上で確認された鉄劍1振のみである。

盜掘坑埋土中より出土した遺物には銅鏡片（獸形鏡）4点、緑色凝灰岩製管玉4点、滑石製白玉581点、銅鏡6点、鐵鏡20点、鐵劍片30点、鉄刀片10点、鉄鉢片10点、短甲片（長方板革綴短甲）69点、鉤先2点、鉄斧6点、刀子9点、鎌7点、鐵鏟2点、手鍊1点、鐵盤4点などがある。これら原位置を遊離した遺物の多くは石室北小口部の棺外から出土する傾向が認められたことから、本来副葬品の多くは石室北半部を中心として棺外周間に安置されていた可能性が考えられる。

出土遺物

青銅器

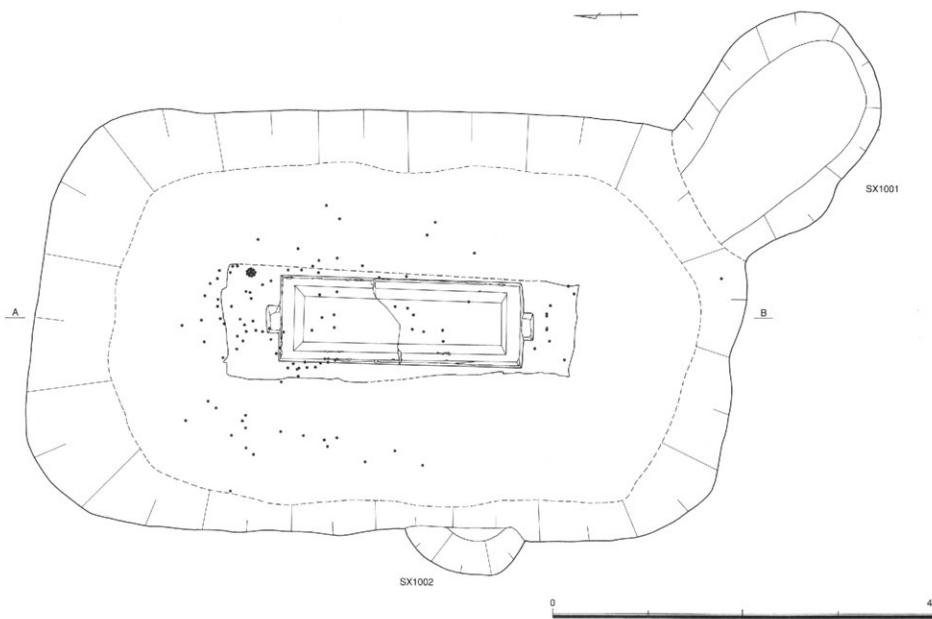
1号墳主体部盜掘坑埋土等から数点の出土がみられた。いずれも原位置は遊離した状態であり、かつ小片であるため詳細の判明するものは少ない。

青銅鏡（第70図-475~480）

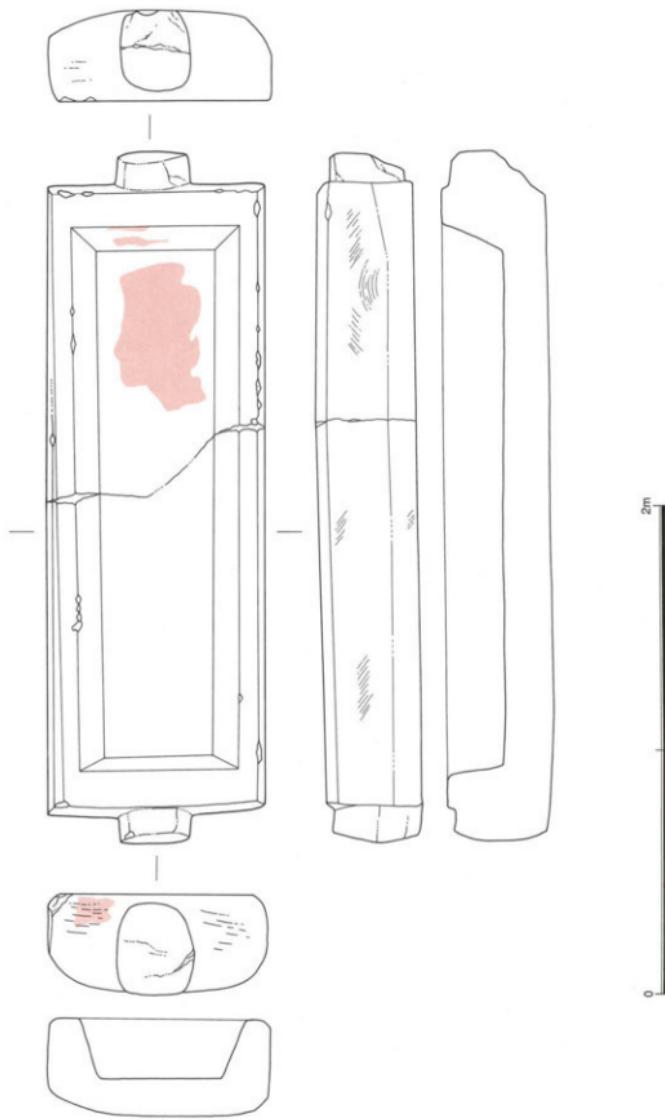
青銅鏡片を6点確認している。477・480はSX1001の埋土中からの出土である。その他は1号墳主体部の盜掘坑埋土中からの出土である。いずれも原位置は遊離しており、また小片のため詳細は不明である。475は薄錐縁の鏡縁を呈するが、文様構成等詳細は不明である。推定面径は8.5cm前後と思われる。形式が判明するものとしては獸形鏡（476・477）が確認できる。鏡縁は平縁であるが、僅かに斜縁を呈する。外区に二重の鋸齒文帯、その内面に一重の櫛齒文帯が巡る。内区との境は圓線を介して細かな乳文が配される。内区上文部の文様構成は不明であるが、獸が抽象的に表現される。推定面径は13.0cm前

L=47.80m A

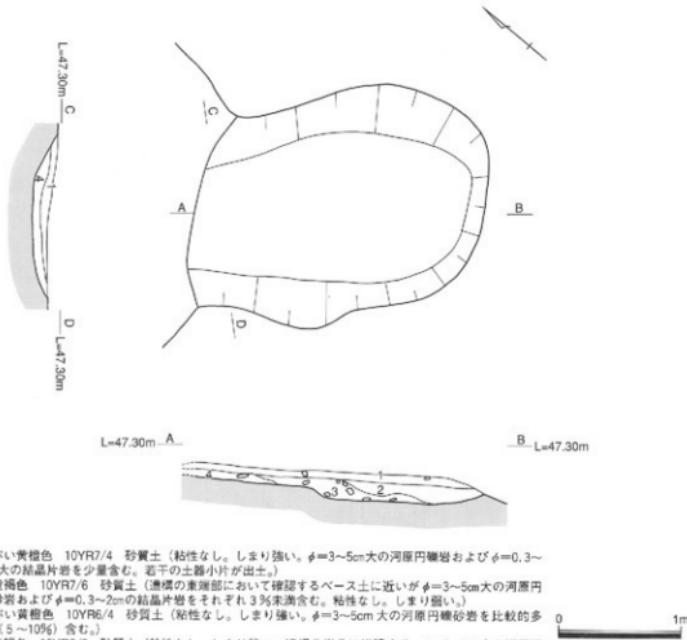
B L=47.80m



第65図 大代古墳主体部遺物出土状況分布平・断面図



第66図 大代古墳剥抜式舟形石棺実測図



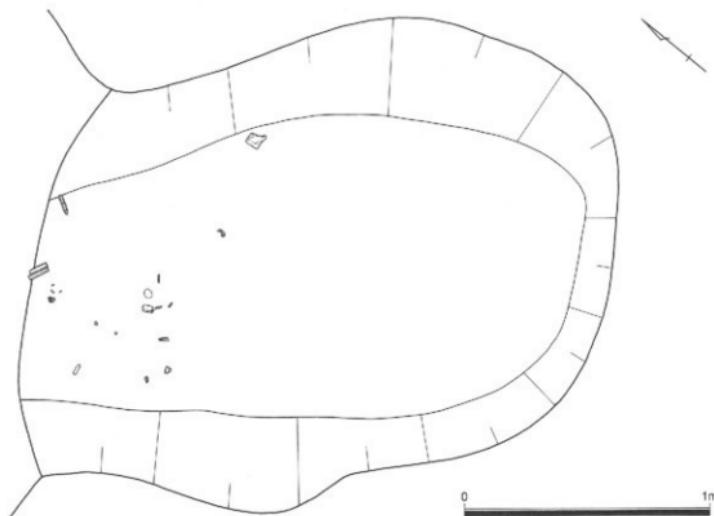
- にぶい黄褐色 10YR7/4 砂質土（粘性なし。しまり強い。 $\phi=3\sim5cm$ 大の河原円錐岩および $\phi=0.3\sim4cm$ 大の結晶片岩を少量含む。若干の土器小片が出土。）
- 明黄褐色 10YR7/6 砂質土（遺構の東端部において確認するベース土に近いが $\phi=3\sim5cm$ 大の河原円錐岩および $\phi=0.3\sim2cm$ の結晶片岩をそれぞれ3%未満含む。粘性なし。しまり弱い。）
- にぶい黄褐色 10YR6/4 砂質土（粘性なし。しまり強い。 $\phi=3\sim5cm$ 大の河原円錐砂岩を比較的多く（5~10%）含む。）
- 明黄褐色 10YR6/6 砂質土（粘性なし。しまり強い。遺構北半分に堆積する。 $\phi=3\sim5cm$ 大の河原円錐岩を3%未満含む。勾玉、鏡玉、鉄器片が出土。）

第67図 SX1001平・断面図

後と思われる。

銅 鐮 (第70図-481~486)

盜掘坑埋土中より6点が出土している。原位置は遊離しているため不明である。いずれも柳葉式であり、有稜系として定型化された銅鎗である。規格性が強く畿内中央政権による一元的な管理、配布されたとされる(松木1996)。出土した銅鎗は、大形で細身のタイプ(481~483)とやや小形で円錐形の闊をもつ鎗被付のタイプ(484~486)に分けられる。前者は鎗身の外形ラインがS字状を成し、その中軸に一文字の鎗を有する。全長10cm前後、鎗身長6.5cm前後、茎長3.5cm前後を測る。闊が緩やかな斜め闊で、鎗身と茎部の境が明確でない。後者は鎗身の外形ラインが直線状を成し、その中軸に一文字の鎗を有する。全長8.0cm前後、鎗身長5.0cm前後、茎長3.0cm前後を測る。闊は斜め闊で、鎗基部が円錐形を呈している。



第68図 SX1001遺物出土状況平面図

玉類（第70・71図）

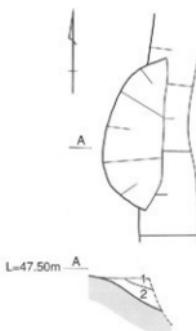
勾玉・管玉類はほとんどがSX1001からの出土である。1号墳主体部出土は497・501～503であるが、盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離している。1号墳主体部からは、白玉が581点出土しているが、そのほとんどが原位置を遊離しており、副葬位置を特定できない。

勾玉（第70図-489・490）

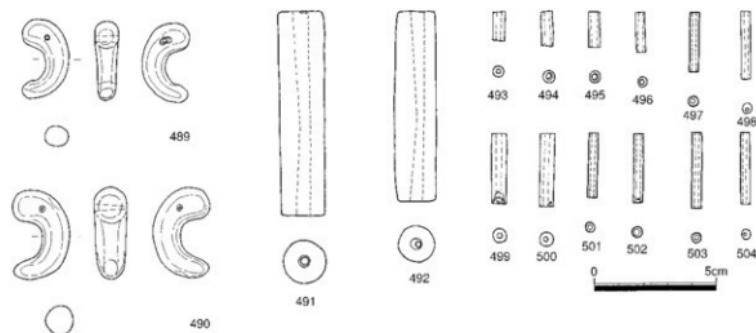
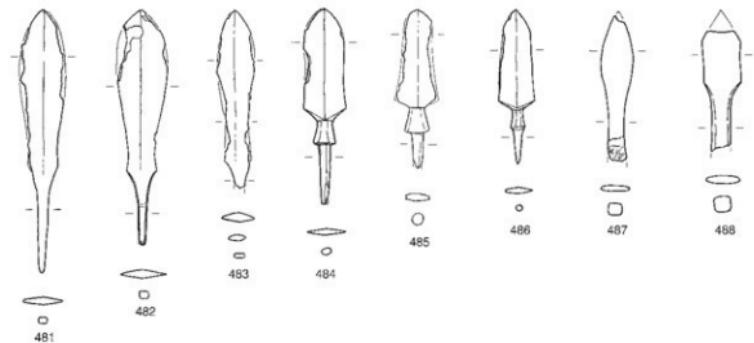
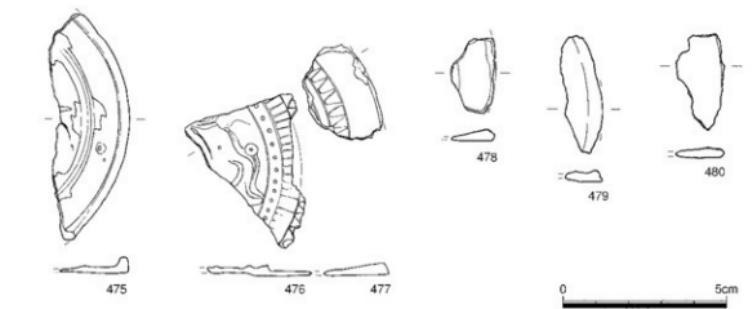
勾玉は2点出土している。石材は碧玉で片面からの穿孔である。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離しており、副葬状態の復元は困難である。

管玉（第70図-491～504）

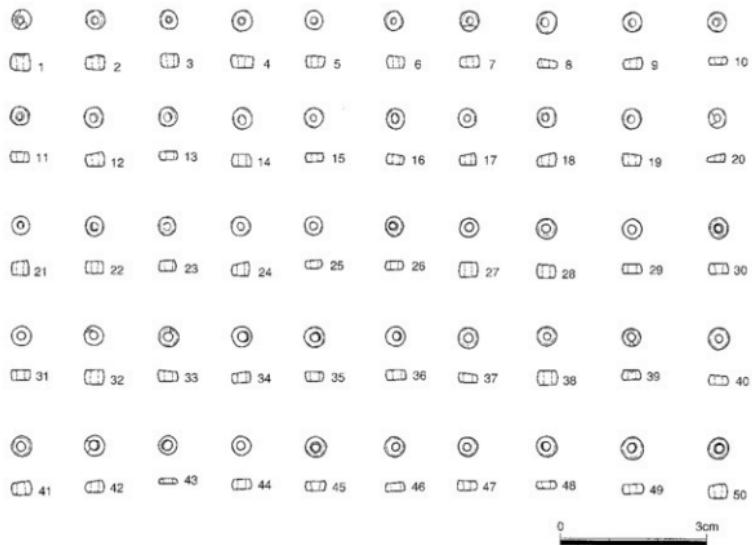
管玉は緑色凝灰岩製大型の管玉が2点の他、緑色凝灰岩製管玉が10点、滑石製管玉1点、碧玉製管玉1点が出土している。大型管玉は長さがそれ



第69図 SX1002平・断面図



第70図 大代古墳出土遺物（青銅鏡・銅鏡・鐵鏡・玉類）



第71図 大代古墳出土遺物（臼玉）

それ7.7cm、8.3cmを測り、両面から穿孔されている。その他の管玉は長さが1.5cm前後のものと3.0cm前後のものとに大別される。管玉についても原位置は遊離しており、副葬状態は不明である。

臼玉（第71図）

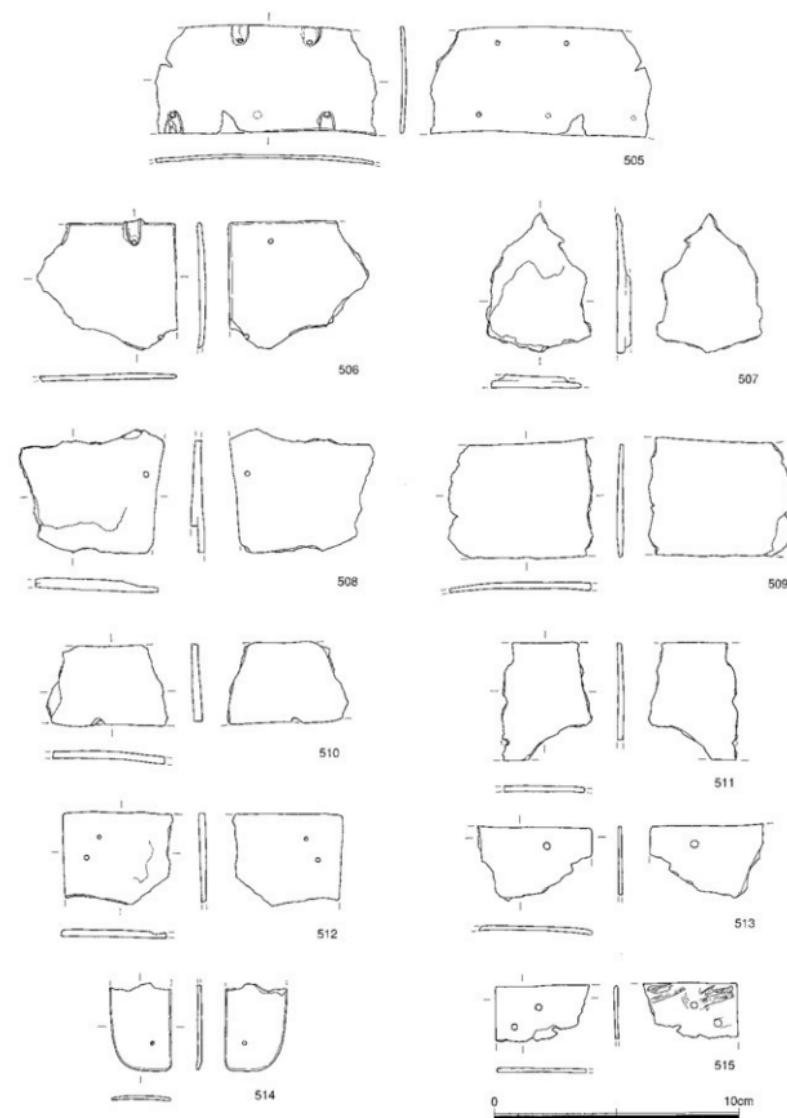
一部は原位置に近い状態で出土していると思われ、28点が石棺内床面北小口部の水銀朱集中地点周辺で確認されている。出土総点数は581点を数え、石材は滑石である。大きさは幅4.0mm・厚み2.5mm前後でほぼ揃っている。

鉄器・鉄製品

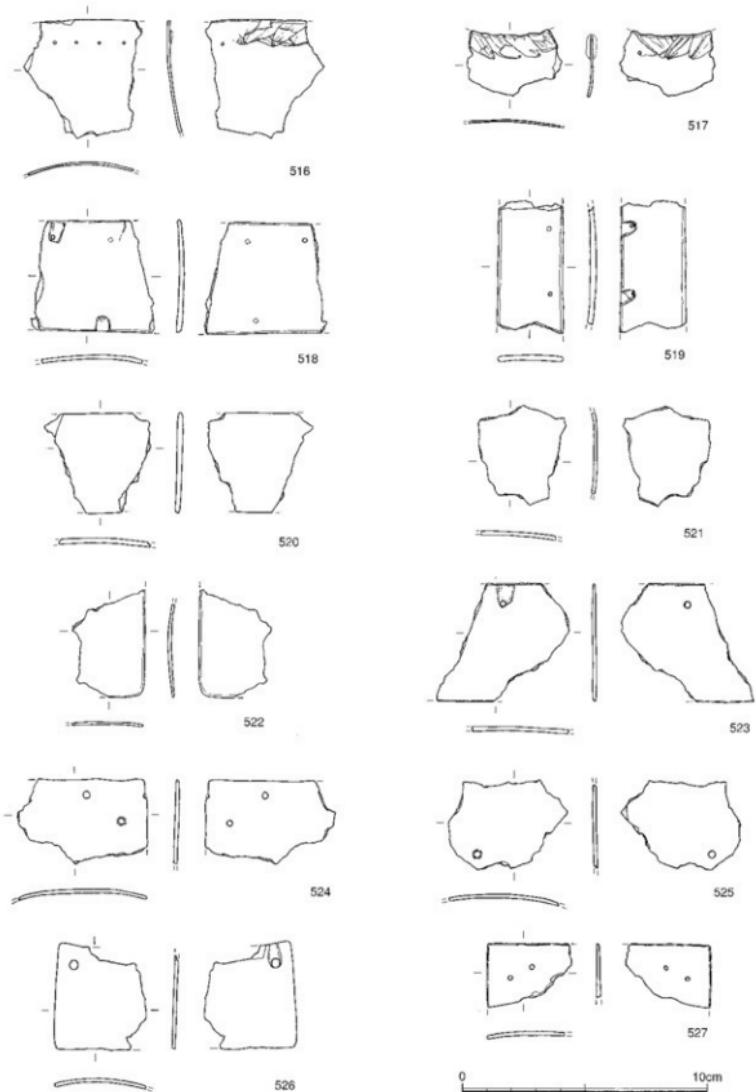
主体部内には多くの鉄器が遺存していたが、そのほとんどは盗掘坑埋土中より出土しており、原位置を遊離した状態であり、正確な副葬位置の特定は困難である。また小片であるため、実数についても詳細は不明である。

長方板革綴短甲（第72～77図）

棺外北小口部の盗掘坑埋土中より原位置を遊離した状態で出土した。細片となって遺存していた例が大半を占めるが、比較的多くの破片が出土している。1領分に相当するとみられるが、全形を復元することは困難である。

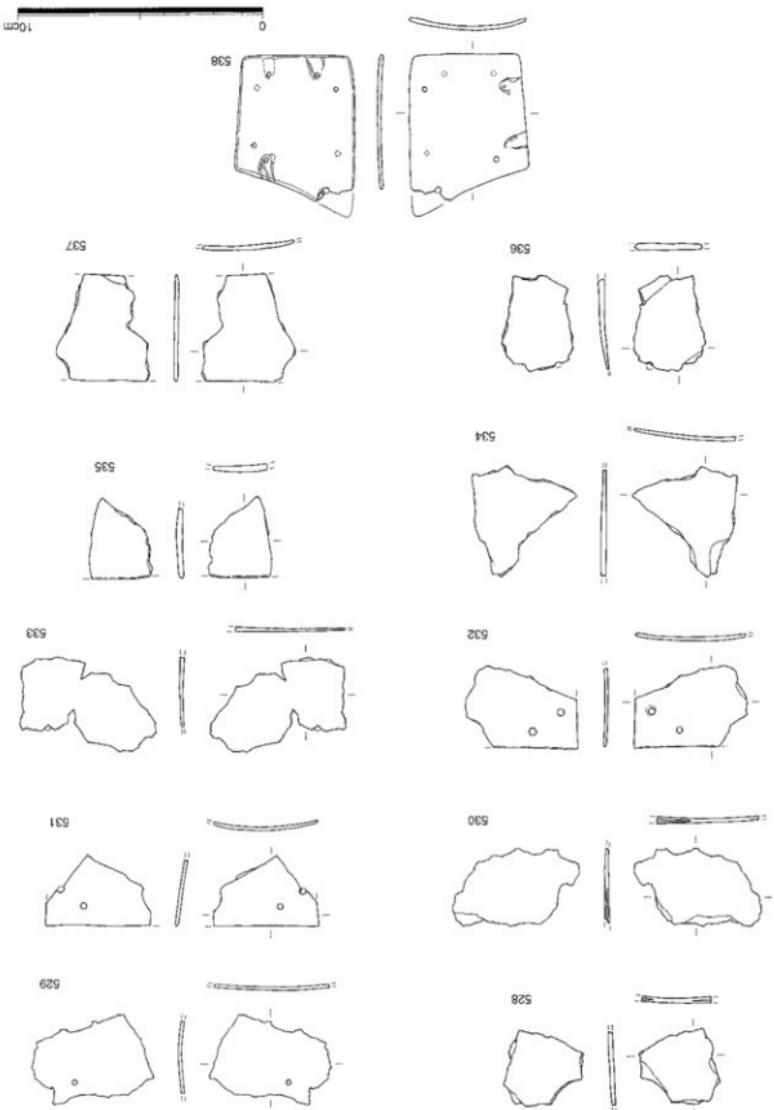


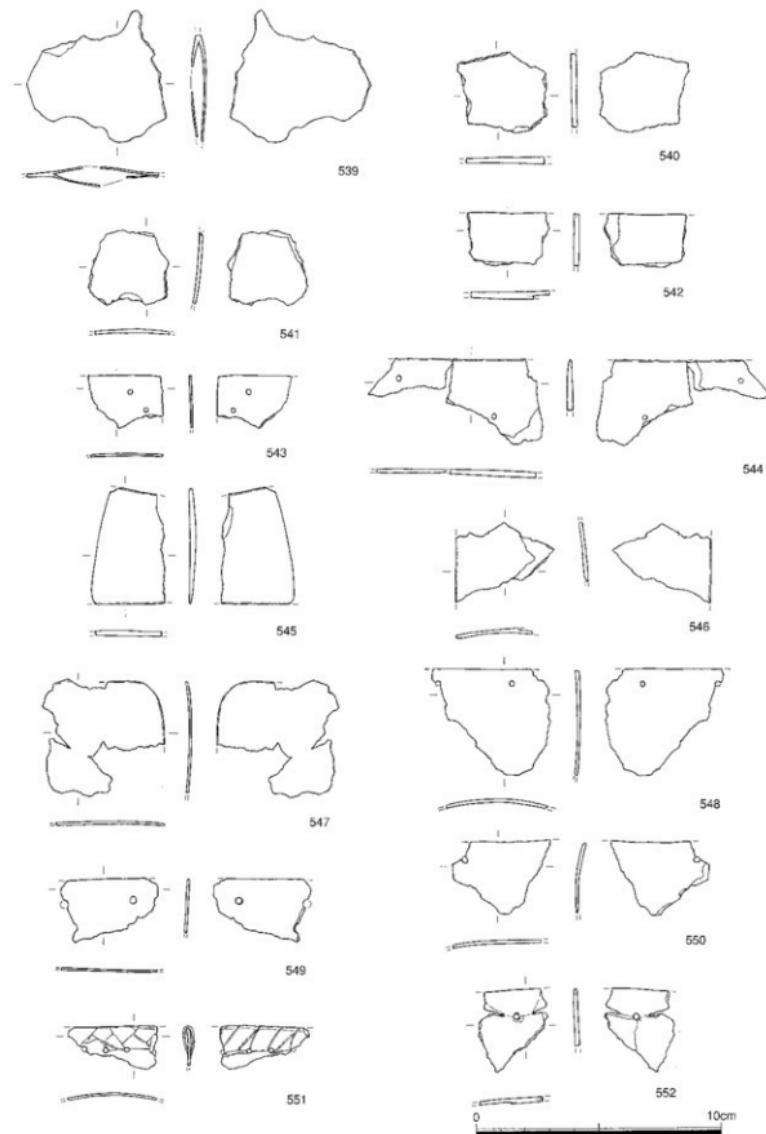
第72図 大代古墳出土短甲1



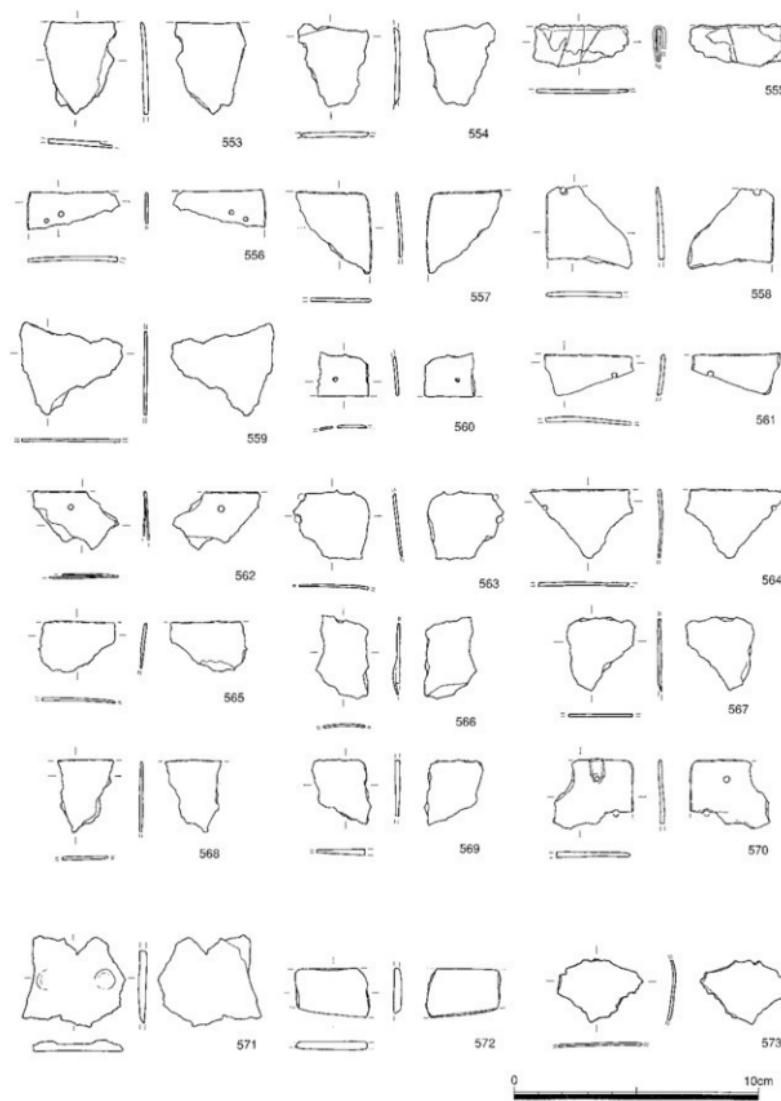
第73図 大代古墳出土短甲2

第74圖 大代古墳出土瓦器 3

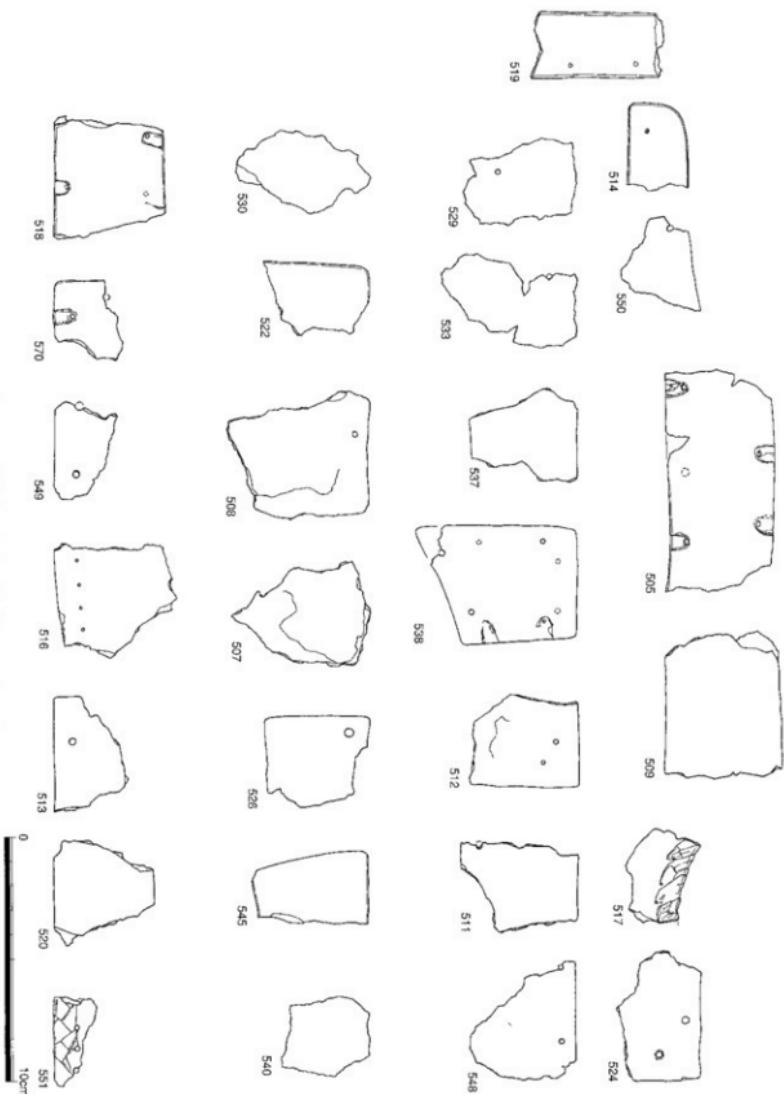




第75図 大代古墳出土短甲 4



第76図 大代古墳出土短甲5



第77図 大代古墳出土長方板革縦短甲復元案

出土資料からは一部革紐の遺存する覆輪、帶金、引合板、および地板の一部が確認できる。帶金は幅4.3cm、長さ8.9cm以上、縫孔の直径は0.2~0.3cmを測る。地板は縫孔直径0.2cmを測り、一部革紐の遺存する例も確認できるが、側縁が2辺以上遺存する例がほとんどなく、形状および法量については不明な点が多い。脇部中段に相当する地板1例が唯一完形に近い資料として挙げられる。長さ4.7cm、短側縁幅4.5cm、長側縁幅は推定6.5cm前後とみられる。この地板の形状から1段の地板数を推定すると胴一周9枚構成である可能性がもたれる。坂口・橋本分類の長方板革綴短甲I式に相当する（坂口 1998・橋本 1999）。型式学的にみると、長方板革綴短甲の中でも最古段階に位置付けられ、古墳時代中期鉄製甲冑の初現例である。

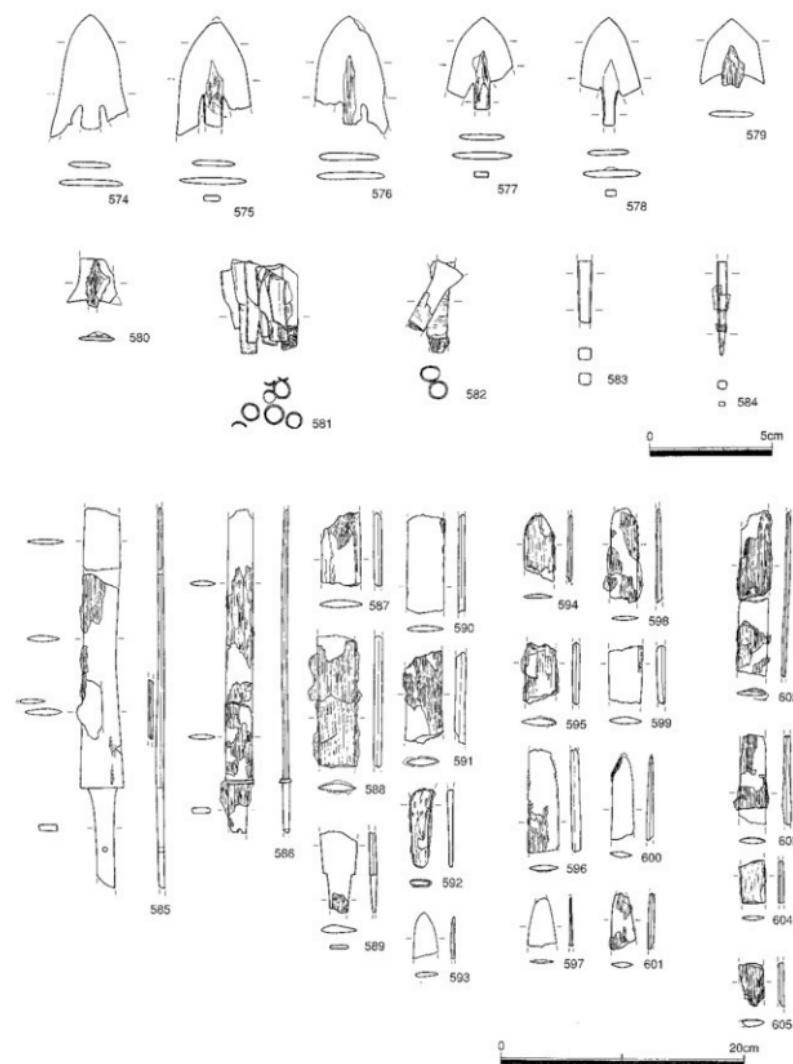
鉄 鐸（第70図-487・488 第78図-574~584）

鉄鎌は20点を確認している。柳葉式のもの、逆刺を有するものと有しない扁平鉄鎌に分けられる。いずれも小片のため全長は不明である。扁平鎌は鎌身中央に本質が遺存しており、鎌身を挟み込むように欠柄が装着されていたものと見られる。また鎌茎部が數本錆着して出土しているものがみられることから、一定の単位でまとめる、あるいは束ねて副葬されていたものと思われるが、原位置は遊離しており副葬位置は不明である。

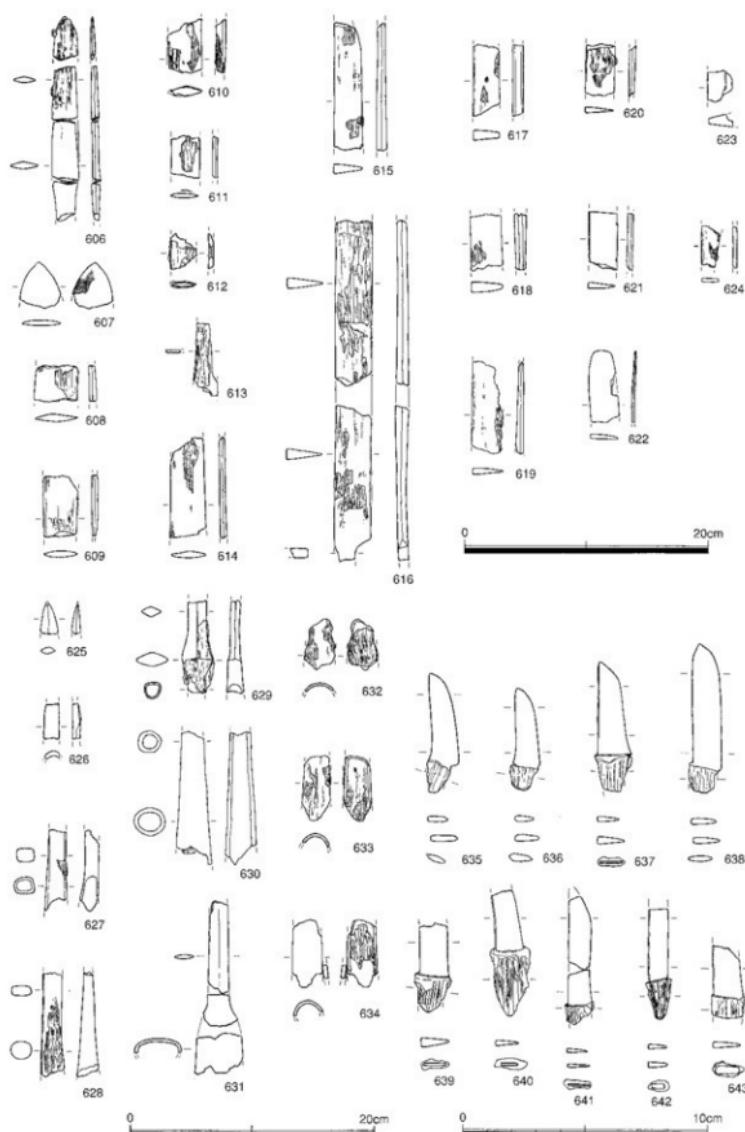
574・576は長三角形短茎鎌である。鎌身部外形は鋒よりふくらを有して、内行した後に逆刺先端へ向かって外湾する。逆刺は重抉りとなる。頭部は欠損するが、比較的長いと推定される。杉山分類無茎・短茎鎌群A-I-2-B-1類に該当し、杉山編年IV期の年代を与えることができる。575・577・578は長三角形短茎鎌である。鎌身部外形は鋒よりふくらを有して、逆刺先端へ向かって直線状に延びる。逆刺は单抉りである。杉山分類無茎・短茎鎌群A-II-A-1類に該当し、杉山編年IV期の年代を与えることができる。579は無茎鎌である。鎌身部外形は五角形状を呈し、逆刺は浅い。無茎である。杉山分類無茎・短茎鎌B-I形式に該当するが、細分基準がない。杉山編年IV期の年代を与えることができる。580は長三角形短茎鎌である。鎌身部外形は先端部を欠損するが、鋒よりふくらを有して先端まで大きく広がると推定される。逆刺は浅いのが特徴である。杉山分類無茎・短茎鎌群A-II-C-1類に該当するが、類例の新聞古墳出土例や五条彌塚古墳出土例に比べて鎌身で逆刺が浅いのが特徴である。杉山編年IV期に該当する。581・582は柳葉鎌と推定される。鎌身部形状は約半分を欠損するために詳細は不明であるが、鎌身開部に向かって緩やかに延び、明瞭な鎌身開部・頭部は持たないことや、鎌身断面は両丸造であることから、杉山分類柳葉鎌群V-2-A-2類に該当すると推定される。杉山編年IV期の年代を与えることができる。

鉄 剣（第78図-585~605 第79図-606~614）

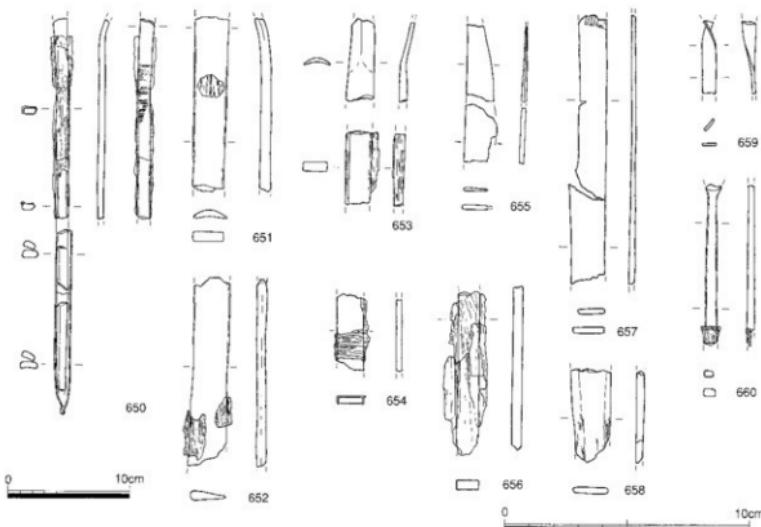
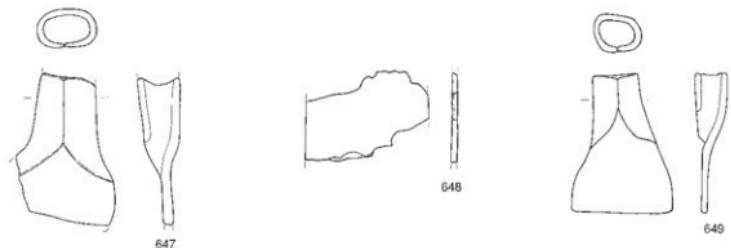
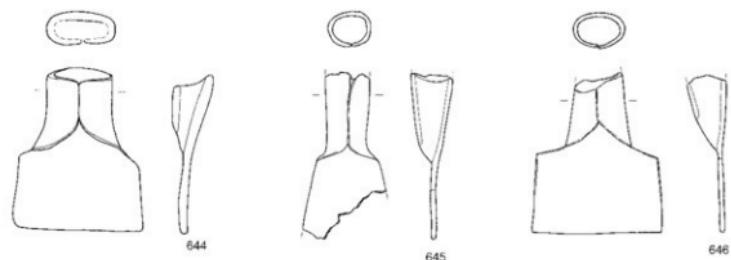
鉄剣片は30点の出上がみられた。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離した状態であった。出土点数および切先片の出土点数から複数の副葬が推定されるが、詳細な個体数および副葬位置は不明である。また鉄剣とした中には、鉄槍の可能性があるものも含まれるが、小片のため詳細な全体の形態の判明するものは少なく、分類は困難である。鉄剣の身には明瞭な鎬はなく、横断面は凸レンズ状を呈する。闊は角闊である。出土した鉄剣片の表面には木質の遺存がみられ、身・茎に木質が遺存しており、鞘・把などの装具を有していたものと思われる。



第78図 大代古墳出土鉄器 1



第79図 大代古墳出土鉄器2



第80図 大代古墳出土鉄器 3

鉄 刀（第79図-615～624）

鉄刀片は10点確認しているが、小片のため詳細は不明である。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離した状態である。出土点数から複数の副葬が推定されるが、詳細な個体数および副葬位置は不明である。闇は斜め闇のものがみられる。出土した鉄刀片の表面には木質の遺存がみられ、身・茎に木質が遺存しており、鞘・把などの装具を有していたものと思われる。

鉄 鉾（第79図-625～634）

鉄鉾片としたものは10点を数える。小片のため全体の形態が判明するものではなく、また原位置を遊離して出土しているため、副葬位置は特定できない。刃部の断面形は菱形を呈し、剣身系とよばれるものと思われる。袋部は丸型あるいは隅丸方形状の断面形を呈する。鉾は朝鮮半島からの船載品とする見方がある（村上 1999）。

刀 子（第79図-635～643）

刀子は9点の出土を確認している。原位置は遊離していたため、副葬状態は不明である。柄部に木質が遺存しており、把などの装具を有していたものと思われる。

鉄 斧（第80図-644～649）

鉄斧は6点出土している。いずれも袋状鉄斧である。全体の平面形は肩を有したタイプとなる。袋部の合わせ目は閉じており、断面形は梢円または長梢円形状を呈する。身の厚みは薄い。

鎌（第80図-650～656）

鎌は7点確認している。いずれも小片であるため、全容について詳細は不明である。原位置は遊離していた。刃部は梢円形状の裏すきをもち、茎断面は長方形で薄い板状を呈する。茎部が表面には木質が遺存しており、握り部が作られていたものと思われる。

鉄 鑿（第80図-657～660）

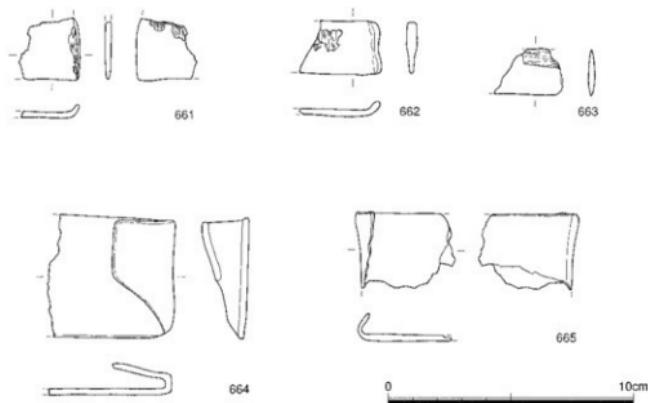
鉄鑿としたものは4点である。小片のため詳細は不明である。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離した状態であった。

鉄鎌・手鎌（第81図-661～663）

鉄鎌2点、手鎌1点が出土しているが、小片のため詳細は不明である。鉄鎌は両端を上方に折り返している。折り返しの形状からほぼ直角に柄がつくタイプのものと考えられる。鉄鎌・手鎌ともに一部表面に木質が遺存している。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離した状態であった。

鋤 先（第81図-664・665）

鋤先としたものは2点である。両端を折り返している。盗掘坑埋土中からの出土であり、原位置は遊離した状態であった。



第81図 大代古墳出土鉄器 4

土坑1（SX1001）（第67・68図）

主体部墓壙の南東隅コーナーを切る状態で土坑1基が検出されている。長軸の北西部分は盗掘坑によって切られており、遺存していない。長軸残存長2.4m、短軸長1.8m、深さ約40cmを測り、平面形は梢円形状を呈する土坑である。土坑内床面北半部分において碧玉製勾玉2、緑色凝灰岩製大型管玉2、緑色凝灰岩製管玉3、銅鏡片2が出土している。このうち大型管玉は長さがそれぞれ7.6cm、8.3cmを測る大型資料であり、それぞれの長側縁を描いた状態で出土している。同床面北半部では極少量の赤色顔料小粒が不規則に散在していたが、明確な集中地点等は確認されなかった。床面に粘土等を敷き詰めた痕跡も確認されていない。また土坑中央部の断面調査を実施した結果、床面直下に地山層を捉えたため、地下に遺構の存在する可能性も否定された。以上のことから、土壙墓あるいは主体部に関連する祭祀遺構の可能性が考えられるが、土坑の形状や遺物の出土状況などからは盗掘時の擾乱坑である可能性が高い。

土坑2（SX1002）（第69図）

主体部墓壙の西側ほぼ中央で土坑1基が検出されている。長軸の東側は盗掘坑によって切られており、遺存していない。規模は長軸残存長1.12m、短軸残存長0.48m、深さ約21cmを測り、平面形は梢円形状を呈する土坑であると思われる。土壙墓あるいは主体部に関連する祭祀遺構の可能性が考えられるが、土坑の形状や検出状況などからは盗掘時の擾乱坑である可能性が高い。遺物は出土していない。

(4) 2号墳(第3図)

大代古墳の北側に位置する墳丘約22mの円墳である。東西中心軸にI・IIトレンチを設定し、掘削作業を実施した。また墳頂部には放射状に5ヶ所の調査区を設定して調査を行ったが、主体部および葺石・埴輪等の外表施設は検出されなかった。2号墳の立地する尾根は調査区外北に延びており、2号墳が尾根地形に沿って前方後円墳を成す可能性もある。

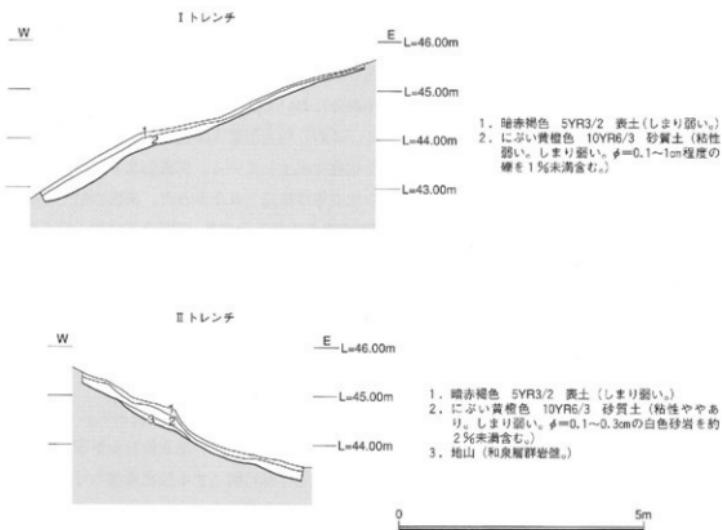
各トレンチの所見

I トレンチ(第82図)

西側斜面に直交するように設定したトレンチである。基本層序は表土(腐葉土)・岩盤風化土(地山)・和泉層群岩盤となる。遺構・遺物の出土はなかった。

II トレンチ(第82図)

東側斜面に直交するように設定したトレンチである。基本層序は表土(腐葉土)・岩盤風化土(地山)・和泉層群岩盤となる。遺構・遺物の出土はなかった。



第82図 I・II トレンチ土層断面図

墳丘

直径約22m程度の円墳と思われる。墳丘高は振部から約2mである。地山を削出して墳丘を整形しており、盛土は確認できない。葺石・埴輪列等の外表施設は検出されていない。また主体部も未確認である。2号墳の立地する尾根は調査区外北に延びており、2号墳が尾根地形に沿って前方後円墳を成す可能性もある。

主体部

墳頂部ほぼ全域を精査したが主体部の存在は確認できなかった。

出土遺物

遺物は出土していない。

（5）3号墳（第3図）

3号墳は大代古墳の南側に位置する。墳丘径15mの円墳である。尾根筋および墳丘斜面に直交するよう に a~i の 9ヶ所のトレンチを設定し、必要最小限度の調査を実施した。埋葬施設は箱式石棺である。

各トレンチの所見

a トレンチ（第84図）

墳丘南側斜面に直交するように設定したトレンチである。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。埴輪等の出土はなかったが、葺石を一部検出した。

出土遺物

出土遺物はなかった。

c トレンチ（第84図）

南側斜面、墳丘裾部に設定したトレンチである。墳丘裾を確認した。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。原位置は遊離しているが、葺石を一部検出した。埴輪等、遺物の出土はなかった。

出土遺物

出土遺物はなかった。

d トレンチ（第84図）

墳丘西側斜面に設定したトレンチである。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。流出のためか、葺石等の外表施設は検出されなかった。

出土遺物

出土遺物はなかった。

e トレンチ（第84・86図）

墳丘南側斜面に設定したトレンチである。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。墳丘裾部を区画する列石状に並ぶ基底石と葺石が検出された。葺石は流出しているが、構造的には墳丘全体ではなく、裾部を帯状に巡るものと思われる。

出土遺物

出土遺物はなかった。

f トレンチ（第84図）

墳丘南東側斜面に設定したトレンチである。部分的に地形コンタラインに沿ってトレンチを拡張した。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。墳丘裾部を区画する列石状

に並ぶ基底石と葺石が検出された。葺石は流出しているが、構造的には墳丘全体ではなく、裾部を帯状に巡るものと思われる。

出土遺物

出土遺物はなかった。

g トレンチ（第84図）

墳丘東側斜面に設定したトレンチである。部分的に地形コンターラインに沿ってトレンチを拡張した。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。墳丘裾部を区画する列石状に並ぶ基底石と葺石が検出された。葺石は流出しているが、構造的には墳丘全体ではなく、裾部を帯状に巡るものと思われる。

出土遺物

出土遺物はなかった。

h トレンチ（第84図）

墳丘南側斜面に設定したトレンチである。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。葺石等の外表施設は検出されなかった。

出土遺物

出土遺物はなかった。

i トレンチ（第84図）

墳丘南側斜面に設定したトレンチである。基本層序は表土（腐葉土）・岩盤風化土（地山）・和泉層群岩盤となる。葺石等の外表施設は検出されなかった。

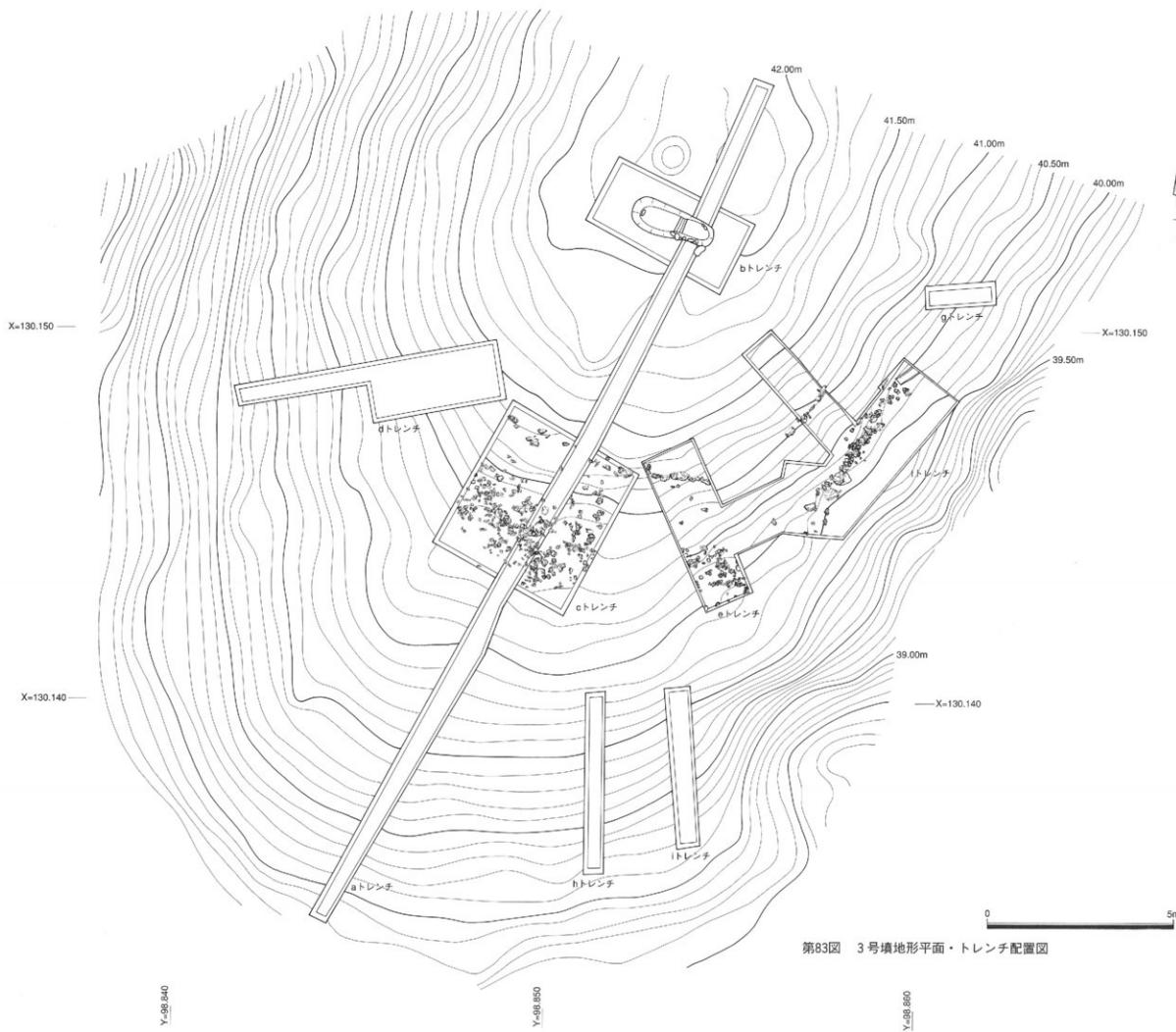
出土遺物

出土遺物はなかった。

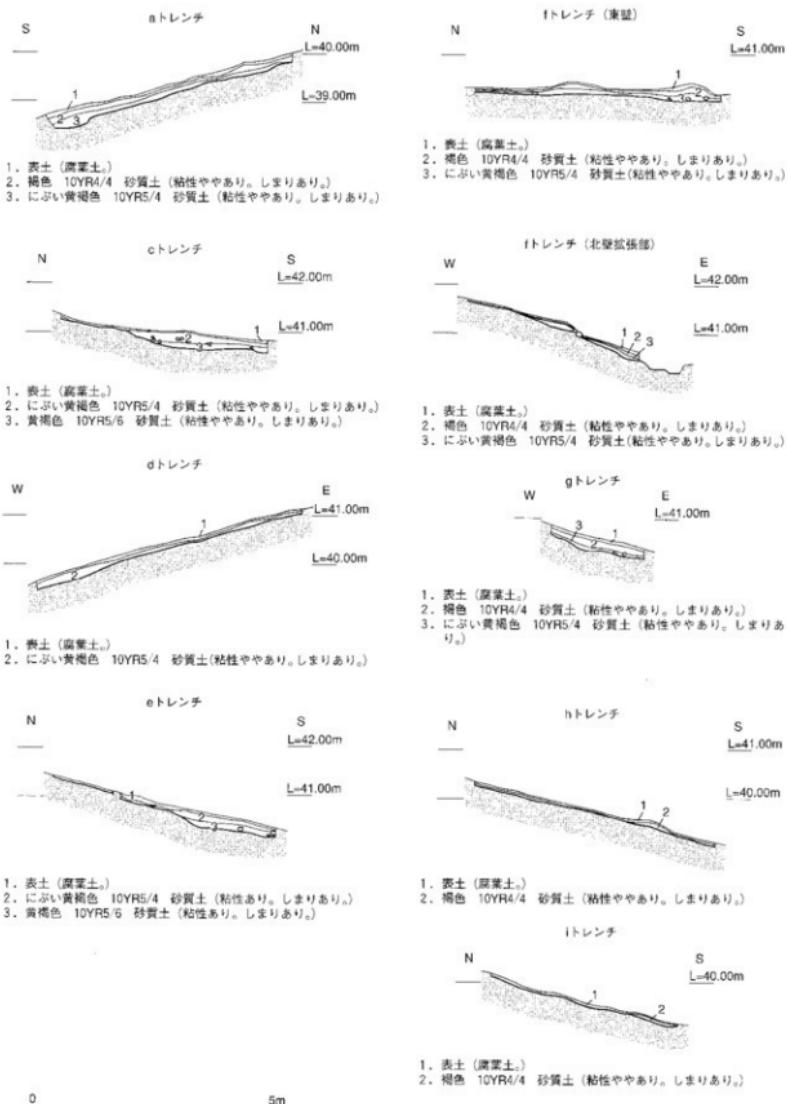
墳丘（第83・86図）

直径15mの円墳である。墳丘高は裾部から約1mである。地山を削り出して整形する。盛土構築はみられない。墳丘南から西裾部において列石状にめぐる葺石が検出された。トレンチ調査のため部分的な検出であるが、列石状に組まれた基底石は、南側で1段、約3.5m、西側で部分的に2段に積まれ、約7m検出された。葺石の出土状況から、構造的には墳丘裾部を区画するものと思われ、大代古墳との類縁性が認められる。墳頂部では円筒埴輪基底部を1基確認した。





第83図 3号墳地形平面・トレンチ配置図



第84図 トレンチ土層断面図

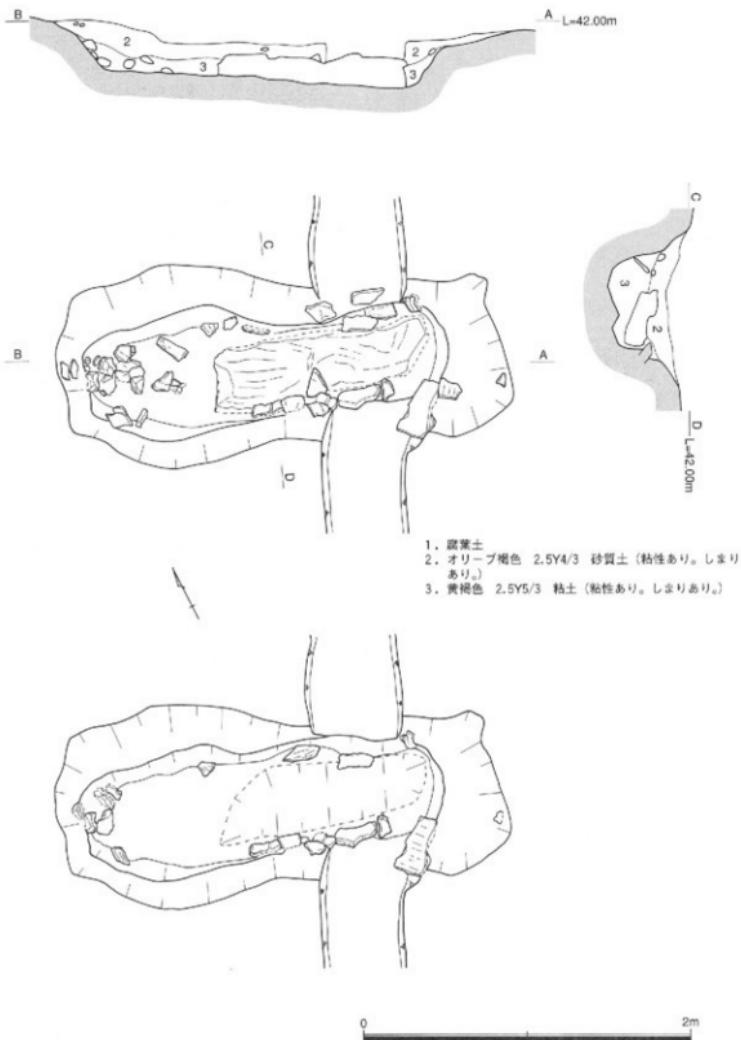
主体部（第85図）

墳頂部で箱式石棺1基を検出した。遺存状態は悪く、蓋石、壁体の一部が残存する程度であり、石棺の規模・構造など詳細は不明である。主軸方向はN-70°-Wで東西を向く。墓壙は地山を掘り込んで作られ、規模は長軸2.7m、短軸は西側0.9m、東側1.2mで、東側が若干幅広くなっている。埋葬頭位は東であったと考えられる。石材には結晶片岩と砂岩の板石を併用していた。墓壙基底面は肌理の粗い粘質土で粘土床が構築され、粘土床直下、墓壙基底部には若干の水銀朱の塗布が確認された。

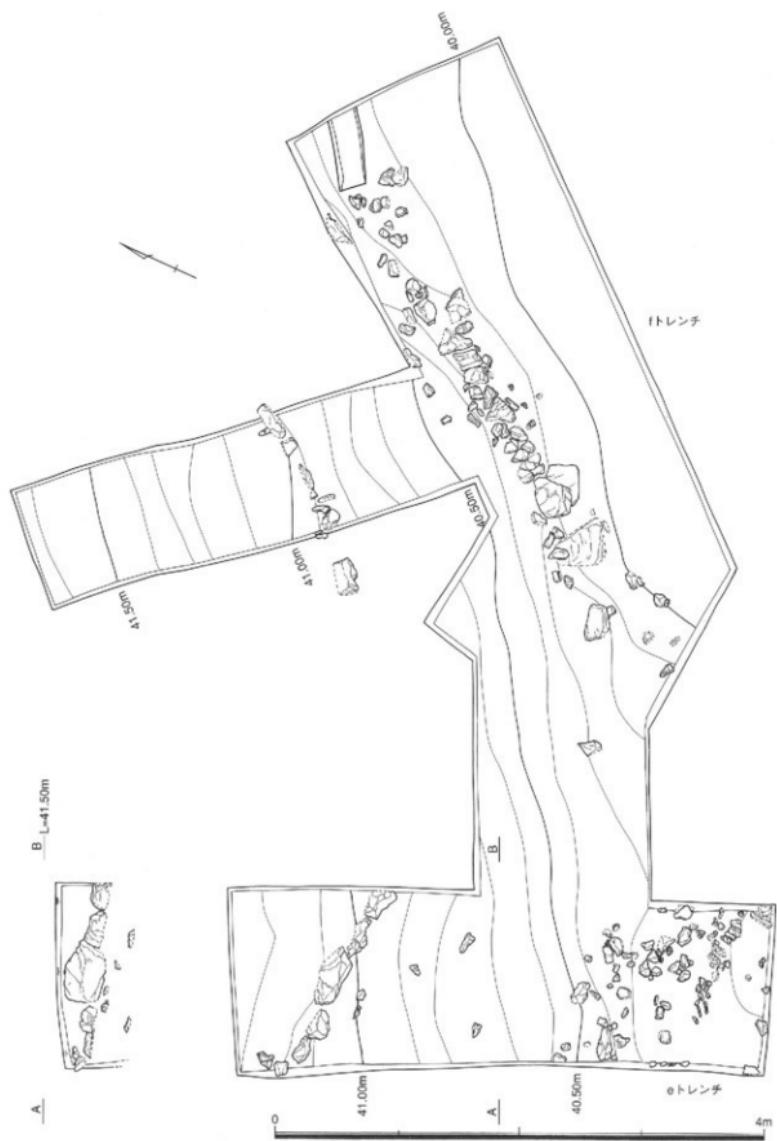
本主体部は構築位置が墳丘の中心よりやや北に位置していることから、さらに別の埋葬施設が存在していた可能性もある。

出土遺物

副葬品等の遺物は出土していない。



第85図 3号墳主体部平・断面図



第86図 e トレンチ平・立面およびf トレンチ平面図（葺石）

(6) 東尾根部箱式石棺の調査

調査中に東尾根部東端斜面において箱式石棺が検出され、1号箱式石棺(ST1001)として本調査を実施した。

1号箱式石棺(ST1001)(第3図)

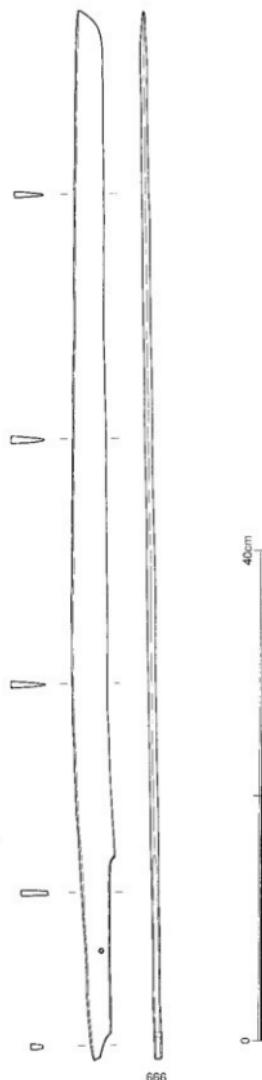
大代古墳から東にのびる尾根斜面において未盗掘の箱式石棺1基を検出した。大代古墳主体部からの直線距離で東に約70mの地点に位置する。主体部は尾根の地形コンタラインに沿って構築されている。

主体部の構造(第87・88図)

墓壙規模は長軸2.5m、短軸75cm、深さ60cmを測る。平面形は長方形プランを呈する。箱式石棺は貼石を伴う床部、壁体部、蓋石で構成される。石材はすべて和泉系砂岩を使用している。箱式石棺の規模は、内法で長軸1.62m、短軸は東小口で42cm、西小口で32cm、床面からの壁体の高さは中央部で24cmである。東小口部がやや幅が広く、被葬者の頭位に相当する可能性がもたれる。北西—南東方向を主軸とし、主軸方向はN40°Eである。墳丘施設は存在しない。

主体部の構築順序については、墓壙掘削後、墓壙基底部に扁平な板石9枚を敷き、板石間に小礫と肌理の粗い地山系粘質土を充填して床面を構築する。床面の貼石上面はほぼ水平であるが、東小口部の板石1枚のみがやや1段低く設置されている。その上に肌理の粗い地山系粘質土を貼り、他の貼石と上面を揃える。床面構築後、四方に壁体を組む。壁体石材には厚みのある長方形の河原板石礫を主体とし、礫長軸を墓壙壁に沿わせて構築する。長軸壁体を先行して構築した後、両小口部壁体を設置する。裏込めには礫混じりの粘土を充填し、壁体を固定する。蓋石は扁平な河原礫を主体とする9枚の板石を架構して天井部を構成する。蓋石間には粘質土と小礫の充填がみられたが、蓋石上部の被覆粘土等の施設の有無は不明である。

箱式石棺使用石材は、砂岩(SS類)の塊石形に分類される面取り加工等の痕跡がない自然板石である。長軸壁構造は左右とも4枚の砂岩塊石を使用していることから側複型となる。小口石構造は砂岩塊石を立てた小單型となる。蓋石構造は6~7枚の砂岩から構成される蓋複型である。床面構造は砂岩板石を敷き詰めた敷石型となる。平面形態は両長側壁に



第89図 箱式石棺出土直刀

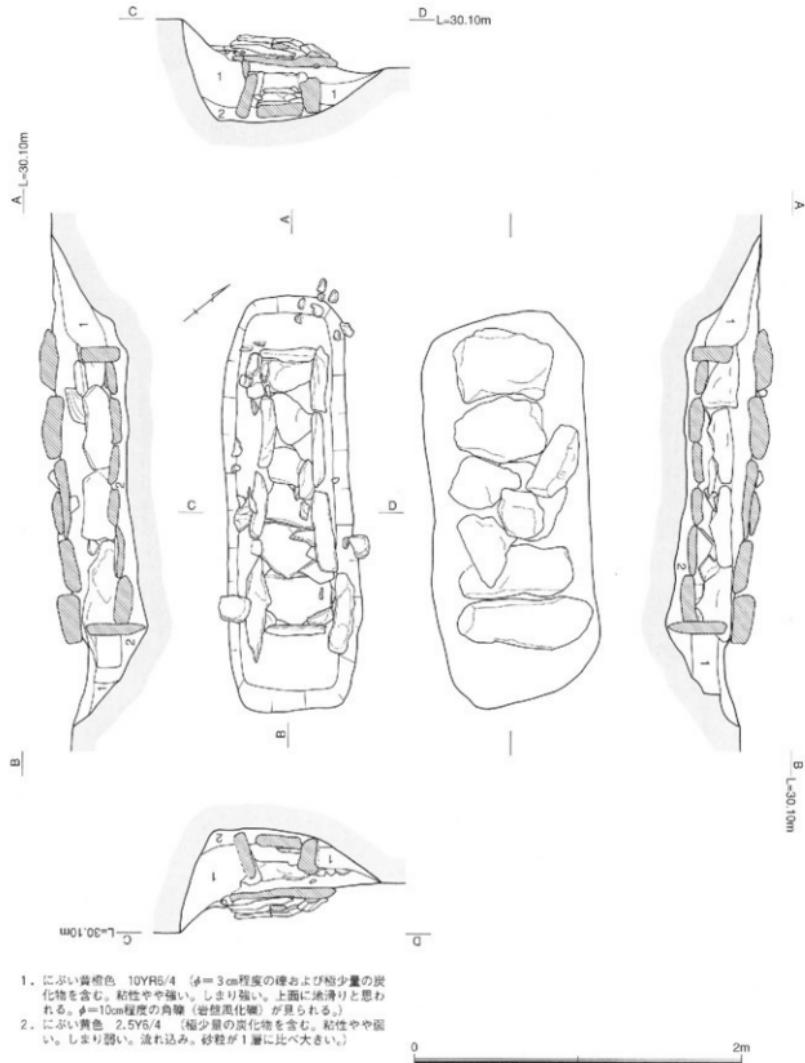
小口石が挟まれた状態の梯子型となる。棺外施設は墓壙系の方形型となる。墓壙掘削時期は地山型に該当する。基本形成は松北山 ST1001に類似するが、床面構造が敷石型となり、同古墳に比べて後出するものと推定される。

副葬品の出土状況（第88図）

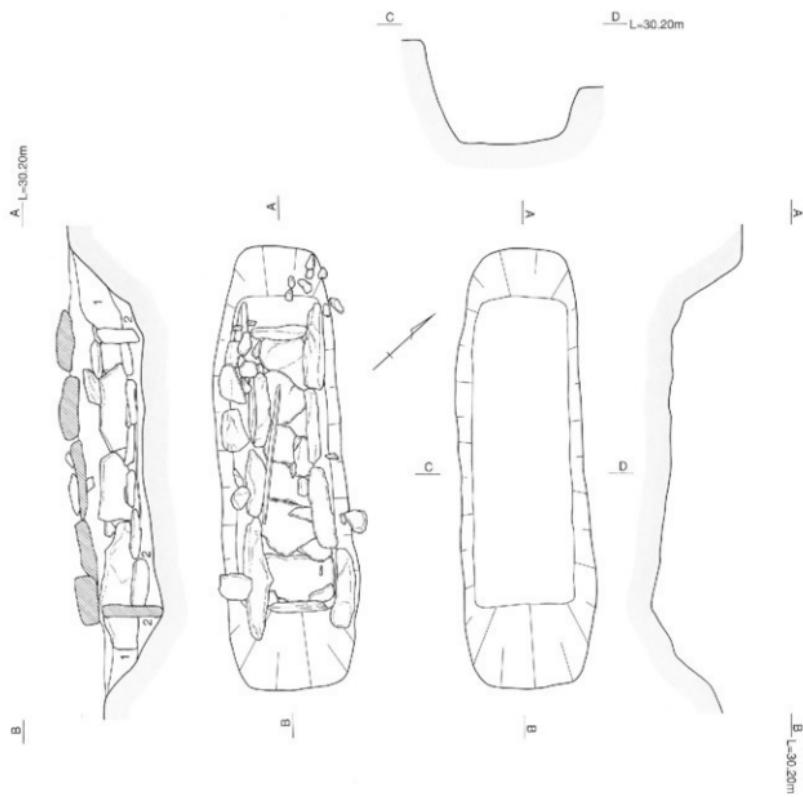
副葬品は直刀と刀子を検出した。床部上面西壁体沿い、南小口から40cmの地点で直刀 1 振を検出した。全長86cmを測り、鋒を北小口に向け副葬する。また南小口から北に15cmの地点で刀子と思われる破片を検出したが、小片のため詳細は不明である。

直刀（第89図）

666は完形の状態で出土した。全長85.7cm、身部長69.0cm、柄長16.7cmである。身部幅は、中央部で2.8cm、厚さは0.7cm、関近くでは身部幅2.9cm、厚さ0.6cmである。関は片關で斜めに茎基部へと続く。柄部の幅は中央部で2.2cm、厚さは0.5cm、柄尻断面は長方形形状を呈する。刃は僅かに内反りで、目釘穴は1孔確認でき、直径は約6mmである。全体の形状は、「撫角関隅抉尻中細」（臼杵 1984）に類似する。刃身・茎部とともに木質や布等の痕跡・銹着はみられず、柄・鞘とも存在しなかった可能性が高い。



第87図 箱式石棺平・断面図



1. にぶい黄褐色 10YR6/4 ($\phi = 3\text{cm}$ 程度の礫および極少量の炭化物を含む。粘性やや強い。しまり強い。上面に地割りと思われる $\phi = 10\text{cm}$ 程度の角礫(岩盤風化礫)が見られる。)
2. にぶい黄色 2.5Y6/4 (極少量の炭化物を含む。粘性やや弱い。しまり弱い。流れ込み。砂粒が1層に比べ大きい。)



第88図 箱式石棺副葬品出土平・断面図および墓壙(石棺除去) 平・断面図

(7)まとめ

古墳築造年代について

徳島県において前方後円墳が継続的に認められる地域は、眉山北麓・気延山と鳴門・板野の古墳群のみである（菅原 2001）。4世紀後葉から末に出現する首長墓は、眉山北麓・気延山古墳群では奥谷1号墳（50m）、山ノ神古墳（60m）、鳴門・板野古墳群では愛宕山古墳と大代古墳がある。首長系譜の空白地において、新たに出現する大代古墳、愛宕山古墳、山ノ神古墳は、それぞれ前方部前面もしくは後円部に接して小形の円墳を伴い、前方後円墳が半墳となる単発的様相を表している。眉山北麓・気延山古墳群では、「『前方後円墳集成』共通編年4期の山ノ神古墳を最後に前方後円墳系列は途絶える。これは下川津B類土器創出地である高松平野を基盤とする石清尾山古墳群の消長と連動した現象であり、首長系譜の変動パターン（都出 1988・1999）に当てはまるものである。一方、東阿波型土器製作園の外縁部にあたる本地域のII群（菅原 2000）では同一規模の宝幡寺1号墳と天河別神社3・4号墳が連続して出現しており、眉山北麓・気延山古墳群とは対照的な展開を示している。

大代古墳（1号墳）は副葬遺物等から4世紀末の築造と考えられる。徳島県内のみならず、中・四国地方においても貴重な4世紀代の前方後円墳であり、墳丘の遺存状態も良好で、円筒埴輪列も原位置で確認された。円筒埴輪の器面調整は、口縁部外面付近は1次調整として斜位のハケメ調整を施した後、A種ヨコハケによる2次調整を加える例が多い。胴部中位は比較的ストロークの長いA種ヨコハケを主体とする。胴部下位から底部外間にかけてはタテハケを基本としている。以上のことから大代古墳出土の円筒埴輪は川西編年のII期後半に比定できるものと判断される（川西 1978）。

竪穴式石室は天井部が削平されていたが、側壁・床面は遺存していた。石室内には、徳島県においては初出となる朝抜式舟形石棺が確認された。例抜式石棺は蓋石が欠けていたが、棺身の保存状況は良好であった。主体部は盗掘を受け、副葬品は原位置を保つものは少ないが、量的には豊富であり、4世紀後半段階の副葬品の組み合わせが良く解るものであるといえる。

副葬品について

大代古墳主体部からの副葬遺物は、青銅鏡（紙帯鏡）+武具（長方板革綴短甲）+武器（銅劍・鉄刀・鉄鋒・鐵鐵）+農具・工具（袋状鉄斧・刀子・鉢・鑿・鎌・鋤）+玉類（碧玉製勾玉・碧玉製管玉・凝灰岩製管玉・滑石製管玉・滑石製白玉）の組み合わせとなっている。仿製一角縁神獸鏡や各種腕輪型石製品は確認されていない。

副葬品の中には、長方板革綴短甲という日本列島内でも数少ない短甲がみられた。細片となって遺存していた例が大半を占め、1領分に相当するものとみられるが、全体を復元することは困難である。一部革紐の遺存する例も確認できるが、側縁が2辺以上遺存する例がほとんどなく、形状および法量については不明な点が多い。出土した短甲は、阪口・橋本分類の長方板革綴短甲1式に相当するものとみられる（阪口 1998・橋本 1999）。型式学的にみると、長方板革綴短甲の中でも最古段階に位置付けられ、古墳時代中期鉄製甲冑の初現例である。革綴甲冑は中期前半から出現するが、当該期における鉄製甲冑は畿内中央政権からの一元的配布とみられ、政治的要地へ配布されたものと考えられる。長方板革綴短甲は農工具の大量副葬が加わるとされ、大代古墳においても、遺存状態は良好ではないが、一定量の農工具が確認される。

武器類は、鉄劍（短劍形武器）が主体を占めるが、小片のため詳細な全体の形態が判明するものは少

なく、詳細な個体数および副葬位置は不明である。切先片の出土点数から複数の副葬が推定される。鉄劍とした中には、鉄槍の可能性があるものも含まれるが、分類は困難である。

また、徳島の前期古墳においては鉄鉢が比較的高い頻度で副葬されるが、大代古墳においても副葬が確認された。鉄鉢は朝鮮半島からの舶載とみなされ、大代古墳の被葬者が、鉄器を入手する機会をもつていたことが考えられる（橋本 2002）。

勾玉・管玉類はほとんどが主体部に隣接するSX1001からの出土であり、石棺内からは白玉のみの出土にとどまる。玉類などの石製品の石材には、碧玉・緑色凝灰岩・滑石が使用される。使用石材に多様化の傾向がみられ、品目ごとに使い分けがなされているものと思われる。ガラス製品の出土は見られなかった。

鉄鎌は柳葉式のもの、および逆刺を有する扁平鉄鎌と有しない扁平鉄鎌に分けられる。銅鎌は6点が出土している。銅鎌は、大形で細身のタイプとやや小形で円錐形の間をもつ鎧被付のタイプとに分けられる。いずれも柳葉式であり、有縫系として定型化された銅鎌であるとみられ、規格性が強く畿内中央政権による一元的な管理、配布されたとされるものと思われる（松木 1996）。

大代古墳における副葬品については量的には豊富であるといえる。古墳時代前期において、津田湾岸・紀淡海峡に隣接する地域、東四国地域の首長は、畿内の古墳造営に東西国との古墳構成要素を提供するとともに、畿内の情報や物資を対価として独自に得ていたのであろう。このことは、地域の連合あるいは同団という関係の他、畿内の事情に基づく政治的圧力を背景とした要請・影響、いいかえれば東四国地域に対する畿内政権の主導性の存在が窺われるものであろう。ただ一方で、当該地域の古墳には強い独立性がみられ、畿内政権による一元的支配が確立していたとは考えにくく、影響力の強まりはあっても、まだ地域間における交流が主体となっていたであろう。当該地域における畿内政権の一元的影響力が及ぶのは古墳時代中期段階になってからであると考えられる。

石室構造について

後円部墳頂中央部において南北を主軸とする堅穴式石室1基を検出した。石室内には刳抜式舟形石棺を安置する。後世の盗掘時に石室の上半部分が破壊を受けており、上部構造を窺うことはできない。また石棺の蓋も遺存していない。

墓壙は南北約7.4m、東西約4.5m、深さ約80cmを測る長方形状の平面形を呈し、地山を約50°の角度で斜位に掘り込んでいる。石室は内法で長さ3.7m、北小口幅1.1m、南小口幅1.0mで、北小口側がやや広くなる。主軸方向はN-10°-Eで、ほぼ南北方向を志向する。壁体は結晶片岩板石による長手積みによって構築されており、壁体はほぼ垂直に積まれている。

壁体に用いられている結晶片岩は徳島平野、吉野川南岸の崩山山麓ないし鮎喰川周辺において採取されたものと推定され、大代古墳では緑色片岩が主体を占めている。

主体部の構築順序は以下のように復元される。まず墓壙中央底面に小型の河原円礫（和泉砂岩）を多く含む肌理の粗い粘質土を厚さ約15~20cm程度敷き、礫床とする。礫床上に石棺を安置し、その外周圍に棺身中位まで拳大の河原円礫（和泉砂岩）を置き石棺を固定する。最後に石棺の四方を囲うように円礫上に結晶片岩板石を積み上げて石室を構築する。なお壁体の控え積みには持ち送りが認められる。控え積みの結晶片岩板石間にには肌理の粗い粘質土の充填も確認された。石室上部の構造は不明であるが、石室上半部は控え積みの板石が中央に向けて求心状に上方に一定の傾斜角を有することから、ドーム状

となる可能性がもたれる。

石棺について

大代古墳では、堅穴式石室内に刎抜式舟形石棺が採用され、安置されていた。この石棺の石材としては香川県さぬき市津山町火山産白色凝灰岩が推定される。この石材を用いた刎抜式舟形石棺出土例は、これまでに香川県津山湾岸の伝大日山古墳1基、けば山古墳(57m)1基、赤山古墳(50m)3基、岩崎山4号墳(49m)1基の香川県津田湾岸を中心とする6例の他、岡山県鶴山丸山古墳1基、大阪府久米田貝吹山古墳(139m)1基、が知られている(渡部1990・1994)。大代古墳の石棺は石枕をもたず、箱形の平面、舟底形断面を呈す、既出例にない形状である。身の刎り込みは矩形であり、岡山県鶴山丸山古墳石棺の断面形に近い。出土遺物からは香川県岩崎山4号墳よりは新しく鶴山丸山古墳とほぼ同時期とみてよい。形態的には香川県船岡山石棺(鷲ノ山石)にも共通する棺身の立ち上がりが垂直で、底部平底を指向し側縁部との間に広い傾斜面をもつ断面形を示している。讃岐產石棺の編年および火山石石棺群が、鷲ノ山石棺群の形態変化と類似するとの指摘に基づけば(渡部1994)、可逆的に鷲ノ山石の船岡山石棺や三谷石舟石棺の年代を絞り込むことも可能となるであろう。

大代古墳の主体部は、「火山麻石棺+結晶片岩板石室石材」という構成である。この組み合わせは先行する大阪府久米田貝吹山古墳と同様の構成であり、極めて近い関係にある造営集団の関わりが想定される。畿内の古墳で石室石材として利用される結晶片岩は、徳島産である可能性が指摘され(宇垣1987)、大代古墳の被葬者は、讃岐の津田湾岸・大阪沿岸の勢力と密接な関係を持つに至ったと考えられ、主体部の築造要素として刎抜式舟形石棺を共通とする地域集団が形成されていたと思われる。刎抜式石棺は特定の被葬者を念頭において製作されたものであろう。このような遠隔地石材を用いた大形品を運搬するという背景には、被葬者の出自あるいは石棺製作集団を掌握する首長との政治的・同族的関係が示唆される。

大代古墳の石棺は、当該期の社会における環大阪湾岸地域の集団間の結び付きが強まつたことを物語る。大代古墳は副葬遺物や埴丘形態・埋葬施設などから、畿内的要素を含む大型古墳であり、畿内に核をもつ古墳文化の傘下にあったと想定される。大代古墳の被葬者は、畿内中央政権の政治的浸透力の拡充に因縁し、吉野川の水上交通や鳴門海峡の海上交通体系の再編に伴って承認された首長とみられるが、古墳祭祀の構成については極めて自立性に富んでいることから、まだ一元的影響力は大きくなかったと思われる。

埴丘について

大代古墳については、主体部に加え埴丘部の調査を実施した。前項で先述したように、埴丘では埴丘形態の特異性に加え、葺石構造、円筒埴輪の樹立工法等について一定の成果を得ることができた。主体部の調査では刎抜式舟形石棺を検出し、石棺を安置する堅穴式石室の構造、構築順序等を知るうえで貴重な成果を得た。主体部構造には大阪府久米田貝吹山古墳(吉井1998)や香川県長崎鼻古墳(山元2000)などとの類似性が認められる。

大代古墳の埴丘構造については、古墳が立地する尾根の地形的条件により規制を大きく受けた結果、特異な埴丘構造を成し、東西側面をより壮大に見せるための配慮とも推定される。埴丘は基本的に地山削り出しで整形している。

大代古墳では盛土や葺石が確認されたが、盛土は補完的に用いられているものと考えられる。トレチの断面観察においては明瞭な版築状況は確認できない。墳丘側部では一部で葺石を検出した。葺石はその出土状況から墳丘斜面全体ではなく、裾部を列石状に区画する構造をとる。和泉砂岩を主体とする割石と河原石を併用し、基底石の上に葺石を積み上げ、各段墳丘斜面部側部外周に葺石を貼り付けて巡らせる。また裾部を区画する基底石に人頭大程度のやや大型材を使用する傾向も認められる。

外表施設としては、第1段テラス上、および前方部第2段前面墳頂平坦面において円筒埴輪の基底部を確認した。円筒埴輪は、ほぼ等間隔で並んでおり、墳丘周間に一定の基準に基づいて埋設されている。出土した円筒埴輪片はいずれも小片であるため、詳細のわかるものは少ないが、器面調整は、口縁部外面付近については1次調整として斜位のハケメ調整を施したのち、A種ヨコハケによる2次調整を加える例が多くみられる。胴部中位は比較的のストロークの長いA種ヨコハケを主体とし、胴部下位から底部外面にかけてはタテハケを基本としていることから、円筒埴輪は時期的に川西編年のⅡ期後半に比定できるものと判断される（川西 1978）。

このほか朝顔形埴輪、家形埴輪、盾形埴輪の破片、鞍形埴輪の一部である可能性が考えられる形象埴輪小片等が出土した。形象埴輪片は後円部墳丘斜面と後円部墳頂主体部の盜掘坑埋土中に限定されて出土しており、基底部は確認していないものの、その出土状況から判断して本来は後円部墳頂に樹立していたものと推定される。

4世紀末築造とされる前方後方墳の徳島市奥谷1号墳の墳丘築成と類似点もみられるが、奥谷1号墳において確認された墳丘（埋葬施設）上面への白色円窪（石英）の被覆は確認されていない。奥谷1号墳における墳丘（埋葬施設）上面への白色円窪（石英）の被覆は、埋葬行為における地域的特性を残すものと考えられ（三宅 2002）、後続する大代古墳は、より畿内の様相が強まっているものといえる。

4世紀後葉には、河内に津守城山古墳という盾形周濠を備えた巨大古墳の出現がみられる。讃岐や阿波においても、宮田茶臼山古墳（139m）や渋野丸山古墳（90m）のような各地域では最大級の盾形周濠をもつ大形古墳が出現し、古墳の立地条件も、尾根・丘陵上から平野部に変化していく。大代古墳は古墳立地の觀点からも、その前段階のものとして位置付けられよう。

吉野川下流域における古墳前半期の変遷は、萩原1号墓→西山谷2号墳→宮谷古墳（全長45m）→八人塚（60m）→宝幢寺1号墳（42m）→奥谷1号墳（50m）、とたどることができる。大代古墳はその次の段階のものであると考えられる。「阿讚積石塚分布図」においては、丹那古墳などの積石塚を形成する古墳は、4世紀後半には封土墳に交替していく。積石部は葺石として継承され、古墳築造の構成要素となる。

埴輪について

円筒埴輪（または朝顔形埴輪）の樹立は第1段において約90cmの間隔で全周していたとすると、ここに175本が樹立されていたことになる。また、前方部前面第2段テラスにも約90cmの間隔で円筒埴輪（または朝顔形埴輪）が樹立されており、ここにも全周したと仮定すると、前方部前面も含めて133本の樹立数が復元できる。さらに、墳頂部に方形区画を設けていたことを推定すると、ここにも30本程度の円筒埴輪（または朝顔形埴輪）により区画があった可能性がある。総計にして約350本の埴輪により大代古墳は囲繞されていた。

円筒と朝顔の内訳を算出するには、その区別は口縁部の遺存数から8：1と試算した。これを前述の

樹立数に機械的に置き換えると円筒：朝顔♀315本：35本となった。実際には、配置は部位ごとに異なる規則をもっているとみられる。

円筒埴輪の破片から復元される形態は、3条突帯4段構成となり、器高40~45cm、口径25~29cm、底径19~25cmのものとなる。底径と器高に大きな違いがみられないことから、筒形の直線的な器形が想定される。透かしは円形で中間の2段にあり、段ごとに千鳥式に穿たれていたのである。朝顔形埴輪についても同様に復元すると、円筒部分が3条4段、肩部の丸みはかなり失われ、口縁は中位で屈曲してほぼ水平まで大きく聞く。頸部に1条、口縁部中位にも1条突帯が付く。器高55cm程度、口径28~30cmとなる。

器表面は、外面一次調整がタテハケ、二次調整がヨコハケ、内面はナデ調整が基本であるが、口縁部内面には断続的なハケ調整がある。外面のヨコハケは周回しながら何度も器表面から離れる「A種」であるが、工具の静止痕跡が散見される。1段目はやや幅広の粘土帯により成形される。

1. タイプ分け（口縁部の外反、胎土、突帯の形状と貼り付け・ナデ方）

出土した形象埴輪には家形・圓形・蓋形・鞍形・盾形の5種があり、各トレンドごとの構成でみると表のようになる。

	家形	圓形	蓋形	鞍形	盾形
Aトレンド	×	×	×	×	×
Gトレンド	○	×	○	×	○
Hトレンド	○	×	△	×	×
Kトレンド	○	×	○	○	△
Lトレンド	×	×	△	△	×
Mトレンド	×	○	×	×	×
Nトレンド	×	×	△	×	△
Pトレンド	×	×	×	△	×
Qトレンド	○	×	×	△	○
Wトレンド	△	×	×	○	△

(○：確実に認められる、△：不確定なものを含む、×：該当なし)

もっとも個体数の多いのは、家形埴輪があり、最低4個体分があるとみられる。基本構造の判明するものは寄棟造りのもので、2個体ないし3個体ある。中でも屋根に線刻で網代文様を表現する個体(54~58・67など)は、桁行56cm・梁行43cm・棹高80cmにも復元される大形のものである。寄棟造りをもつものでや小形の個体(59~61・63など)は、網代文様がないなどの違いがあり、規模の面でも前出のものを約1/2に縮小している。その他の個体については、軒先の押縁の表現や壁面にハケ調整があるなどの違いがあるが、全体形態については不明である。圓形は347の1個体で、県内初の出土である。規模は不明ながら内包する小形の家形はみられない。

盾形埴輪で確実なものは396の1点であるが、複数個体の存在が想定される。鞍形埴輪は箱形の本体に飾輪が上部と左右につくものとみられ、輪につく同心円の線刻表現をもつものが4点あることから、2個体以上ある。蓋形埴輪は、笠の基部の破片を含めて複数であろう。

これらの形象埴輪の出土位置をみると、後円部を取り囲むトレンチからの出土が最も多い。前方部周辺の東西のトレンチからの出土もあるものの小片が多く、本来は後円部主体部を囲む位置に方形区画を設けて立て並べていたものと推定される。

以上の埴輪からみた年代は、円筒埴輪の外側調整がA種ヨコハケであることから、川西宏幸の編年によるⅡ期に位置づけられる。徳島県内での埴輪の出土事例のうち、前期に遡るものはいずれも前期後半に収まっている、この段階において埴輪が導入されてきた各期といえる。

形象埴輪に家形・圓形に加えて、器財として蓋形・鞍形・盾形の組合せがみられる。器財埴輪は主体部において方形区画を形成し、これらの家形をはじめ器財が複数個体用いられている点が大いに注目される。高橋克壽によると、器財埴輪の組成は4世紀末～5世紀前半に確立する（高橋克壽 1992）。大代古墳は埴輪そのものを徳島県下で体系的に受容した先駆的な位置を占めるといえよう。

大代古墳の被葬者について

棺石材産出地である火山の所在する津田湾沿岸から約40km東に位置する大代古墳の被葬者は、当時津田湾岸の首長と親密な関係を有し、かつ鳴門海峡と一帯の港湾と海上交通権を掌握した首長であったとみられる。さらに今回の成果から当時の石棺搬出航路として、大阪府の久米山貝吹山に至る鳴門・紀淡海峡ルートが新たに想定可能となった。大代古墳の発掘調査により、墳丘の築造法・石棺・葺石および石室石材など石材の供給・運搬関係などが明らかにされた。石棺・堅穴式石室構築技術にみられるように、これらは津田湾岸・紀淡海峡に隣接する地域、東四国地域からの搬出であると考えられ、畿内の古墳造営に関与したことが窺える。鳴門・紀淡海峡ルートに沿う広域的な同盟関係、および政治的支配体制を考察するうえで、新たな課題が浮上したことにもなる。

今後さらに墳丘の築造企画の検討、各種副葬品の研究などを進めることによって、古墳時代前・中期の歴史の一端が解明されると思われる。

また、2号墳と3号墳については時期を想定する根拠が不足するものの、ほぼ同時期の築造と考えられ、墳丘規模と構造から大代古墳に付随する古墳と推定される。また東尾根部先端で検出された箱式石棺については出土した直刀の型式学的特徴から大代古墳よりも若干時期が下る可能性も考えられる。

引用・参考文献

- 宇垣 匠雅 1987「堅穴式石室の研究」考古学研究31・1・34-2
- 臼杵 燥 1984「古墳時代の鉄刀について」『日本文化研究』創刊号 古墳文化研究会
- 川西 宏幸 1978「円筒埴輪論」『考古学雑誌』第64巻第2号
- 菊井 佳弥 2005「いわゆる松倉漢式銅鏡について」『大阪文化財研究』27 (財)大阪府文化財センター
- 柴林 譲治 2002「阿波における前方後円墳の発達」『徳島の考古学』徳島考古学論集刊行会
- 阪口 英毅 1998「長方板革綴短甲と三角板革綴短甲—変遷とその特質—」『史林』第81巻5号
- 阪口 英毅 2005「第4章 副葬品の研究 6 鉄製品 (1) 武器 ②鎌」『紫金山古墳の研究—古墳時代前期における対外交渉の考古学的研究—』京都大学大学院文学研究科
- 阪口 英毅 2005「紫金山古墳出土鉄鎌の構成と埋葬状況」「紫金山古墳の研究—古墳時代前期における対外交渉の考古学的研究—」京都大学大学院文学研究科
- 杉山 秀宏 1988「古墳時代の鉄鎌について」『植原考古学研究所論集』8 奈良県立植原考古学研究所

- 菅原 康夫・幸泉 満夫 2000「日本の遺跡 徳島県大古代墳」『考古学研究』第47巻第3号
- 菅原 康夫 2001「阿讚山脈東南縁の古墳群—四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財調査概報—」『徳島県埋蔵文化財センター調査概報』第3集 徳島県埋蔵文化財センター
- 都山比呂志 1988「古墳時代首長系譜の継続と断絶」『待兼山論叢』22号 史学編
- 都出比呂志 1999「首長系譜変動パターン論序説」「古墳時代首長系譜変動パターンの比較研究」 大阪大学文学部
- 高橋 克壽 1992「器財埴輪」「古墳時代の研究9 古墳Ⅲ 塩輪」雄山閣
- 橋本 達也 1999「野毛大塚古墳出土甲冑の意義」「野毛大塚古墳」世田谷区教育委員会・野毛大塚古墳調査会
- 橋本 達也 2000「四国における古墳築造地域の動態」「前方後円墳を考える—研究発表要旨集—」古代学協会四国支部第14回大会
- 橋本 達也 2002「四国における古墳時代前・中期の鉄製品」「徳島の考古学」徳島考古学論集刊行会
- 北條 芳隆 1999「讃岐型前方後円墳の提唱」「国家形成期の考古学」大阪大学文学部考古学研究室
- 松木 武彦 1996「前期剣葬墓群の成立過程と構成」「雪野山古墳の研究」考察篇 八日市市教育委員会
- 三宅 良明 2002「宮谷古墳・奥谷1号墳の埴丘構造について」「徳島の考古学」徳島考古学論集刊行会
- 村上 恒通 1999「鉄製武器形副葬品の成立とその背景」「先史学・考古学論究」Ⅲ 龍田考古会
- 山元敏裕編 2000「高松市内遺跡発掘調査概報」高松市教育委員会
- 吉井 秀夫 1998「久米田貝吹山古墳第1～4次調査概報」立命館大学文学部
- 波部 明夫 1990「讃岐の刎抜式石棺について」「香川史学」19
- 波部 明夫 1994「四国の刎抜式石棺」「古代文化」46-6

3. 大代古墳の現地保存と整備

(1) 前方後円墳の発見と現地保存の要請

鳴門市域は明治以降、地元住民の研究者により、遺跡や古墳の所在情報は比較的豊富な地域であった。しかし当該地点は空白地域に属しており、結晶片岩片の散布が認められた平成7年度の詳細分布調査において、古墳が所在する可能性が初めて指摘された。JII四国支社が平成8年10月に行った文化庁協議では45遺跡のひとつ「日開谷西古墳群」として調査対象となった。四国横断自動車道に係る埋蔵文化財の取扱いについては徳島県教育委員会文化財課とJH徳島工事事務所との協議で、当初から調査結果・内容により保存を要請する可能性を指摘していたが、当該地点を想定したものではなかった。

日開谷西古墳群の調査対象面積は1,730m²。対象範囲は調査終了後、切土して開削される予定の尾根である。用地取得に目途がついた平成12年2月にJHは立木伐採に着手、3月に調査を開始した埋蔵文化財センターは、調査区中央に略測60m級の前方後円墳及び2基の円墳を発見した。

前方後円墳としては県内14番目の確認であり、報告を受けた文化財課は、時を置かずJH徳島工事事務所との協議に臨んだ。古墳の現地保存のため、工法をトンネルに変更するよう要請し、JH徳島工事事務所は検討を約束した。文化財課は文化庁及び地元鳴門市教育委員会に状況を説明し、鳴門市とは保存措置に係る役割分担等の諸問題を中心に協議していった。

埋蔵文化財センターの現地調査は、まず古墳群の測量調査を行い、工法変更検討の範囲を示した。JH徳島工事事務所では、以後工法変更の可否を検討、埋蔵文化財センターの調査は対象範囲の古墳の墳形と主体部の確認に主眼を移した。前方後円墳の全長は54mに確定した。墳丘は前方部2段、後円部3段築成、一部葺き石をもち、円筒埴輪等が樹立されている。県内の前方後円墳14基のうち、90m級の浜野丸山古墳を除けば、6基が50~60m級で、発掘調査により確定されたなかでは最大級と位置づけられた。主体部の堅穴式石室には、白色凝灰岩製の削抜式舟形石棺が認められ、副葬品も豊富に出上した。4世紀後半の建造とされた。

(2) 現地保存協議と公開

7月上旬、JH四国支社、JII徳島工事事務所、県高速道路推進局、文化財課、埋蔵文化財センターは、現地保存に係る諸問題や、発表に向けての日程調整などについて協議を行った。8月8日には、教育長名でJII四国支社長宛に現地保存を正式に依頼した。発表にあたっては、小字を探って名付けていた「日開谷西古墳群」を、より親しまれるよう大字に因んで「大代古墳」と改称することとした。

現状保存・維持管理・土地の公有地化について、JH四国支社長・県教育委員会教育長・県土木部長によって9月6日付で確認書が締結された。文化庁の意見と確認書をもとに大代古墳の現地保存措置が確定した。

県は調査成果を、JHはトンネル工法に変更して現地保存することを発表し、大きく報道された。9月16・17日の両日実施された現地説明会では、合わせて約1,500人の県内外の参加者があった。

（3）石棺の複製品製作

主体部は埋め戻され、整備は将来的課題となるため、当面の活用方策として石棺を複製展示するため、県は補正予算を組んだ。複製品製作は京都科学が受注した。シリコンで型取りし、FRPによる成型、仕上げと彩色により製作した。複製品は平成13年2月10日から県立埋蔵文化財総合センターで展示を開始し、平成13年度には文化庁主催の「発掘された日本列島」展にも出品された。

（4）古墳の養生と工事着手

埋蔵文化財センターの現地調査は、9月に補足調査を行い、10月から主体部に真砂土を充填して養生、11月末に完了した。

JH 徳島工事事務所では、トンネル掘削にあたって、地すべり計（地表面伸縮計）を、地表沈下測点46箇所、地中沈下測点（ボーリング、6～20m）6箇所設置して、古墳の保全に万全を期すとともに、設計・施工方法について文化財課長と高速道路推進局長の確認をとった。

大代古墳トンネルの概要は、延長77m、片側3車線、幅員14.75mで、トンネル形状は大断面双段（メガネ）トンネルである。工事の方法は導坑先進による上半先進ナトム工法（機械掘削）を採用、掘削量は約26,000m³、コンクリート量約5,500m³で、工期は平成11年12月26日から平成14年3月14日である。総工費は約12億円といわれる。

（5）大代古墳の県指定

平成12年10月の工事着手と同時に、大代古墳の県指定申請の準備を開始した。県指定史跡指定申請書は、財団法人徳島県埋蔵文化財センター理事長から、JHの同意書、鳴門市教育委員会の意見書を付して提出された。徳島県文化財保護審議会への諮問、答申を得て、平成13年8月30日の定例教育委員会で指定、9月11日県報に告示された。

（6）トンネルの完成と環境整備

平成13年度は、工事の進展とそれに伴う諸問題の解決に重点が置かれた。雨水による上砂の流出をいかに防止するかが課題となり、6月12日にブルーシートで養生、一部には植栽して対応した。

9月21日には大代トンネル（現名称：大代古墳トンネル）が貫通した。

かねてより文化財課と鳴門市教育委員会は古墳の整備事例の調査などを行ってきたが、平成14年3月の工事完了に合わせて、鳴門市教育委員会は大代古墳環境整備事業を計画した。平成14年度は墳頂部付近の芝処理と、全体の除草を中心して実施した。環境整備は墳丘自体の保護を主たる目的とし、古墳の現状変更は行わない方針で、JII植栽の草本を最大限利用する他、低木類は活用、急斜面については土止め柵を設置するなどした。文化財課はJHと協議、フェンス位置や、鳴門市の環境整備事業を実施するにあたっての諸問題解決を支援し、今後の管理などについて協議した。

平成16年2月、県が史跡指定範囲のうち道路用地としてJHが確保する以外の2025.13m²を買い上げた。



大代古墳石棺レプリカ作製作業



棺材産出地（火山：香川県津田町）遠景



大代古墳主体部埋戻状況



大代古墳現地保存状況（トンネル工）



大代古墳トンネル工事風景（東坑口）



大代古墳墳頂よりみた東坑口周辺



大代古墳出土剥抜式舟形石棺レプリカ



現在の大代古墳

第90図 大代古墳の現地保存と史跡整備



第91図 大代古墳トンネル空中写真と現在の様子（下：鳴門市教育委員会提供）

大古代墳

第1表 出土遺構一覧表
SM1001

遺構名	グリッド	墳丘平面形態	墳丘側標高 (m)	石室 (4体部) 断面形態	墓室長軸 (m)	墓室短軸 (m)	墓室深さ (m)	右室長軸 (m)	右室短軸 (m)	石室高 (m)	主軸方向	備考
SM1001	R-7	前方後円墳	全長 54 最内部 南北径 31 東西径 45 前方部長23 埴丘高 後円部6.7 前方部3.3	D字形状	7.4	4.5	0.8	3.7	北小口 1.1 南小口 1.0	0.42	N-4°・W	大代古墳。

SM1001剥抜式舟形石棺

遺構名	グリッド	長さ(m)	幅(m)	高さ(m)	長軸(内法)・短軸(内法) (m)	深さ(外法) (m)
剥抜式舟形 石棺	R-7	2.84	0.87	0.42	2.23	0.66

SM1002

遺構名	グリッド	墳丘平面形態	墳丘側標高 (m)	石室 (4体部) 断面形態	墓室長軸 (m)	墓室短軸 (m)	墓室深さ (m)	右室長軸 (m)	右室短軸 (m)	石室高 (m)	主軸方向	備考
SM1002	C-5-6	円墳	直径 22.0									2号墳。

SM1003

遺構名	グリッド	墳丘平面形態	墳丘径 (m)	石室 (4体部) 断面形態	墓室長軸 (m)	墓室短軸 (m)	墓室深さ (m)	右室長軸 (m)	右室短軸 (m)	石室高 (m)	主軸方向	備考
SM1003	I-5	円墳	直径 15	四角形状	2.7	西小口 0.9 東小口 1.2						N-20°・W 3号墳。 牛込添は 隣式石棺。

ST1001

遺構名	グリッド	墳丘	石室 (4体部) 断面形態	墓室長軸 (m)	墓室短軸 (m)	墓室深さ (m)	右室長軸 (m)	右室短軸 (m)	石室高 (m)	主軸方向	備考
ST1001	α-2区 S-1-2	集塊丘	四角形	2.5	0.75	0.6	1.62	0.28	0.16	N-40°・E	1号若式石棺。 大代古墳上体部からの 深度差約70m。

SX1001

遺構名	グリッド	半圓形態	前斜形態	長軸(m)	短軸(m)	深度(m)	備考
SX1001	Q-R-7	椭円形状	浅いD字状	2.4	1.8	0.4	

SX1002

遺構名	グリッド	半圓形態	前斜形態	長軸(m)	短軸(m)	深度(m)	備考
SX1002	R-7	椭円形状	二角形	1.12	0.48	0.21	

第2表 出土遺物觀察表
Aトレンチ (埴輪)

出土位置番号	遺 優	出土場所	層位	目 標	底面 (cm)	形状の特徴	高さ・幅	地 点	色 調	説 明
1	Aトレンチ	西側から東へ 4~7m進む	第2層	IT隕石標	幅 6.0 厚 0.4 埋 1.1	馬頭・オーティー (各 7cm), 頭・石頭・骨頭・頭骨・足骨・赤 色粘土 (各 3cm)を含む。	高さ: 7.6cm, 幅: 7.6cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。

Gトレンチ (埴輪)

出土位置番号	目 標	出土場所	層位	目 標	底面 (cm)	形状の特徴	高さ・幅	地 点	色 調	説 明
2	I型頭 Gトレンチ	西側から東へ 4~7m進む	第2層	IT隕石標	頭 3.5 足 3.5 骨 3.5 厚 1.1	骨頭・頭骨文様。 馬頭・オーティー。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
3	I型頭 Gトレンチ	西側から東へ 4~7m進む	第2層	IT隕石標	頭 6.9 足 6.9 骨 6.9 厚 1.8	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
4	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 6.3 足 6.3 骨 6.3 厚 1.6	馬頭・オーティー (6cm/2) の 頭部。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
5	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 2.7 足 2.7 骨 2.7 厚 1.6	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
6	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 3.3 足 3.3 骨 3.3 厚 1.2	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
7	I型頭 Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 6.7 足 6.7 骨 6.7 厚 1.8	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
8	Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.3 足 5.3 骨 5.3 厚 1.7	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
9	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.5 足 5.5 骨 5.5 厚 1.8	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
10	Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.5 足 5.5 骨 5.5 厚 1.8	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
11	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.8 足 5.8 骨 5.8 厚 1.2	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
12	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 6.7 足 6.7 骨 6.7 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
13	Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 6.2 足 6.2 骨 6.2 厚 1.9	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
14	Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 2.9 足 2.9 骨 2.9 厚 1.1	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
15	Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 6.2 足 6.2 骨 6.2 厚 1.6	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
16	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.7 足 5.7 骨 5.7 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
17	Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 3.2 足 3.2 骨 3.2 厚 1.1	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
18	Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 5.0 足 5.0 骨 5.0 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
19	I型頭 Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 5.5 足 5.5 骨 5.5 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
20	I型頭 Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 5.5 足 5.5 骨 5.5 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
21	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 5.0 足 5.0 骨 5.0 厚 0.9	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
22	I型頭 Gトレンチ	北側部	内3回転	IT隕石標	頭 6.5 足 6.5 骨 6.5 厚 1.4	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
23	I型頭 Gトレンチ	北側部	内3回転	IT隕石標	頭 5.7 足 5.7 骨 5.7 厚 1.5	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
24	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 4.0 足 4.0 骨 4.0 厚 1.2	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
25	I型頭 Gトレンチ	北側部	下層	IT隕石標	頭 6.7 足 6.7 骨 6.7 厚 1.8	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
26	I型頭 Gトレンチ	S-11	第1層 (表土)	IT隕石標	頭 6.7 足 6.7 骨 6.7 厚 1.1	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
27	I型頭 Gトレンチ	北側部	第2層	IT隕石標	頭 6.0 足 6.0 骨 6.0 厚 1.4	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。
28	I型頭 Gトレンチ	北側部	内3回転	IT隕石標	頭 6.0 足 6.0 骨 6.0 厚 1.1	馬頭・足頭。	高さ: 7.5cm, 幅: 7.5cm, 厚さ: 0.3cmを含む。	赤	赤茶	赤茶色。

地名	基準点	生土点	層位	層神	法基 (ca)	断面の特徴	成形・調製	地土	色調	鑑定
29	上等 Gトレンチ	試験場	下層	円筒埴輪	法基(4.6) 脚(23.6) 厚さ 1.1	断面、直線的。テガはM形。	外観: タハナコハケ(10 cm)。内面: ナガズ、タガニ。	粉、石灰、鐵錫、粘土質等、水 洗液約0.1~1mlを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
30	1号焼 Gトレンチ	新兵選抜	第2層	円筒埴輪	法基(4.6) 脚(23.6) 厚さ 1.0	断面、直線的に外方に膨らむ。 テガはE形。	外観: タハナコハケ(壁のため草 茎形)。内面: ナガズ。	粉、石系、赤色斑点を含む。	赤	焼成粗粒。
31	1号焼 Gトレンチ	征兵場	下層	円筒埴輪	法基(4.6) 脚(23.6) 厚さ 1.0	断面、直線的に外方に膨らむ。 テガはG形。	外観: ナガズ。	粉、石灰、炭素、鐵錫等、水 洗液約0.1~2.5mlを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
32	1号焼 Gトレンチ	板張場	第2層	円筒埴輪	法基(4.6) 脚(23.6) 厚さ 1.7	断面、直線的に外方に膨らむ。 底部から直線的に膨らむ。	外観: タハナコハケ(10 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、赤色斑点を含む。	赤	焼成粗粒。
33	1号焼 Gトレンチ			円筒埴輪	法基(38.6) 脚(36.8) 厚さ 1.9	断面、直線的に外方に膨 らむ。底部から直線的に膨 らむ。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石灰、粘土質等、水 洗液約0.1~5mlを含む。	明赤	焼成粗粒、 内側表面粗 粒。
34	1号焼 Gトレンチ		下層	円筒埴輪	法基(4.2) 脚(23.6) 厚さ 1.0	断面、直線的に外方に膨らむ。 底部から直線的に膨 らむ。	外観: タハナコハケ(9 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等、水 洗液約0.1~3mlを含む。	赤	焼成粗粒。
35	1号焼 Gトレンチ	第1ヶ所上 部埴輪陳列 (北端)		円筒埴輪	法基(5.7) 脚(22.9) 厚さ 1.6	断面やや角張り、直線直 線的に外方に膨らむ。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石灰、炭素、鐵錫等、水 洗液約0.1~1mlを含む。	赤	焼成やや粗粒、 外側に黒斑有 り。

Hトレンチ (埴輪)

地名	基準点	生土点	層位	層神	法基 (ca)	断面の特徴	成形・調製	地土	色調	鑑定
36	1号焼 Hトレンチ	中央部	第2層	直筒埴輪 底部	法基 7.6 厚さ 1.8	断面の底。	外観: ナガズ。 内面: ナガズ。	粉、石灰、粘土質等0.1~0.3ml を含む。	明赤	焼成粗粒。
37	1号焼 Hトレンチ	中央部	第2層	直筒埴輪	法基 5.5 厚さ 2.0	断面の底。	外観: ナガズ。 内面: ナガズ。	粉、石灰、炭素、鐵錫等0.1~1mlを含む。	赤	焼成粗粒。
38	1号焼 Hトレンチ	第2層 下部	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(5.0) 脚(27.6) 厚さ 1.2	底部内側しながら立ち上がる。 底部直通溝。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~0.3mlを含む。	赤	焼成粗粒。
39	1号焼 Hトレンチ	第2層 下部	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(5.0) 脚(27.6) 厚さ 0.9	底部内側しながら立ち上がる。 底部直通溝。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~0.5mlを含む。	明赤	焼成粗粒。
40	1号焼 Hトレンチ	中央部	第2層	直筒埴輪 底部	法基 5.5 厚さ 1.5	断面の底。	外観: ナガズの底流。	粉、石系、粘土質等0.1~0.5mlを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
41	1号焼 Hトレンチ		第2層 下部	円筒埴輪	法基(5.7) 脚(22.9) 厚さ 0.9	断面、直線的に外方に膨らむ。 テガはE形。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、赤色斑点を含む。	赤	焼成粗粒。

Jトレンチ (埴輪)

地名	基 準	生 土 点	層 位	部 位	法 基 (ca)	断面の特徴	成形・調製	地 土	色 調	鑑 定
42	1号焼 Jトレンチ	前方部直通 溝下部	第2層	円筒埴輪	法基(7.4) 脚(22.2) 厚さ 1.0	断面、直線的。テガは直角形。 底部に透かし、中(下)に開 口部がある。	外観: ナガズ。 内面: タハナコハケ(7~8cm)。 内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~1cmを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
43	1号焼 Jトレンチ	後 2 段	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(7.0) 脚(22.6) 厚さ 1.1	断面、直線的。アガは合形成。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~2cmを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
44	1号焼 Jトレンチ	前方部直通 溝下部	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(6.5) 脚(22.6) 厚さ 1.0	断面、直線的。テガは直角形。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~1cmを含む。	明赤	焼成やや粗粒。
45	1号焼 Jトレンチ	第2層	円筒埴輪	直筒埴輪	法基(7.1) 脚(22.6) 厚さ 1.4	断面、直線的。テガは直角形。 底部に透かし、中(下)に開 口部がある。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~2cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
46	1号焼 Jトレンチ	後 2 段	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(6.5) 脚(22.6) 厚さ 1.0	断面、直線的。テガは直角形。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~1cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
47	1号焼 Jトレンチ	前方部直通 溝下部	側面直通 溝	直筒埴輪	法基(7.0) 脚(22.6) 厚さ 1.1	断面、直線的。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~3cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
48	1号焼 Jトレンチ	東部直通 溝	第2層	円筒埴輪	法基(7.2) 脚(22.6) 厚さ 1.0	断面、直線的。底部に開口部。 底部直通溝。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: タハナコハケ(7 cm)。	粉、石系、粘土質等0.1~2.5cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
49	1号焼 Jトレンチ	東部直通 溝	第2層	円筒埴輪	法基(7.2) 脚(22.6) 厚さ 1.2	断面、直線的。底部に開口部。 底部直通溝。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: タハナコハケ(7 cm)。	粉、石系、粘土質等0.1~3cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
50	1号焼 Jトレンチ	第2層	円筒埴輪	直筒埴輪	法基(5.4) 脚(22.6) 厚さ 1.3	断面直通溝。底部から外方に 膨らむ。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: タハナコハケ(7 cm)。	粉、石系、粘土質等0.1~3.5cmを含む。	明赤	焼成粗粒。
51	1号焼 Jトレンチ	第2層	円筒埴輪	直筒埴輪	法基(5.0) 脚(22.0) 厚さ 1.8	断面直通溝。底部から外方に 膨らむ。	外観: ナガズ。 内面: ナガズ。	粉、石系、粘土質等0.1~4cmを含む。	有赤	焼成やや粗粒。
52	1号焼 Jトレンチ	第2層	円筒埴輪	直筒埴輪	法基(7.1) 脚(22.0) 厚さ 1.0	断面直通溝。底部から外方に 膨らむ。	外観: タハナコハケ(8 cm)。内面: タハナコハケ(7 cm)。	粉、石系、粘土質等0.1~4.5cmを含む。	有赤	焼成粗粒。
53	1号焼 Jトレンチ	東部直通 溝	第2層	円筒埴輪	法基(6.7) 脚(22.0) 厚さ 1.5	断面直通溝。底部から外方に 膨らむ。	外観: タハナコハケ(7 cm)。内面: タハナコハケ(6 cm)。	粉、石系、赤色斑点を含む。	赤	焼成粗粒。

クトレンチ（植物）

植物名	品種	生息地	習性	被覆	花期 (cm)	葉の特徴	花形・形質	粒土	色調
54	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.2-2.4	高10.1 葉幅 等号11.8 葉長 等号14.0-24	圓錐花序 葉上部。	圓錐花序 葉上部。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
55	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.1-2.0	高13.5 葉幅 等号11.8 葉長 等号14.0-24	葉上部 葉上部。	葉上部 葉上部。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
56	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.1-1.5	高12.8 葉幅 等号8.5 葉長 等号11.5-16	葉上部 葉上部。	葉上部 葉上部。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
57	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号0.9	高5.3 葉幅 等号0.9 葉長 等号0.9-9	葉上部 葉上部。	葉上部 葉上部。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
58	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号0.9	高17.3 葉幅 等号11.3 葉長 等号14.0-24	葉上部 葉上部。	葉上部 葉上部。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
59	1号種 Kトレンチ	当披拂形 葉形	被 葉厚 等号1.9	高4.2 葉幅 等号1.9 葉長 等号1.9	細葉の花。	細葉の花。	細葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
60	1号種 Kトレンチ	当披拂形 葉形	被 葉厚 等号2.5	高4.6 葉幅 等号2.5 葉長 等号2.5	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
61	1号種 Kトレンチ	集中葉輪形 葉形	被 葉厚 等号2.3	高5.7 葉幅 等号2.3	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。
62	1号種 Kトレンチ	百日草形 葉形	被 葉厚 等号1.5	高4.2 葉幅 等号0.8 葉長 等号1.5	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	葉の花。外下方に葉腋部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。
63	1号種 Kトレンチ	後内被北斜面 第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.8	高5.9 葉幅 等号1.8	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。
64	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号2.7	高8.7 葉幅 等号2.7	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	褐 成虫出現。 卵否。葉否。枝葉繁茂。步 行道樹に1-3mを咲かす。
65	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.6	高5.2 葉幅 等号1.6	葉の花。外下方に山腹部に葉 3-5枚、通常は歩行形に咲める。	葉の花。此把分枝手状花序。2 カ所。葉腋分枝モノハケ(9 月)。通常は葉腋部には花序のみ 咲くが、花序は歩行形に咲める。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
66	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号2.5	高11.0 葉幅 等号2.5	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
67	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号2.0	高13.3 葉幅 等号2.0	葉の花。葉腋部に葉無し、下方に風引。	葉の花。葉腋部に葉無し、下方に風引。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
68	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.7	高6.9 葉幅 等号1.7	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
69	1号種 Kトレンチ	百日草形 葉形	被 葉厚 等号1.5	高4.7 葉幅 等号1.5	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
70	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号2.5	高9.2 葉幅 等号2.5	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
71	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.6	高32.7 葉幅 等号1.6	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
72	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.6	高7.5 葉幅 等号1.6	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
73	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.4	高3.1 葉幅 等号1.4	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
74	1号種 Kトレンチ	百日草形 葉形	被 葉厚 等号1.7	高3.1 葉幅 等号1.7	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
75	1号種 Kトレンチ	松葉形 葉形	被 葉厚 等号1.9	高4.5 葉幅 等号1.9	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
76	1号種 Kトレンチ	後内被北斜面 第2層 下部	毛葉切端 形態	被 葉厚 等号1.3	高5.3 葉幅 等号1.3	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
77	1号種 Kトレンチ	後内被北斜面 第2層 下部	毛葉切端 形態	被 葉厚 等号1.5	高4.7 葉幅 等号1.5	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
78	1号種 Kトレンチ	長柄形 葉形	被 葉厚 等号2.0	高5.6 葉幅 等号2.0	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
79	1号種 Kトレンチ	鋸葉形 葉形	被 葉厚 等号2.4	高3.2 葉幅 等号2.4	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
80	1号種 主茎型	カリビバメ 後内被北斜面 第2層	直披拂形 葉形	被 葉厚 等号1.9	高4.3 葉幅 等号1.9	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
81	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	毛葉切端 形態	被 葉厚 等号2.1	高7.5 葉幅 等号2.1	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
82	1号種 Kトレンチ	松葉形 葉形	被 葉厚 等号1.5	高5.0 葉幅 等号1.5	葉の花。	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。
83	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	粗面輪葉 形態	被 葉厚 等号1.3	高6.2 葉幅 等号1.3	葉の花。	葉の花。	青、石青、黃青、綠葉紅斑、步 行道樹に1-3mを咲かす。	明治櫻 褐成虫出現。

学名	種	生息地	巣	卵	孵化の時期	成形・高さ	巣上	色調	備考
84	ヒトドリ トキ	西高麗湖	第2巣	巣床地盤 底質	灰 緑 黒 1.5	羽田:ナガのち正卵。 内閣:ナガ。	鵠、灰瓦。底盤約0.1~3.0cmを含む。	青赤系	後成熟質。
85	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 黄 9.1 9.0 1.6	羽田:ナガ。失脚時の沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石菖。青40.0~1~2.5cmを含む。	灰褐色	後成熟質。
86	1号種 Kトシシナ	中央部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 白 10.0 9.5 2.2 1.5	羽田:巣の北端。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色地盤6mmを含む。	明赤系	後成熟質。
87	1号種 Kトシシナ	内高麗湖	第2巣	巣床地盤 底質	灰 4.4 4.2 0.9 1.5	羽田:ナガ。復元。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。底盤約0.1~4.0cmを含む。	赤褐色	後成熟質。
88	1号種 Kトシシナ	後に北東新潟	第2巣 二子添	巣床地盤 底質	灰 5.5 5.0 2.2	経済報告。	鵠、石灰。底盤約0.1~2.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。
89	ヒトドリ トキ	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 5.1 5.1 2.2	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。純品7片で地盤約1~4cmを含む。	赤褐色	後成中や候。	
90	1号種 Kトシシナ	我那部川河口	第2巣 下巻	巣床地盤 底質	灰 9.1 8.9 1.9	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。純品7片で地盤約1~4cmを含む。	明赤系	後成熟質。
91	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 9.5 9.5 2.2	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~2.5cmを含む。	赤褐色	後成熟質。
92	1号種 Kトシシナ	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 5.1 5.6 2.0	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。底盤約0.1~1.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。	
93	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 10.5 10.5 2.2	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色地盤1~4cmを含む。	赤褐色	後成熟質。
94	1号種 Kトシシナ	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 8.8 11.1 1.7	羽田:ナガ。	鵠、青苔。赤色地盤を含む。	青系	後成熟質。	
95	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 5.1 5.1 1.6	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~2.5cmを含む。	明赤系	後成成熟質。
96	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 6.7 6.7 1.6	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~2.5cmを含む。	明赤系	後成成熟質。
97	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 4.3 4.3 2.0	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~2.5cmを含む。	明赤系	後成成熟質。
98	1号種 Kトシシナ	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 10.9 7.0 1.5	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。砾石7片で地盤約1~4.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。	
99	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 6.7 6.7 1.5	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~2.5cmを含む。	赤褐色	後成熟質。
100	1号種 Kトシシナ	後に北東新潟	第2巣 二子添	巣床地盤 底質	灰 8.9 6.8 1.5	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~0.1~1.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。
101	ヒトドリ トキ	中央部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 5.2 2.1 1.7	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青苔を含む。	青系	後成熟質。
102	1号種 Kトシシナ	西高麗湖	第1巣 (巣)	巣床地盤 底質	灰 5.5 5.8 1.9	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色地盤2mmを含む。	明赤系	後成熟質。
103	1号種 Kトシシナ	鳥取部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 3.6 9.0 1.5	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青40.0~1~3.5cmを含む。	青系	後成熟質。
104	1号種 Kトシシナ	北高麗湖	第3巣 中部	巣床地盤 底質	灰 4.5 4.5 2.0	羽田:ナガのモハラ等による隙 内閣:エヌコ。	鵠、石灰。藻類・浮遊性藻類・青苔等を含む。	明赤系	後成熟質。
105	ヒトドリ トキ	中央部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 7.2 9.5 2.8	羽田:黒い片状の地盤。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。糞糞片、赤色地盤 等を含む。	明赤系	後成熟質。
106	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 8.4 8.2 2.5	羽田:ナガ。沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青苔・赤色地盤0.1~1.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。
107	ヒトドリ トキ	北高麗湖	第2巣	巣床地盤 底質	灰 6.7 7.0 1.6	羽田:ナガのもの汚物の沈没。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。青苔・赤色地盤を含む。	明赤系	後成熟質。
108	1号種 Kトシシナ	北高麗湖	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 11.3 10.0 2.1	羽田:ナガ。失脚時の沈没。ハイ (巣)。	鵠、石灰。糞糞片、赤色地盤 等を含む。	赤褐色	後成熟質。
109	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 8.7 10.3 1.9	羽田:失脚時の沈没。ハイ (巣)。	鵠、石灰。赤色経糞0.1~1.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。
110	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 2.5 2.2 2.0	羽田:ナガ。沈没。	鵠、石灰。赤色地盤1cmを含む。	明赤系	後成熟質。
111	1号種 Kトシシナ	松島部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 5.6 5.6 2.1	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色地盤2mmを含む。	明赤系	後成熟質。
112	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 4.9 3.6 2.7	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色経糞0.1~1.5cmを含む。	明赤系	後成熟質。
113	1号種 Kトシシナ	松島部	第2巣	巣床地盤 底質	灰 5.7 5.7 1.6	羽田:ナガ。底苔。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。糞糞片、赤色地盤 等を含む。	青系	後成中や候。
114	1号種 Kトシシナ	後に北東新潟	巣合部 下巣	巣床地盤 底質	灰 7.0 7.8 1.6	羽田:底苔。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。糞糞片、赤色地盤 等を含む。	赤褐色	後成熟質。
115	1号種 Kトシシナ	近畿部	第2巣 下巣	巣床地盤 底質	灰 7.5 8.8 2.2	羽田:ナガ。 内閣:ナガ。	鵠、石灰。赤色地盤2mmを含む。	明赤系	後成熟質。

標本番号	表 備	生息地	棲位	目 標	高さ (cm)	若年の特徴	成熟・性別	約 年	色 装	備考		
1/5	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(5.0) 傾斜(28.5) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	山地の斜面に、樹幹で遮蔽した 方に立ち上がる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)。 内面: ハコ(5~6cm)の もとナ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~5.5mmを含む。	春	赤葉や今秋葉。	春開		
149	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	口端部上方に立ち上る。溝端と 口端部の形が似通してい る。	若年: ナギナタハク(7~8cm)。 内面: ハコナメリ(7~8cm)の もとナツハク(7~8cm)。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑5mmを含む。	若小毛	初秋葉。			
150	1号種 Kトレンチ	松林地	第2層	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(23.5) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	根柢から方に延びる。根間に 根柢は斜め立ちする。	若年: ナギナタハク(7~8cm)。 内面: ハコナメリ(7~8cm)の もとナツハク(7~8cm)。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~4mmを含む。	春開	後成葉。		
151	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	樹根は斜面の端に寄り、溝端に 斜面をM字状に立てる。	若年: ナギナタハク(6~7cm)の もとナツカ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~4mmを含む。	春	相 内: 水滴	產生や初夏葉。		
152	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(5.7) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.4)	斜面に一方に延びる。根間に斜 面には延びる。	若年: ナコロケ(6~7cm)の もとナツカ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	春開	赤葉-鈍角片岩-赤色斑 0.1~6mmを含む。	春開	後成葉。	
153	1号種 Kトレンチ	内陸部	第2層	樹根堆積物	標高(5.0) 傾斜(27.5) 露呈(2.0) 厚さ(1.1)	斜面に、表面が温かい。 斜面はM字状に立てる。	若年: ナコロケ(7~8cm)の もとナツカメツ(7~8cm)の 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	小毛	後成葉。		
154	1号種 Kトレンチ	松林地	第2層	樹根堆積物	標高(7.2) 傾斜(27.7) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	斜面と原木の間に、根柢が斜め 立ち上る。	若年: ナギナタハク(7~8cm)。 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~2.5mmを含む。	明小毛	後成葉。		
155	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	樹根の斜面の端に寄り、溝端に 斜面をM字状に立てる。	若年: ナギナタハク(6~7cm)の もとナツカ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~10mmを含む。	明小毛	後成葉。			
156	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.4)	斜面に寄り、根柢は斜め立ちし、 斜面はM字状に立てる。	若年: ナギナタハク(6~7cm)の もとナツカ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~4mmを含む。	春開	後成葉。			
157	1号種 Kトレンチ	内陸部	第2層	樹根堆積物	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.9)	斜面の端に立ちながら上る。 斜面はM字状に立てる。	若年: ナギナタハク(6~7cm)。 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~4mmを含む。	小毛	後成葉。		
158	1号種 Kトレンチ	内陸部北斜面	第2層	樹根堆積物	標高(10.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(3.4)	樹根は斜面に立ちながら上り、 外斜面に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	春開	後成葉。		
159	1号種 Kトレンチ	内陸部北斜面	第2層	樹根堆積物	標高(7.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	斜面に寄り、根柢は斜め立ちし、 斜面はM字状に立てる。	若年: ナギナタハク(6~7cm)の 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	小毛	後成葉。		
160	1号種 Kトレンチ	西斜面	第2層 下部	内陸部	標高(5.5) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	斜面の端に立ちながら上る。	若年: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~4mmを含む。	明小毛	後成葉。		
161	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、根柢を丸く 立てる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
162	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、根柢を丸く 立てる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
163	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(0.9)	斜面は斜面に外反し、斜面を方 向に延びる。	若年: 摩擦のため茎葉小。(7~8cm)。 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~5mmを含む。	东洋毛	後成葉。			
164	1号種 Kトレンチ	松林地	第2層	内陸部	標高(5.5) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ハコナメリ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。		
165	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(4.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(2.8)	斜面は斜面に延び、根柢は斜め 立ちながら上る。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	小毛	後成葉。			
166	1号種 Kトレンチ	内陸部	第2層 下部	内陸部	標高(3.5) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(0.9)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~5mmを含む。	明小毛	後成葉。		
167	1号種 Kトレンチ	内陸部	第2層 下部	内陸部	標高(4.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(2.0)	斜面は斜面に延び、根柢は斜め 立ちながら上る。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。		
168	1号種 Kトレンチ	東江源流	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.1)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	小毛	後成葉。		
169	1号種 Kトレンチ	内陸部	第2層	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(0.9)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。		
170	1号種 Kトレンチ	西斜面	第2層	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.8)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	小毛	後成葉。		
171	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(4.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
172	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(3.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	中春毛	後成葉。			
173	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
174	1号種 Kトレンチ	内陸部北斜面	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。		
175	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.2)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
176	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
177	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.1)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			
178	1号種 Kトレンチ	第2層 下部	内陸部	標高(6.0) 傾斜(26.4) 露呈(2.0) 厚さ(1.0)	斜面は斜面に延び、斜面を方 向に延びる。	若年: ナギナタハク(7~8cm)の 内面: ナギナタ。	葉: 右葉-葉色-初春葉-赤 色-色斑0.1~6mmを含む。	明小毛	後成葉。			

L トレンチ（填輪）

無数の 種類	種 別	山口知恵	原産地	品 种	法式(cm)	形態の特徴	成15- 番號	粉 上	色 製	使 用
195	1年草 L.トレンド	長野県	第2番	小室鶏冠	根 幅 2.5 高さ 葉 2.7 茎 2.4	外葉：ナツメハ（下部）、 内葉：ナツメハ（上部） 花：白、淡紅色 果：球形、紫	粉上：ナツメハ（下部）、 内葉：ナツメハ（上部） 花：白、淡紅色 果：球形、紫	花市販 市販	新鮮度質	
196	1年草 L.トレンド	茨城県	第2番	形葉鶏冠	根 幅 6.3 高さ 葉 4.2 茎 2.1	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ。	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ。	花市販 市販	新鮮度質	
199	1年草 L.トレンド	鹿児島県	第2番	形葉鶏冠	根 幅 7.3 高さ 葉 5.5 茎 2.5	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ（幅2.0cm）。	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ（幅2.0cm）。	新鮮度質	新鮮度質	
200	1年草 L.トレンド	北海道	第2番	形葉鶏冠	根 幅 8.4 高さ 葉 7.8 茎 3.0	外葉：ナツメハ（8番目）、ナ ツメハ（9番目）、ナ ツメハ（10番目） 内葉：ナツメハ。	外葉：ナツメハ（8番目）、ナ ツメハ（9番目）、ナ ツメハ（10番目） 内葉：ナツメハ。	花市販 市販	新鮮度質	
201	1年草 L.トレンド	鹿児島県	円錐鶏冠	根 幅 4.8 高さ 葉 3.4 茎 1.1	オオはね形状。	外葉：ナツメハケ（4番目、 5番目）、ナツメハケ（4番目、 5番目）。	外葉：ナツメハケ（4番目、 5番目）。	花市販 市販	新鮮度質	
202	1年草 L.トレンド	鹿児島県	形葉鶏冠	根 幅 3.0 高さ 葉 2.5 茎 1.5	細弱、叢生的。当台根の側面 に付く。	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ。	花市販 市販	花市販 市販	新鮮度質	
203	1年草 L.トレンド	青森県	円錐鶏冠	根 幅 4.5 高さ 葉 3.5 茎 1.5	細弱、直立的。ドガリ状現して いる。	根葉：ナツメハ。葉：ナツメハ（圓錐の 側面に付く）。	根葉：ナツメハ。葉：ナツメハ（圓錐の 側面に付く）。	花市販 市販	新鮮度質	
204	1年草 L.トレンド	青森県	第2-3番	形葉鶏冠 高茎	根 幅 4.0 高さ 葉 12.2 茎 7.4	直立方形形。葉基から上部に かけて葉が濃い。	外葉：ナツメハ。 内葉：ナツメハ。	花市販 市販	新鮮度質	新鮮度質。葉 基から上部に葉 が濃い。
205	1年草 L.トレンド	宮崎県	第2番	圓錐鶏冠	根 幅 3.0 高さ 葉 10.0 茎 1.9	葉基有り。葉茎から上部に かけて葉が濃い。	外葉：ナツメハ（6番目、m）、 ナツメハ（7番目、m）。	花市販 市販	新鮮度質	新鮮度質。
206	1年草 L.トレンド	鹿児島県	第2番 下部	形葉鶏冠	根 幅 6.0 高さ 葉 12.0 茎 1.9	葉基有り形狀。葉基から上部に かけて葉が濃い。	外葉：ナツメハ（6番目、m）、 ナツメハ（7番目、m）。	花市販 市販	新鮮度質	新鮮度質。
207	1年草 L.トレンド	鹿児島県	第2番 下部	形葉鶏冠	根 幅 6.1 高さ 葉 12.0 茎 1.9	外葉を外すと、葉柄を下にす る。	外葉：ナツメハ（6番目、m）、 ナツメハ（7番目、m）。	花市販 市販	新鮮度質	新鮮度質。

番号(2)	種類	山地地點	層位	基準	法式 (cm)	岩の岩相	成形・調製	地 土	名 稱	備 考
208	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層	軽相形地盤	高さ(5.2) 厚さ(0.5) 幅さ(1.1)	表面をなめらかに保つ。背後に突出部 があり、前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、灰白、赤色斑点0.1~3cmを含む。 含む。	砂場	成形地質。
209	上空 Lトレンチ	西松原町	第2層	軽相形地盤	高さ(5.0) 厚さ(0.5) 幅さ(1.1)	表面をなめらかに保つ。肩部分を突き出 す。前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (6角/ cm) 内観: ナメ。	灰、灰白、黒母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~4cmを含む。	砂場	成形地質。
210	上空 Lトレンチ	西松原町	第2~3 層	軽相形地盤	高さ(4.0) 厚さ(0.2) 幅さ(1.1)	表面をなめらかに保つ。肩部分を突き出 す。前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (6角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~1cmを含む。	砂場	成形地質。
211	上空 Lトレンチ	城壁加賀野村	第2層 下段	軽相形地盤	高さ(5.5) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。肩部分を突き出 す。前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (8角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~3cmを含む。	砂場	成形地質。
212	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層	軽相形地盤	高さ(7.0) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。肩部分を突き出 す。前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (6角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~1cmを含む。	砂場	成形地質。
213	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層	軽相形地盤	高さ(8.2) 厚さ(0.5) 幅さ(1.2)	表面をなめらかに保つ。肩部分を突き出 す。前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
214	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	軽相形地盤	高さ(10.5) 厚さ(0.5) 幅さ(0.9)	表面をなめらかに保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~2cmを含む。	砂場	成形地質。
215	上空 Lトレンチ	城壁加賀野村	第2層 下段	軽相形地盤	高さ(15.4) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
216	上空 Lトレンチ	培養丘	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(5.0) 厚さ(0.5) 幅さ(0.9)	表面をなめらかに保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~2cmを含む。	砂場	成形地質。
217	上空 Lトレンチ	東庄原漁港	第2層	円錐形地盤	高さ(7.3) 厚さ(0.5) 幅さ(0.9)	表面をなめらかに保つ。斜面を保つ傾斜 面を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~6cmを含む。	砂場	成形地質。
218	上空 Lトレンチ	東庄原漁港	第2層 下段	円錐形地盤	高さ(4.7) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。斜面を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (6角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~4cmを含む。	砂場	成形地質。
219	上空 Lトレンチ	江添村	第2層	円錐形地盤	高さ(5.9) 厚さ(0.5) 幅さ(0.9)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
220	上空 Lトレンチ	吉野松原	第2層	円錐形地盤	高さ(6.5) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~2cmを含む。	砂場	成形地質。
221	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(6.7) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~6cmを含む。	砂場	成形地質。
222	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 下段	円錐形地盤	高さ(6.7) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
223	上空 Lトレンチ	深谷水系	第2~3 層	円錐形地盤	高さ(6.5) 厚さ(0.5) 幅さ(0.8)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~3cmを含む。	砂場	成形地質。
224	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(4.0) 厚さ(0.5) 幅さ(1.1)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~4cmを含む。	砂場	成形地質。
225	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(3.8) 厚さ(0.5) 幅さ(1.1)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
226	上空 Lトレンチ	城壁加賀野村	第2層 下段	円錐形地盤	高さ(3.2) 厚さ(0.5) 幅さ(0.9)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~4cmを含む。	砂場	成形地質。
227	上空 Lトレンチ	深谷水系	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(4.2) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
228	上空 Lトレンチ	江添村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(3.3) 厚さ(0.5) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~4cmを含む。	砂場	成形地質。
229	上空 Lトレンチ	西庄原漁港	第2層	円錐形地盤	高さ(5.6) 厚さ(2.0) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~3.5cmを含む。	砂場	成形地質。
230	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 下段	円錐形地盤	高さ(4.0) 厚さ(2.0) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~1.5cmを含む。	砂場	成形地質。
231	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(3.8) 厚さ(2.0) 幅さ(1.3)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~6cmを含む。	砂場	成形地質。
232	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(4.0) 厚さ(2.0) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
233	上空 Lトレンチ	深谷水系	第2層 下段	円錐形地盤	高さ(3.8) 厚さ(2.0) 幅さ(1.0)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~5cmを含む。	砂場	成形地質。
234	上空 Lトレンチ	長瀬村	第2層 上部	円錐形地盤	高さ(3.8) 厚さ(2.0) 幅さ(1.2)	表面をなめらかに保つ。傾斜を有する。 前面は大面積を保つ。	外観: 1テグ、タテハナ (7角/ cm) 内観: ナメ。	灰、石英、赤母、結構凹凸、赤 色斑点0.1~6cmを含む。	砂場	成形地質。

種別	品種名	品種番号	生长期	培植	食性 (ex)	物理的特徴	成形・熟度	地上部	花 蕊	備考
1号球 L.トレンチ	西野球	第1号 (秋生)	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(22.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 高さの上に葉が、タガは有形形。 [内観] ヨコハケ(8角/m)、ナメハケ(7角/m)。	内葉: ナメハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	株、葉先・結果物が短く、葉色鮮やか。 0.1~2cmを含む。	白花	結果物。	
236	1号球 L.トレンチ	東近畿種	丁番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(22.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質、遅成り。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	明るめ	地味新鮮。
237	1号球 L.トレンチ	サニス付内	第1段 中番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(25.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 高さの上に葉が、タガは有形形。 [内観] ヨコハケ(8角/m)、ナメハケ(7角/m)。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	内蔵	地味新鮮。 A級セリナリヤ。
238	1号球 L.トレンチ	近畿種	第2番 上番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 高さの上に葉が、タガは有形形。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味やや新鮮。
239	1号球 L.トレンチ	西野球	第2番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(22.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	明るめ	地味新鮮。
240	1号球 L.トレンチ	福岡県球根	第2番 上番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(22.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。遅成り。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	明るめ	地味新鮮。
241	1号球 L.トレンチ	西近畿種	第2番 上番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(23.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
242	1号球 L.トレンチ	宮崎県球根	第3番 中番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(26.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。遅成り。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
243	1号球 L.トレンチ	西武球根	第2番 上番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(26.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に葉びと。透かし孔(内葉)。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
244	1号球 L.トレンチ	宮崎県球根	第2番 上番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(26.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に葉びと。透かし孔(内葉)。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
245	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番 上番	日向球根	苗高(6.5) 茎葉(26.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、日本特有形。タガは有形形。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
246	1号球 L.トレンチ	北近畿種	第2番	河内球根	苗高(6.5) 茎葉(26.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。タガは内形形。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~5mm)を含む。	赤	地味新鮮。
247	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番 上番	河内球根	苗高(7.0) 茎葉(26.5) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)の 内葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
248	1号球 L.トレンチ	東近畿種	第2番	河内球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
249	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番	河内球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味やや新鮮。
250	1号球 L.トレンチ	南東近畿種	第2番 中番	河内球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
251	1号球 L.トレンチ	佐賀種	第2番	河内球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
252	1号球 L.トレンチ	奈良種	第2番 上番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
253	1号球 L.トレンチ	西近畿種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
254	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
255	1号球 L.トレンチ	東近畿種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
256	1号球 L.トレンチ	東近畿種	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、外方に延びる。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
257	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~2mm)を含む。	赤	地味やや新鮮。
258	1号球 L.トレンチ	東近畿種	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味やや新鮮。
259	1号球 L.トレンチ	長野種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英(0.1~2mm)を含む。	赤	地味新鮮。
260	1号球 L.トレンチ	東近畿種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
261	1号球 L.トレンチ	埼玉特選球根	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味やや新鮮。
262	1号球 L.トレンチ	日研球根	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
263	1号球 L.トレンチ	西近畿種	第2番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。
264	1号球 L.トレンチ	日研球根	第2番 下番	日向球根	苗高(7.0) 茎葉(27.0) 葉幅(1.5) 葉厚(0.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味やや新鮮。
265	1号球 L.トレンチ	軽井澤	7番	日向球根	苗高(6.4) 茎葉(23.6) 葉幅(1.5)	[外観] 頭細、直根質。	内葉: ヨコハケ(8角/m)、 外葉: ヨコハケ(7角/m)。	短、石英・花被冠短くcmを含む。	赤	地味新鮮。

地名(番号)	地 備	地上地点	層位	基 離	高 度(m)	形態の特徴	成因・型別	判 断	色 調	使 用
266 1号現 Lトレンチ	西延山口	第2層 上部	4段階斜面	基底(1.2) 段厚(2.5) 段幅(3.0)	4m	断続的。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状,赤色斑状1-2mmを含む。	砂利	造成や軽質。
267 1号現 Lトレンチ	東延山原	下部	門道斜面	基底(6.0) 段厚(22.6) 段幅(1.4)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:コロハケ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状,赤色斑状1-4mmを含む。	砂利	造成地質。
268 1号現 Lトレンチ	浜野北船塚	第2層 上部	門道斜面	基底(3.5) 段厚(2.0) 段幅(3.0)	4m	断続的。V字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状,5mmを含む。	砂利	造成地質。
269 1号現 Lトレンチ	内延山原	第2~3層	門道斜面	基底(6.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~4mmを含む。	砂利	造成地質。
270 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。上方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~4mmを含む。	砂利	造成地質。
271 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(7.2) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~6mmを含む。	砂利	造成地質。
272 1号現 Lトレンチ	正延地	第2層 上部	門道斜面	基底(5.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状10mmを含む。	明石路	造成地質。
273 1号現 Lトレンチ	北延地帯	第2号	門道斜面	基底(5.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~3mmを含む。	砂利	造成地質。
274 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2層	門道斜面	基底(1.2) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~2mmを含む。	砂利	造成地質。
275 1号現 Lトレンチ	東延山原	第2層	門道斜面	基底(6.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ(8m/m)。	灰,石英,赤色斑状7mmを含む。	明石路	造成地質。
276 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2~3層	門道斜面	基底(10.3) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状11mmを含む。	砂利	造成地質。
277 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.4) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~6mmを含む。	砂利	造成地質。
278 1号現 Lトレンチ	正延地	第2層 上部	門道斜面	基底(6.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ(8m/m)。	灰,石英,赤色斑状10mmを含む。	明石路	造成地質。
279 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.6) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状9mmを含む。	砂利	造成地質。
280 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~4mmを含む。	砂利	造成地質。
281 1号現 Lトレンチ	正延地	第2層	門道斜面	基底(12.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ(8m/m)。	灰,石英,赤色斑状8mmを含む。	明石路	造成地質。
282 1号現 Lトレンチ	正延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(10.5) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状,赤色斑状0.1~10mmを含む。	砂利	造成地質。
283 1号現 Lトレンチ	西延山原斜面	第2層 上部	門道斜面	基底(10.0) 段厚(2.0) 段幅(1.4)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状1mmを含む。	砂利	造成地質。
284 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.4) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状1mmを含む。	砂利	造成地質。
285 1号現 Lトレンチ	正延地	第2~3層	門道斜面	基底(10.5) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~6.5mmを含む。	明石路	造成地質。
286 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(10.0) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状8mmを含む。	砂利	造成地質。
287 1号現 Lトレンチ	松原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.4) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状0.1~1.2mmを含む。	砂利	造成地質。
288 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2~3層	門道斜面	基底(10.5) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。外方に尾根。タガはV字形。	外因:ナメクジ,コロハケ(7m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状10mmを含む。	明石路	造成地質。
289 1号現 Lトレンチ	東延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状8mmを含む。	砂利	造成地質。
290 1号現 Lトレンチ	北延地	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状7mmを含む。	砂利	造成地質。
291 1号現 Lトレンチ	正延地	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状6mmを含む。	砂利	造成地質。
292 1号現 Lトレンチ	西延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状5mmを含む。	砂利	造成地質。
293 1号現 Lトレンチ	正延地	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状4mmを含む。	砂利	造成地質。
294 1号現 Lトレンチ	内延山原	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状3mmを含む。	砂利	造成地質。
295 1号現 Lトレンチ	西延山原斜面	第2層 上部	門道斜面	基底(6.7) 段厚(2.0) 段幅(1.2)	10m	断続的。直線的。タガはV字形。	外因:ナメクジ(8m/m)。 内因:ナメクジ。	灰,石英,赤色斑状2mmを含む。	砂利	造成地質。

学名	分類	出典地	原生	花	葉	果	注意 (cm)	形態的特徴	成形・調整	計	外観	備考
295 上等 L.トレンチ	城西深山林	第2章 下部	刀形葉輪	高さ 幅さ 厚さ 1.4	4.2 5.4 1.4	内面: 外面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
297 1号境 L.トレンチ	笠置山	第2章	円錐輪	高さ (6.1) 幅さ (2.0) 厚さ (1.3)	6.1 2.0 1.3	網状、長い網状。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
298 1号境 L.トレンチ	城西深山林	第2章 上部	円錐輪	高さ (2.4) 幅さ (0.5) 厚さ (1.3)	2.4 0.5 1.3	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
299 1号境 L.トレンチ	高仙山林	第2章 下部	H形輪	高さ (3.7) 幅さ (2.0) 厚さ (1.0)	3.7 2.0 1.0	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
300 1号境 L.トレンチ	城西深山林	第2章 下部	刀形葉輪	高さ (5.5) 幅さ (2.2) 厚さ (1.2)	5.5 2.2 1.2	網状、やや外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
301 1号境 L.トレンチ	四日市林	第2章	圓錐輪	高さ (5.8) 幅さ (2.1) 厚さ (1.0)	5.8 2.1 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
302 1号境 L.トレンチ	西近畿	第2章	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.2) 厚さ (1.2)	5.0 2.2 1.2	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
303 1号境 L.トレンチ	西近畿	第2章	H形輪	高さ (7.9) 幅さ (2.5) 厚さ (1.0)	7.9 2.5 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
304 1号境 L.トレンチ	新野林	第2章 上部	円錐輪	高さ (5.5) 幅さ (2.4) 厚さ (0.9)	5.5 2.4 0.9	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
305 1号境 L.トレンチ	西近畿	第2章	円錐輪	高さ (5.5) 幅さ (2.4) 厚さ (1.0)	5.5 2.4 1.0	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
306 1号境 L.トレンチ	唐津西山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.7) 厚さ (1.4)	5.0 2.7 1.4	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
307 1号境 L.トレンチ	城西深山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.5) 厚さ (1.0)	5.0 2.5 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
308 1号境 L.トレンチ	種子島低地林	第2章 下部	円錐輪	高さ (4.7) 幅さ (2.6) 厚さ (1.3)	4.7 2.6 1.3	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
309 1号境 L.トレンチ	北武北紫雲林	第2章 上部	円錐輪	高さ (4.2) 幅さ (2.6) 厚さ (1.5)	4.2 2.6 1.5	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
310 1号境 L.トレンチ	船出林	第2章 上部	H形輪	高さ (5.0) 幅さ (2.4) 厚さ (1.0)	5.0 2.4 1.0	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
311 1号境 L.トレンチ	新野林	第2章	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.6) 厚さ (1.1)	5.0 2.6 1.1	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
312 1号境 L.トレンチ	城西深山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (7.0) 幅さ (2.5) 厚さ (1.0)	7.0 2.5 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
313 1号境 L.トレンチ	船出林	第2章 下部	円錐輪	高さ (6.1) 幅さ (2.5) 厚さ (1.0)	6.1 2.5 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
314 1号境 L.トレンチ	新野林	第2章	刀形葉輪	高さ (6.5) 幅さ (2.6) 厚さ (0.9)	6.5 2.6 0.9	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
315 1号境 L.トレンチ	印旛沼	第2章	円錐輪	高さ (5.1) 幅さ (2.6) 厚さ (1.1)	5.1 2.6 1.1	網状、外方に弧びる。進化。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
316 1号境 L.トレンチ	西近畿	第2章	円錐輪	高さ (5.3) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	5.3 2.6 1.0	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
317 1号境 L.トレンチ	新野林	第2章	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	5.0 2.6 1.0	網状、外方に弧びる。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
318 1号境 L.トレンチ	東近畿	第2章 下部	円錐輪	高さ (6.0) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	6.0 2.6 1.0	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
319 1号境 L.トレンチ	西近畿	第2章	円錐輪	高さ (5.5) 幅さ (2.6) 厚さ (0.9)	5.5 2.6 0.9	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
320 1号境 L.トレンチ	東近畿	第2章 下部	円錐輪	高さ (5.0) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	5.0 2.6 1.0	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
321 1号境 L.トレンチ	北武北	第2章	刀形葉輪	高さ (4.7) 幅さ (2.6) 厚さ (1.1)	4.7 2.6 1.1	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
322 1号境 L.トレンチ	奈良公園	地上	円錐輪	高さ (5.2) 幅さ (2.6) 厚さ (1.1)	5.2 2.6 1.1	網状か直線的に固く。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
323 1号境 L.トレンチ	愛知県深山林	第2章 上部	円錐輪	高さ (6.0) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	6.0 2.6 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
324 1号境 L.トレンチ	奈良縣深山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (5.5) 幅さ (2.6) 厚さ (1.1)	5.5 2.6 1.1	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
325 1号境 L.トレンチ	奈良縣深山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (6.1) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	6.1 2.6 1.0	網状、外方に弧びる。タガは直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	
326 1号境 L.トレンチ	奈良縣深山林	第2章 下部	円錐輪	高さ (6.1) 幅さ (2.6) 厚さ (1.0)	6.1 2.6 1.0	網状、直線的。	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	内面: 外面: 内面:	

地名番号	道 備	上地性状	基位	基 種	基量 (m)	形態の特徴	成形・熟度	持 土	色 調	備考
227	1等級 Mトレンチ	西端部	第2番	内側面積	基高(7.5) 面積(36.1)	傾斜。内側面。	外観: タテハケ(5束/cm)の もじヨハケ(8束/cm)。 内面: ナナズ。	底、石英、赤色、葉緑0.1~3mm を含む。	赤系 形成熟度。	
228	1等級 Mトレンチ	東端部	第2番 下部	内側面積	基高(10.0) 面積(36.2)	傾斜。外方に傾げる。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。 内面: ナナズ。	底、石英、葉緑、暗赤片苔、赤 色葉緑0.1~4mmを含む。	灰系 形成熟度。	
229	1等級 Mトレンチ	西真北辺	第2番 下部	内側面積	基高(10.6) 面積(36.2)	傾斜。底から外方に 傾斜して傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。 内面: ナナズ。	底、石英、葉緑、暗赤片苔、赤 色葉緑0.1~1mmを含む。	赤系 形成熟度。	流水や土壤質。
330	1等級 Mトレンチ	西野西端	流土	内側面積	基高(9.1) 面積(25.0)	傾斜(19.0)。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。 内面: ナナズ。	底、葉緑、葉量0.1~3mmを含 む。	綠系 形成熟度。	
331	1等級 Mトレンチ	西端部	第2~3 層	内側面積	基高(8.9) 面積(19.0) 厚さ: 1.5	傾斜。外方に傾げる。底 から外方に足る。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。 内面: ナナズ。	底、石英、赤色葉緑5mmを含む。	灰系 形成熟度。	
332	1等級 Mトレンチ	西端部	第2~3 層	内側面積	基高(9.5) 面積(25.0) 厚さ: 1.7	底から外方に傾く。 直線的に傾く。基部葉緑厚。	外観: ナナズ。 内面: ナナズ。	底、石英、赤色葉緑0.1~4mm を含む。	灰系 形成熟度。	
333	1等級 Mトレンチ	年輪の底端部	第2番 上部	内側面積	基高(8.5) 面積(28.2) 厚さ: 1.2	傾斜(6.5)。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: ナナズ。 内面: ナナズ。	底、石英、葉緑、暗赤片苔、赤 色葉緑0.1~6mmを含む。	灰系 形成や中耕質。	
334	1等級 Mトレンチ	北端部	第2番	内側面積	基高(9.0) 面積(25.0) 厚さ: 1.5	傾斜(10.0)。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、長石、赤色葉緑1~3mm を含む。	赤裸 形成熟度。	
335	1等級 Mトレンチ	北端部	第2番	内側面積	基高(9.5) 面積(10.0) 厚さ: 1.5	傾斜(6.5)。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(6束/cm)。	底、石英、葉量0.1~9mmを含む。	赤系 形成熟度。	
336	1等級 Mトレンチ	結果部	第2番	内側面積	基高(4.5) 面積(21.0) 厚さ: 1.2	傾斜(4.5)。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、石英、赤色葉緑4mmを含む。	赤系 形成熟度。	
337	1等級 Mトレンチ	結果部	第2番 下部	内側面積	基高(5.0) 面積(22.0) 厚さ: 1.7	傾斜(5.0)。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: ナナズ。	底、葉緑、赤色葉緑3mmを含む。	紅系 地成熟度。	
338	1等級 Mトレンチ	直線部	第2番	内側面積	基高(6.5) 面積(22.4) 厚さ: 1.2	直線形。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、葉緑、赤色葉緑0.1~3mm を含む。	紫系 地成熟度。	
339	1等級 Mトレンチ	西端部	第2番 上部	内側面積	基高(6.1) 面積(22.0) 厚さ: 1.3	直線形。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(6束/cm)。	底、長石、葉緑、赤色葉緑0.1~ 3mmを含む。	赤裸 地成熟度。	
340	1等級 Mトレンチ	底部	第2番	内側面積	基高(7.5) 面積(23.0) 厚さ: 1.5	直線形。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(5束/cm)の もじヨハケ(5束/cm)。	底、石英、結果部、赤色葉緑 0.1~5mmを含む。	灰系 地成熟度。	
341	1等級 Mトレンチ	底部	第2番	内側面積	基高(6.5) 面積(22.4) 厚さ: 1.2	直線形。 底から外方に傾く。 直線的に傾く。	外観: タテハケ(5束/cm)の もじヨハケ(5束/cm)。	底、葉緑、赤色葉緑0.1~3mm を含む。	赤系 地成熟度。	
342	1等級 Mトレンチ	新1段 タラス付近	第2番	内側面積	基高(7.0) 面積(22.0) 厚さ: 1.2	直線形。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(8束/cm)の もじヨハケ(8束/cm)。	底、石英、赤色葉緑5mmを含む。	灰系 地成熟度。	
343	1等級 Mトレンチ	結果部	第2番	内側面積	基高(8.2) 面積(22.0) 厚さ: 0.8	結果形。 底から外方に傾く。	外観: ナナズ。	底、葉緑、赤色葉緑3mmを含む。	紅系 地成熟度。	
344	1等級 Mトレンチ	北端部	第2番 上部	内側面積	基高(8.0) 面積(23.0) 厚さ: 1.1	結果形。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、葉緑、結果部、赤色葉緑 0.1~3.5mmを含む。	灰系 地成熟度。	
345	1等級 Mトレンチ	底部	第2番	内側面積	基高(7.5) 面積(22.0) 厚さ: 1.2	直線形。 底から外方に傾く。	外観: ナナズ。	底、長石、葉緑、赤色葉緑0.1~ 3mmを含む。	赤裸 地成熟度。	
346	1等級 Mトレンチ	底部	第2番 下部	内側面積	基高(6.2) 面積(22.0) 厚さ: 1.2	直線形。 底から外方に傾く。	外観: タテハケ(8束/cm)の もじヨハケ(8束/cm)。	底、石英、葉緑、赤色葉緑0.1~ 6mmを含む。	灰系 地成熟度。	

Mトレンチ (埴輪)

地名番号	道 備	上地性状	基位	基 種	基量 (m)	形態の特徴	成形・熟度	持 土	色 調	備 考
347	1等級 Mトレンチ	結果部	第2番	内側面積 側面	基高(8.7) 面積(21.0) 厚さ: 2.9	側面: ナナズ、各2束を含む。 内面: ナナズ。	外観: ナナズ。	底、石英、赤色葉緑を含む。	赤系 地成熟度。	
348	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(6.5) 面積(22.4) 厚さ: 1.2	底端部が外に向いて傾く。 底端はやや下に凹んで傾き、 底端部に側面有り。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(6束/cm)。	底、石英、葉緑、暗赤片苔、赤 色葉緑0.1~1.5mmを含む。	赤系 地成熟度。	
349	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(8.1) 面積(22.0) 厚さ: 1.0	底端部が外に向いて傾く。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、石英、葉緑、暗赤片苔、赤 色葉緑0.1~1.5mmを含む。	赤系 地成熟度。	地成や土壤質。
350	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(4.9) 面積(20.0) 厚さ: 1.1	底端部上方に成る。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(6束/cm)。	底、葉緑、赤色葉緑0.1~2mm を含む。	綠系 地成熟度。	
351	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(9.5) 面積(21.0) 厚さ: 1.1	底端部は直立し、底部を全く 傾かず。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、長石、葉緑、赤色葉緑0.1~ 2mmを含む。	赤系 地成熟度。	
352	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(8.0) 面積(21.0) 厚さ: 1.1	底端部、ほぼ直立的、やや左側に 傾かず。	外観: タテハケ(7束/cm)の もじヨハケ(7束/cm)。	底、長石、葉緑、赤色葉緑0.1~ 4mmを含む。	赤系 地成熟度。	
353	1等級 Mトレンチ	底端部	第2番	内側面積	基高(8.0) 面積(20.0) 厚さ: 0.9	底端部が外に向いて傾く。	外観: タテハケ(6束/cm)の もじヨハケ(6束/cm)。	底、石英、葉緑、赤色葉緑0.1~ 3mmを含む。	灰系 地成熟度。	

N トレンチ（埴輪）

種類 栽培品目	産地 出荷地點	規格	品種 (ex)	形態の特徴	成形・剪定	加工	名稱	等級
354 1号球 N.トレーナー	第2～3 番	形態規制	丸 高さ 厚さ 1.3	丸形 高さ 厚さ 1.3	丸圓：ナガ 六角：ナガ	球面：高さ、質感、色彩無視0.1 六角：高さ、色彩無視0.1	球、高さ、質感、色彩無視0.1 六角、高さ、色彩無視0.1	良：粒 内：粒 外：粒 未熟度良
355 1号球 B.トントナ	第2～3 番	形態規制 不規則	丸 高さ 厚さ 1.3	丸形 高さ 厚さ 1.3	丸圓：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガ	球面：高さ、色彩無視0.1 六角：高さ、色彩無視0.1	球、高さ、色彩、色彩無視0.1 六角、高さ、色彩無視0.1	良：粒 未熟度良
356 1号球 N.トレーナー	第2～3 番	表面規制	丸 高さ 厚さ 1.3	丸形 高さ 厚さ 1.3	丸圓：ナガ 六角：ナガ	球面：高さ、色彩無視0.1 六角：高さ、色彩無視0.1	球、高さ、質感、色彩無視0.1 六角、高さ、色彩無視0.1	未熟度良：粒 佳：粒
357 1号球 N.トレーナー	優2場	「丸」規制	丸 高さ 厚さ 0.9	丸形 高さ 厚さ 0.9	球面を丸に外し、溝縫を 横に並べる。横縫は二つ以上	丸圓：ナガ 六角：ナガメハラ（扁平不規則）	球、高さ、色彩無視0.1～0.5 六角、高さ、色彩無視0.1～0.5	明胡桃 未熟度良
358 1号球 Y.トレーナー	「丸」規制	丸 高さ 厚さ 0.8	丸 高さ 厚さ 0.8	丸形 高さ 厚さ 0.8	球面を丸に外し、溝縫を方形状 に並べる。	丸圓：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガ	球、高さ、色彩無視0.1～0.5 六角、高さ、色彩無視0.1～0.5	切口精 未熟度良
359 1号球 B.トレーナー	第2場	円錐規制	圓錐 高さ 厚さ 0.5	圓錐 高さ 厚さ 0.5	圓錐：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガ	圓錐：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガ	球、高さ、品質0.1 六角、高さ、色彩無視0.1～0.5	明胡桃 优度新良
360 1号球 N.トレーナー	第2場	圓錐規制	圓錐 高さ 厚さ 0.5	圓錐 高さ 厚さ 0.5	圓錐：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガメハラ（扁平不規則）	圓錐：ナガハク(5高さ/5厚さ) 六角：ナガメハラ（扁平不規則）	球、高さ、色彩無視0.1～0.5 六角、高さ、色彩無視0.1～0.5	美形态 極端やくばん

P トレンチ（埴輪）

セリ名	品種	出生地	性別	年齢	遺伝子 (m)	筋肉の特徴	成形・調整	加工	色調	味
361	1号種 Pトレンジ	新潟県	雄2頭	剛柔強	筋厚0.5 肥厚0.5 厚さ2.0	筋幅: 2.4 筋厚: 0.5 筋深: 2.0	内側: ナゲ、 内面: ナゲ、 外側: ナゲ、 背面: ナゲ	筋: 白身・鰹身・鰯身 0.1-1.5cmを含む。 骨: ナゲ・ナゲ	淡成軟質。	
362	1号種 Pトレンジ	秋田県	第2種 雌	剛柔強	筋幅: 0.4 筋厚: 1.2 厚さ: 2.0	筋幅: 0.4 筋厚: 1.2 厚さ: 2.0	内側: ナゲ、 内面: ナゲ	筋: ナゲ・赤身筋肉 7cmを含む。 骨: ナゲ	明少味 中成軟質。	
363	1号種 Pトレンジ	東京都	第2種 上尾	柔軟強	筋幅: 0.6 筋厚: 0.8 厚さ: 2.5	筋幅: 0.6 筋厚: 0.8 厚さ: 2.5	内側: ナゲ、 内面: ナゲ	筋: 石身・山地周辺 10cmを含む。 骨: ナゲ	細成軟質。	
364	1号種 Pトレンジ	新潟県	第2種 下部	剛柔強	筋幅: 0.5-5.5 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-10	筋幅: 0.5-5.5 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-10	通常筋肉: 骨筋肥厚し、おとし筋肉: 肌理が横に走る。	筋: ナゲ・ 内側: ナゲ	筋: 万葉・赤身・赤身筋肉 0.1-4.5cmを含む。 骨: ナゲ	切身味 淡成軟質。
365	1号種 Pトレンジ	越後湯	培子頭	筋柔強	筋幅: 0.3-3.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.1-1.5	筋幅: 0.3-3.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.1-1.5	内側筋肉: 肌理を外側に向かって走る。薄い筋肉を内側に含む。 外側筋肉: 肌理を内側に含む。	筋: 上部ナゲ・ナゲ・ナメハケ (内側)・アマモロコ 骨: 魚肉・赤身筋肉 4cmを含む。 内: ナゲ	筋: ナゲ・赤身筋肉 4cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。 外: 淡成軟質。
366	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	筋柔強	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋: ナゲ・ 内側: ナゲ	筋: 石身・赤身筋肉 2-3cmを含む。 骨: ナゲ	細成軟質。
367	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種 (1枚目 カラクサ)	筋柔強	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.5-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋: ナゲ・ 内側: ナゲ	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-10cmを含む。 骨: ナゲ	濃成軟質。 後味少。
368	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種 上尾	筋柔強	筋幅: 0.5-5.5 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.5-5.5 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 0.5-5.5 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0-15.0	筋: ナゲ・ナメハケ・ナコハケ (内側)・アマモロコ 骨: 石身・小色筋肉 3cmを含む。 内: ナゲ	筋: 石身・小色筋肉 3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
369	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	筋柔強	筋幅: 0.3-3.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋幅: 0.3-3.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋幅: 0.3-3.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋: ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm) 内: ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm) 内: ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)を含む。 骨: ナゲ
370	1号種 Pトレンジ	福井県	第2・4 番	内側強	筋幅: 2.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 1.1	筋幅: 2.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 1.1	筋幅: 2.7 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 1.1	筋: ナゲ・ 内側筋肉: 骨筋肥厚し、筋膜を内側に含む。	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
371	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	筋柔強	筋幅: 0.4-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋幅: 0.4-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋幅: 0.4-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9	筋: ナゲ・骨筋肥厚し、筋膜を内側に含む。 内: ナゲ	筋: 石身・赤身筋肉 2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
372	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	筋柔強	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋: ナゲ・ 内側筋肉: 骨筋肥厚し、筋膜を内側に含む。	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
373	1号種 Pトレンジ	福井県	第2・4 番	筋柔強	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.5-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋: ナゲ・ 内側筋肉: 骨筋肥厚し、筋膜を内側に含む。	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
374	1号種 Pトレンジ	福井県	第4種	筋柔強	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋幅: 0.4-6.0 筋厚: 0.8-1.5 厚さ: 1.0	筋: ナゲ・ 内側筋肉: 骨筋肥厚し、筋膜を内側に含む。	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
375	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	筋柔強	筋幅: 0.2-6.0 筋厚: 0.2-1.5 厚さ: 0.5-1.0	筋幅: 0.2-6.0 筋厚: 0.2-1.5 厚さ: 0.5-1.0	筋幅: 0.2-6.0 筋厚: 0.2-1.5 厚さ: 0.5-1.0	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の ナコハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
376	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種 上尾	内側強	筋幅: 6.1-12.5 筋厚: 1.0-2.0 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 6.1-12.5 筋厚: 1.0-2.0 厚さ: 1.0-15.0	筋幅: 6.1-12.5 筋厚: 1.0-2.0 厚さ: 1.0-15.0	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
377	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種 上尾	内側強	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
378	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	内側強	筋幅: 0.7-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.7-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.7-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
379	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	内側強	筋幅: 0.6-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.0 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
380	1号種 Pトレンジ	福井県	第2・4 番	内側強	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-2cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
381	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種 上尾	内側強	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。
382	1号種 Pトレンジ	福井県	第2種	内側強	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋幅: 0.6-1.1 筋厚: 0.8-1.2 厚さ: 0.9-1.3	筋: ナゲ・ 内: ナメハケ (厚さ: 0.5cm) の アマモロコ (厚さ: 0.5cm) の ナタナメタマグ (厚さ: 0.5cm)	筋: 石身・鰯身・鰯身筋肉 0.1-3cmを含む。 骨: ナゲ	淡成軟質。

車両登録番号	登場	登場注釈	場所	音種	速度 (km/h)	車種の特徴	形状・特徴	前 手	名 前	特 記
383 1号機 Pトレンチ	東京港	第2章	内側複線	走行: 2.0 横移: 2.0 旋回: 1.5	系、東方土に及びる。	外見: ブラック 7.5 / 800. 内装: ミニカットのナナメハケ(駆け出間)。	形状: 乗組者の顔の不明。 特徴: 乗組者の顔の不明。	前: 青色	青色 0.2-3.3m	赤信号
384 1号機 Pトレンチ	長崎港	第2章 上部	内側複線	走行: 6.1 横移: 2.0 旋回: 1.1	系、外方に延びる。	外見: 乗組者の顔の不明。 内装: ナンバー・マーク (運送のため顔の不明)。	形状: 駆け出の手に黒い手をもつ。手: 黒手 帽子: 黒羽根0.1-3.3m	赤手	赤手	赤板状質。
385 1号機 Pトレンチ	東京	第2章	内側複線	走行: 5.0 横移: 2.0 旋回: 0.5	東方面延びる。ややまきをつける。 底面から上方に運んで来る。	外見: ブラック 7.5 / 800. 内装: ナンバー・マーク (運送のため顔の不明)。	形状: 黒、青色 0.2-1.1m	赤手	青色 0.2-1.1m	飛行状質。
386 1号機 Pトレンチ	佐賀市	第2章 上部	内側複線	走行: 4.0 横移: 2.0 旋回: 1.5	西方面延びる。底面から上方に運ぶ。	外見: ナナメハケ(駆け出間)。	形状: 黒、青色 0.2-4.0m	青手	青手	飛行状質。
387 1号機 Pトレンチ	京都駅	第2章 上部	内側複線	走行: 7.0 横移: 2.0 旋回: 1.5	西方面延びる。店舗から上方に運ぶ。	外見: ナナメハケ(駆け出間)。	形状: 黑、右肩・手色黒り0.0mを含む。	黒手	黒手	飛行状質。
388 1号機 Pトレンチ	東京	第2章	内側複線	走行: 4.1 横移: 2.0 旋回: 1.7	東方面延びる。底面から上方に運ぶ。 ややまきをつける。	外見: ナナメハケ(駆け出間)。	形状: 黑、赤手黒ひざ0.0mを含む。	赤手	赤手	飛行状質。 適合版あり。
389 1号機 Pトレンチ	福岡	第2章 下部	内側複線	走行: 5.7 横移: 2.0 旋回: 1.5	東方面延びる。底面から上方に運ぶ。	外見: ブラック 7.5 / 800. 内装: ナンバー・マーク (駆け出間)。	形状: 石灰・黒色 0.2-7.5m。 手: ナナメハケ(駆け出間)。	青手	石灰・黒色 0.2-7.5m	初回登場。
390 1号機 Pトレンチ	函館港	第2章	内側複線	走行: 8.0 横移: 2.0 旋回: 1.5	西方面延びる。ややまきをつける。 底面から上方に運んで来る。	外見: 乗組者の顔の不明。	形状: 石灰・青色 0.2-8.0m。 手: ナナメハケ(駆け出間)。	青手	石灰・青色 0.2-8.0m	初回登場。
391 1号機 Pトレンチ	横浜港	第2章 下部	内側複線	走行: 9.0 横移: 2.0 旋回: 1.2	西方面延びる。底面から上方に運ぶ。	外見: ナナメハケ(駆け出間)。	形状: 黄・赤色 0.2-9.0m	赤手	赤手	飛行状質。
392 1号機 Pトレンチ	東京	第2章	内側複線	走行: 8.0 横移: 2.0 旋回: 1.5	西方面延びる。底面から上方に運ぶ。	外見: ナナメハケ(駆け出間)。	形状: 黄・青色 0.2-8.0m	青手	青手	飛行状質。

R トレンチ (埴輪)

地質 地盤区分	種 準	四十測点	高位	低 位	法面 (m)	地形の特徴	成層・調整	粒 級	色 裳	被 考
383 上段階 ミトレナ	第2層	刀面場所	高標高 厚さ(0.5m) 露き	低標高 厚さ(0.5m) 露き	法面(1.0) 露き(0.5) 露き(0.5)	斜面風化帯。軟岩や内削れ、 工作物表面に土石が剥離。	薄茶:ナメル 内削れ:ナメル	細、な高。赤茶(0.3~0.5m) を主。	明褐色	風化影響。
384 1段階 ミトレナ	第2層 下部	山側面	高標高 厚さ(1.0m) 露き(1.0)	低標高 厚さ(1.0m) 露き(1.0)	斜面風化帯。 後退から上方方に 向こぼれ。	崩落:ナメル(7角/5cm)の 内にコハラ(7角/5cm)、 内削れ:ナメル	白、灰青、棕褐色 内削れ:白	細、白、灰青(0.3~0.5m) を主。	赤塊	崩落や内削れ、 内削れで化粧有り。

Q トレンチ（壕輪）

種類	名前	出所地	部位	目 標	万葉の特徴	成形・性質	記 上	生 調	備 考	
386	1号強 Qトレンチ	奈良県 奈良西院温泉	第2層 下部	瓦を踏む 推動	高21.9 幅11.1 厚さ1.6 重さ(5.7)	萬葉: ハラ松工事に至る洗刷。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1 -6.0を含む。	有筋面2/3 に亘る赤色	既成段差。	
397	1号強 Qトレンチ	奈良県	第2層	瓦を踏む 推動	高 7.4 幅 3.7 厚さ 1.6	萬葉: 沖田。ナダ。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1-3.28 を含む。	有筋面	既成段差。	
398	1号強 Qトレンチ	佐賀県	第2層	瓦を踏む 推動	高 3.7 幅 2.7 厚さ 2.1	萬葉: 沖田。ナダ。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1-0.34 を含む。	明治瓦	既成段差。	
399	1号強 Qトレンチ	第2層	瓦を踏む 推動	高 7.2 幅 2.8 厚さ 3.3	萬葉: 沖田。ナダ。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-赤色泥瓦D1.1を含む。	明治瓦	既成段差。		
400	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	瓦を踏む 推動	高 6.1 幅 2.7 厚さ 2.1	萬葉: 沖田。ナダ。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1-3.38 を含む。	有筋面	既成段差。	
401	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合部	高(曲) 4.21 幅(曲) 20.40 厚(曲) 3.2	萬葉: 瓦を踏む地に於て瓦を踏み、 瓦は瓦を踏む。瓦は瓦を踏む。	内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-ナカハナリのちコハ 瓦(赤系)と瓦製瓦。	昭和瓦	既成段差。
402	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 10.45 幅(直) 20.40 厚(直) 3.2	萬葉: 斜面。直面的。遙か(し)。(瓦)。 あり。	内蔵: ナシ。	強度: 石瓦-赤色泥瓦D1.1を含む。	昭和瓦	既成段差。
403	1号強 Qトレンチ	第2層	凹凸織合	高 6.9 幅 3.9 厚さ 1.1	タガは剥離している。	内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。 内蔵: ナカハ(8.5cm/m)。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1- 3.5を含む。	有筋面	既成段差。	
404	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 4.1 幅(直) 20.40 厚(直) 3.0	側面(直面)。タガは剥離している。	内蔵: ナカハ(8.0cm/m)。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1- 3.5を含む。	明治瓦	既成段差。
405	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 4.48 幅(直) 22.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。タガは瓦取版。 タガは剥離している。	内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-赤色泥瓦D1.1を含む。	昭和瓦	既成段差。
406	1号強 Qトレンチ	第2層	凹凸織合	高(直) 4.5 幅(直) 22.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。タガは瓦取版。 タガは剥離している。	内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。 内蔵: ナカハ(8.5cm/m)。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1- 3.5を含む。	明治瓦	既成段差。	
407	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 8.5 幅(直) 24.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。タガは瓦取版。 タガは剥離している。	内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1- 3.5を含む。	有筋面	既成段差。
408	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 9.0 幅(直) 23.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。タガは瓦取版。 タガは剥離している。	内蔵: ナカハ(8.0cm/m)。 内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。	強度: 石瓦-普通-粘土瓦D1.1- 3.5を含む。	明治瓦	既成段差。
409	1号強 Qシングル	第2層	凹凸織合	高(直) 9.0 幅(直) 20.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。瓦は瓦取版。瓦 は瓦を踏む。	内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。 内蔵: ナカハ(8.5cm/m)。	強度: 石瓦-赤色泥瓦D1.1-3.5を 含む。	有筋面	既成段差。	
410	1号強 Qトレンチ	岐阜県	第2層	凹凸織合	高(直) 9.0 幅(直) 20.40 厚(直) 3.5	側面。蓋板面。瓦は瓦取版。瓦 は瓦を踏む。	内蔵: ナカハ(7.5cm/m)。 内蔵: ナダ。	強度: 石瓦-赤色泥瓦D1.1を含む。	有筋面	既成段差。

地名等	表 標	河川名	河川段	河 川	法規 (m)	形態の特徴	成形・調整	地 土	色 調	備考
411	1号堤 Sトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(10.5) 堤防(12.2) 河床(1.6)	堤防が斜坡。堤防から直線的に 高くなる。	当面:ナチュラル(遷移のため事 業不許)。 河床:ナチュラル。	石英、赤英、青砂、淡島石岩(1. 5m含む)。	赤英等、 淡島石。	荒成新規、 免成新規。

Sトレント (植林)

地名等	表 標	河川名	河川段	河 川	法規 (m)	形態の特徴	成形・調整	地 土	色 調	備考
412	1号堤 Sトレント	西阿佐野町 新御野	第2河川	内川河川	法規(4.6) 堤防(20.3) 河床(1.3)	斜面、高齢化。 堤防は勾配なし。	当面:ナチュラル(遷移のため事 業不許)。	石英、石英、青砂、淡島石岩(1. 5m含む)。	石英、赤英、青砂、淡島石岩(1. 5m含む)。	免成新規、 免成新規。
413	1号堤 Sトレント	内田郡新井 町新井	第2河川	内川河川	法規(4.2) 堤防(20.3) 河床(1.3)	斜面、高齢化。 堤防は勾配なし。	当面:ナチュラル。 河床:ナチュラル。	石英、赤英、青砂(2m含む)。	赤英、 青砂。	免成新規。
414	1号堤 Sトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(9.5) 堤防(22.5) 河床(1.3)	直線形堤防。堤防から上方に 傾斜面に傾く。	当面:ナチュラル(1.5m/cx)。 河床:ナチュラル(遷移のため事 業不許)。	石英、石英、赤英(2.0m含む)。	石英、 赤英。	免成新規。

Wトレント (植輪)

地名等	表 標	河川名	河川段	河 川	法規 (m)	形態の特徴	成形・調整	地 土	色 調	備考
415	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(1.8) 堤防(2.5) 河床(1.5)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル。 河床:ナチュラル。	石英、石英、赤英(0.1~2.0m 含む)。	石英、 赤英。	免成新規。
416	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(3.6) 堤防(2.5) 河床(2.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英、赤英(0.1~2.0m 含む)。	石英、 赤英。	免成新規。
417	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(2.6) 堤防(2.4) 河床(2.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英(0.1~2.0m含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
418	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.8) 堤防(2.5) 河床(1.3)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英(0.1~4.0m含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
419	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(12.9) 堤防(5.2) 河床(2.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英、赤英(7.0m含む)。	石英、 赤英。	免成新規。
420	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(4.9) 堤防(4.0) 河床(1.8)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
421	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.1) 堤防(2.7) 河床(2.3)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル。	石英、石英、赤英(0.1~1.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
422	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(1.0) 堤防(27.2) 河床(0.9)	斜面を削除し、堤防を方形状に に変更する。堤防は斜面をまつた 形となる。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。 堤防:ナチュラル。	石英、石英、赤英、淡島石岩、 赤色砂岩(0.1~2.5m含む)。	赤英、 石英。	免成や軽規、 明石橋。
423	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(4.2) 堤防(27.4) 河床(1.0)	斜面を削除し、堤防を方形状に に変更する。堤防はナチュラル。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~6.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
424	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.3) 堤防(27.4) 河床(1.1)	斜面を削除し、堤防を方形状に に変更する。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成や軽規。
425	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.5) 堤防(27.5) 河床(1.1)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
426	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.5) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
427	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.0) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。堤防は方形状。 河床は斜面、低谷部を分離する。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
428	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.0) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
429	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.0) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
430	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.0) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
431	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.2) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(その他の方法)。 河床:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~2.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
432	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.2) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~2.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
433	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(7.0) 堤防(27.5) 河床(1.0)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~2.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
434	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.1) 堤防(27.0) 河床(1.4)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(6.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
435	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.4) 堤防(27.0) 河床(1.4)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(6.0m/cx)。	石英、石英、赤英(0.1~4.0m 含む)。	赤英、 石英。	免成新規。
436	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.2) 堤防(27.0) 河床(2.2)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤色砂岩(6.0m/cx)。	赤英、 石英。	免成新規。
437	1号堤 Wトレント	新御野	第2河川	内川河川	法規(5.2) 堤防(27.0) 河床(2.2)	斜面、高齢化。	当面:ナチュラル(7.0m/cx)。	石英、石英、赤色砂岩(6.0m/cx)。	赤英、 石英。	免成新規。

現地番号	地名	生息地点	面積	高さ (m)	地図の番号	地元・調査	地土	土壤	備考
436	1号館 W-シナ	東京藝術 第2期	1.4ha	平均1.0 最高1.7	地図無	荒地、草木、灌木混生。被根から待上方に 低茎草が出現。	白苔・チャクナ (7.0m/m) 白苔・チャクナ (4.0m/m)	砂質、草木・多葉植物地 (1~3m) 含む。	排水良好、 通気性良。

J-W トレンチ (埴輪)

Ｚ トレンチ（埴輪）

セイジ	法種	出土地点	局所	品種	花径(cm)	茎葉の特徴	成形・調整	規格	名稱	便り
418	1号植 2トントク	第2層	用葉輪子育	福島	8.7 7.0 7.2	外曰: キサ、厚葉武咲 内曰: チサ	花石-米葉輪子10cm合む	黄色	伝統栽培、 下山式栽培有り	
419	1号植 2トントク	第2層	用葉輪子育	福島(4.7) 新潟(5.1) 群馬(5.1)	福島、新潟の。チサは新潟の 群馬は群馬の。	外曰: ナラ 内曰: ハナ(7先/13)のち子 含む	短、青萬、赤色葉20.1-26mm 明治用	後世栽培、		
420	1号植 2トントク	第2層	用葉輪子育	高麗(6.5) 群馬(23.0) 栃木(8.2)	高麗、群馬、栃木の。群馬はM系統。 群馬は葉輪子	外曰: ナラ、3.7ハナ(8先/13) 内曰: ナラ、6.5万、赤色葉20.3-24mm 45cm	日本原産、 日本原産	日本原産、		

包含層（埴輪）

品種番号	品種名	品種特徴	収量	出荷期	品質の特徴		成形・調理	形状	色調	備考
					外観	内質				
431	1号種 花菱胡麻	白系 花菱胡麻	8-13	第2周	表面滑らか 厚さ2.4 重さ1.4	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-3cm 味: 甘美	有香料	成形加工。
432	1号種 椎内六角形 高麗灰	白系内 高麗灰	6-10	第2周	表面滑らか 厚さ1.4 重さ1.5	味: 無	外見: ナメハラ (6mm/s) 内質: ナメハラ	香: 黒美、紹介色: 茶色調0.1-3cm 味: 甘美	明太子	後味余韻。
433	1号種	5-14	第2周	15年秋種 高麗灰	表面滑らか 厚さ2.2 重さ1.2	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-3cm 味: 甘美	有香料	成形加工。
434	1号種 花菱胡麻 セミノンヌイ 高麗灰	花菱胡麻 セミノンヌイ 高麗灰	6-10	第2周	表面滑らか 厚さ1.9 重さ1.9	味: 無	外見: 沢山 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-3cm 味: 甘美	明太子 内: 非常	後味余韻。
435	1号種 高麗灰胡麻	8-13	第2周	表面滑らか 高麗灰	表面滑らか 厚さ1.8 重さ1.8	味: 無	外見: 鮭鮓	香: 黒美、茶色調0.1-2cm 味: 甘美	有香料	成形加工。
436	1号種 花菱胡麻	花菱胡麻	4-10	第2周	表面滑らか 厚さ1.4 重さ1.1	味: 無	外見: ナゲのり混入。 内質: ナゲ	香: 黒美、鯛島豆片: 茶色調0.1-3cm 味: 甘美	有香料	成形加工。
437	1号種 高麗灰胡麻	8-13	第2周	表面滑らか 高麗灰	表面滑らか 厚さ2.1 重さ2.1	味: 無	外見: 花菱胡麻 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-3cm 味: 甘美	有香料	成形加工。
438	1号種 椎内六角形 高麗灰	白系内 高麗灰	6-10	第2周	表面滑らか 厚さ2.3 重さ2.3	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-3cm 味: 甘美	明太子	後味中和調理。
439	1号種	Q-15	第2周	表面滑らか 高麗灰	表面滑らか 厚さ1.4 重さ1.4	味: 無	外見: 沢山 内質: ナゲ	香: 黒美、香料: 椰子油0.1-3cm 味: 甘美	有香料	後味余韻。
440	1号種 (花菱)高麗灰	白系 (花菱)	6-10	第2周	表面滑らか 厚さ1.8 重さ1.8	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黒美0.1-2cm 味: 甘美	有香料 内: 非常	後味余韻。 内: 非常加工。
441	1号種	Q-12	第2周	表面滑らか 高麗灰	表面滑らか 厚さ1.9 重さ1.9	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黑美0.1-6cm 味: 甘美	有香料	後味余韻。 内: 非常加工。
442	1号種 花菱胡麻	白系内 花菱胡麻	6-10	第2周	表面滑らか 厚さ1.6 重さ1.6	味: 無	外見: ナゲ 内質: ナゲ	香: 黒美、茶色調0.1-4cm 味: 甘美	有香料	成形加工。

器物名 記載番号	地 區	出土地點	層位	器 種	出 土 (cm)	形態の剖面	成形・装飾	別 ナ	色 質	備 考
453 1号墳 馬身上部25 頭頂部	Q-25	第2層	沿底輪 縫	縫	6.2 6.0 5.8	1.7	外縫: ナラ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~3mmを含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
454 1号墳 馬身上部25 頭頂部	石室内	形態類似 家形	縫	9.5 6.1 5.8	1.7	外縫: 逆内文縫、ハケ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白	白灰、蛋白 ~1~4mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
455 1号墳 馬身上部25 頭頂部	沿底輪 縫	沿底輪 縫	縫	6.3 4.6 3.6	1.6	外縫: ナラ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~1~4mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。	
456 1号墳 馬身上部25 頭頂部	S-13	第2層	形態類似 家形	縫	4.7 4.6 3.6	1.7	外縫: ナラ、逆縫。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~1~4mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
457 1号墳 馬身上部25 頭頂部	沿底輪 縫	沿底輪 縫	縫	6.8 6.1 5.8	1.7	外縫: ナラ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。	
458 1号墳馬頭 縫	R-17	第2層	形態類似 角	縫	4.3 3.9 3.6	1.8	外縫: ナラ、ナラハキ(6mm/cm)。 内縫: ナラハキ(6mm/cm)。	縫、石英、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
459 1号墳 馬頭骨頭	S-13	第2層	形態類似 不規	縫	7.6 3.9 3.6	1.7	外縫: ナラ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
460 1号墳 馬頭骨頭	S-13	第2層	形態類似 不規	縫	4.3 3.8 3.6	1.7	外縫: ナラ。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
470 1号墳 馬頭骨頭	S-13	第2層	形態類似 不規	縫	4.3 3.8 3.6	1.7	外縫: ナラハキ(7mm/cm)。 内縫: ナラ。	縫、石英、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
471 1号墳 馬頭骨頭	P-18	第2層	同前	縫	7.0 6.0 5.5	1.7	縫部を外反し、兩端を方形状 に取る。縫部はやや下に傾 屈する。	ナラ、コロナリ(7mm/cm)。 内縫: 白木骨ナラ、ナラハキ (7~8mm/cm)。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
472 トレンチ 馬頭骨頭	第2層	同前	縫部類似 不規	縫	6.0 5.7 5.5	1.7	縫部端面しながら立ち上がる。	内縫: ナラ。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
473 1号墳 馬頭骨頭	Q-12	第2層	内縫輪狀 口	縫	10.0 9.0 8.8	1.1	内縫輪状(10mm/cm)。 内縫: ナラ。	内縫: ナラハキ(7mm/cm)。 内縫: ナラ(7mm/cm)。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。
474 1号墳 馬頭骨頭	P-18	第2層	内縫輪狀 口	縫	7.0 6.0 5.5	1.1	縫部端面が外反し、兩端を方形状 に取る。縫部はやや下に傾 屈する。	内縫: ナラハキ(7mm/cm)。 内縫: ナラ(7mm/cm)。	白灰、蛋白 ~0.1~1mm を含む。	明治時代 施瓦形式。

Qトレンチ(土器)

器物名 記載番号	地 区	出土地點	層位	器 種	出 土 (cm)	内 縫 (cm)	外 縫 (cm)	縫 幅 (cm)	縫 深 (cm)	その他の 特徴	剖面	形 状	調 整	合 金 成 分	色 調	目 号
396 1号墳 Qトレンチ	墳域	第2層	土壤存 在	Q-4 馬頭骨	15.6	8.0	8.0	1.6	0.4	内縫: ナラ。	内縫: ナラ。	内縫: ナラ。	内縫: ナラ。	白灰、 蛋白灰土 0.1~1mm	明治時代 施瓦形式。	

SM1001(青銅器)

器物名 記載番号	地 区	出土地點	層位	形 状	材 理	直徑(cm)	厚 さ(cm)	重 量(g)	その他の 特 徴	解説	品位	備 考
475 SM1001	H-7	ICM	墓上	同前	直徑6.5	6.5	1.6	3.9	明治時代	471	471~481	
476 SM1001	H-7	3-4ペルル	中段	同前	直徑6.0	6.0	1.6	9.9	明治時代	471~481	471~481	
478 SM1001	H-7	12E	同前	同前	6.3	1.4	0.4	2.0	明治時代	471~481	471~481	
479 SM1001	H-7	12E	同前	同前	6.3	1.4	0.4	4.0	明治時代	471~481	471~481	
481 SM1001	H-7	12E	同前	同前	10.7	1.4	0.4	1.1	明治時代	471~481	471~481	
482 SM1001	H-7	1-2ペルル	同前	同前	6.6	2.0	0.4	16.8	明治時代	471~481	471~481	
483 SM1001	H-7	12E	同前	同前	7.3	1.5	0.4	13.0	明治時代	471~481	471~481	
484 SM1001	H-7	25E	同前	同前	8.0	10.6	0.9	17.0	明治時代	471~481	471~481	
485 SM1001	H-7	12E	同前	同前	6.5	1.6	0.4	12.0	明治時代	471~481	471~481	
486 SM1001	H-7	2-3ペルル	同前	同前	6.8	1.3	0.3	10.1	明治時代	471~481	471~481	

SX1001(青銅器)

器物名 記載番号	地 区	出土地點	層位	形 状	材 理	直 径 (cm)	厚 さ (cm)	重 量 (g)	その他の 特 徴	解説	品位	備 考
477 SX1001	Q-7-E	同前	同前	同前	直徑3.0	3.0	3.7	1.30	明治時代 (1917年)	471~476	471~476	
480 SX1001	Q-7-E	同前	同前	同前	3.0	1.5	0.3	2.2	明治時代 (1917年)	471~476	471~476	

SX1001(勾玉・管玉)

器物名 記載番号	地 区	出土地點	層位	材質	形 状	直 径 (cm)	厚 さ (cm)	重 量(g)	孔 径 (cm)	穿孔方 式	名 称	枚 数
489 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	13.0	7.5	35.0	8.0	2.0	クレイジ ング	1/1
490 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	13.0	7.0	37.0	14.2	2.0	クレイジ ング	1/1
491 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	18.0	17.0	10.5	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
492 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
493 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
494 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
495 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
496 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1
498 SX1001	Q-7-E	同前	同前	金	圓柱	15.0	11.0	17.6	47.6	1.5	クレイジ ング	1/1

群別 個体番号	雄性	内止歛皮	頭頂	右位	左位	右耳	左耳	前足 (mm)	後足 (mm)	身長 (cm)	重量 (g)	毛色 (mm)	研究方向	死因	備考
♂90 SKU001	Q-T-6	頭上 頭頂	頭上 頭頂	警戒	警戒	6.0	5.5	29.0	21.1	2.0	2.0	白毛 黒い斑	死因不明	1/1	
♂90 SKU001	Q-T-6	頭上 頭頂	頭上 頭頂	警戒	警戒	6.0	5.5	30.0	22.2	2.0	2.0	白毛 黒い斑	死因不明	1/1	
♂91 SKU001	Q-T-8	頭上 頭頂	頭上 頭頂	警戒	警戒	4.0	4.0	25.0	11.1	2.0	2.0	白毛 黒い斑	死因不明	1/1	

SM1001 (管玉)

植物学名	品種	生長地點	性狀	部位	材質	密度	長径 (mm)	短径 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	孔隙 (%)	毛細 (mm)	毛細方向	毛管	代表年	備考
407	SM1001	東京 葛飾区	被葉葉上 部葉	被葉	管玉	4.2	4.0	26.0	0.8	2.0	片面	リーフグ	1/1			
507	SM1002	東京 豊島区	被葉葉上 部葉	被葉	管玉	4.3	4.0	26.0	0.6	2.0	片面	リーフグ	1/1			
502	SM1001	東京 葛飾区立 農場	被葉葉下 部葉	被葉	管玉	4.6	4.4	26.0	1.0	3.0	片面	リーフグ	1/1			
508	SM1002	東京 葛飾区立 農場	被葉葉下 部葉	被葉	管玉	4.2	4.0	31.0	0.9	2.0	片面	リーフグ	1/1			

SM1001 (白玉)

SM1001 (鐵器・鉄製品)

植物学 分类	俗名	生长地 点	植株	花序	基部	长 (cm)	宽 (cm)	厚 (mm)	重量 (g)	不含根的 植株高度 (cm)	纯度	耐盐	编号
莎草科 莎草属	苔草	平原	366	椭圆状 穗状花序	球茎	5.5	1.8	0.3	8.5	4.5	小浪底Ⅲ	强	487
莎草科 莎草属	苔草	平原	367	椭圆状 穗状花序	球茎	4.9	1.6	0.7	6.5	3.5	小浪底Ⅲ	强	495

標本番号	地名	出土地点	地質	層位	標柱	高さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	その他の 付属 品	用途	備考
506	SM1001	R-T	10cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.4	5.1	0.2	32.9		骨等+	
508	SM1001	R-T	70cm	泥炭質 灰岩	柱状	2.4	5.2	0.3	3.5		骨類+	
507	SM1001	R-T	70cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.2	5.2	0.6	22.5		骨等+頭骨	
509	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	5.1	0.8	31.8		骨類+地盤	
508	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	5.1	0.1	35.0		骨類+	
510	SM1001	R-T	10cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.1	3.7	0.4	20.6		骨類+	
511	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.7	5.0	0.3	11.8		地盤+	
512	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.6	3.8	0.3	16.2		骨等+	
513	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.7	3.0	0.2	8.2		骨等+	
514	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.6	2.5	0.2	6.1		骨等+	
515	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	2.9	0.2	4.9		上部頭顱+	
516	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.7	4.8	0.2	14.3		喉頭環骨	
517	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	5.7	3.9	0.1	5.7		喉頭環骨	
518	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.6	4.8	0.2	16.4		骨等+	
519	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.4	2.2	0.3	16.2		骨等+	
520	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.3	4.1	0.2	18.6		地盤+	
521	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	2.6	4.1	0.2	9.3		地盤+	
522	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.5	3.0	0.1	7.8		骨等+	
523	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.4	4.8	0.2	18.6		骨等+	
524	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.2	3.5	0.2	11.8		骨等+	
525	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.9	3.6	0.2	10.7		骨等+	
526	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.3	3.7	0.2	14.6		骨等+	
527	SM1001	R-T	10cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.0	3.6	0.2	5.0		地盤+	
528	SM1001	R-T	10cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.1	3.3	0.2	6.1		地盤+	
529	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.7	5.0	0.2	11.0		地盤+	
530	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	5.2	0.2	11.0		地盤+	
531	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.3	2.9	0.2	7.2		地盤+	
532	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.6	5.3	0.2	16.5		地盤+	
533	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	5.6	0.2	12.0		地盤+	
534	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.3	4.5	0.2	16.2		地盤+	
535	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.3	2.6	0.3	7.2		地盤+	
536	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	2.9	2.6	0.3	11.8		地盤+	
537	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.5	3.7	0.2	16.2		地盤+	
538	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	6.1	4.9	0.2	25.2		地盤+	
539	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.4	5.2	0.2	24.4		地盤+	
540	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.3	3.6	0.3	16.8		地盤+	
541	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.7	5.1	0.2	9.7		地盤+	
542	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.3	2.1	0.3	7.4		地盤+	
543	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	2.0	2.2	0.2	2.9		地盤+	
544	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.5	7.1	0.3	11.0		地盤+	
545	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	4.7	5.0	0.3	14.8		地盤+	
546	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.0	3.3	0.2	6.2		地盤+	
547	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.8	5.0	0.2	12.5		地盤+	
548	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.4	4.6	0.2	11.9		地盤+	
549	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	4.0	2.6	0.2	2.9		地盤+	
550	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.9	3.0	0.2	6.8		骨等+	
551	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	1.8	2.7	0.2	4.5		地盤+	
552	SM1001	R-T	10cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.9	2.4	0.2	4.6			
553	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	5.9	2.6	0.2	2.4		骨等+頭骨	
554	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.4	2.9	0.2	4.9		地盤+	
555	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	1.8	2.9	0.2	2.9		地盤+	
556	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	1.0	2.7	0.2	1.8		地盤+	
557	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.1	2.4	0.2	5.2			
558	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.0	2.5	0.2	2.7			
559	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	3.6	4.2	0.1	8.6			
560	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	1.9	2.1	0.2	1.6		地盤+	
561	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	2.6	1.7	0.2	2.6			
562	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	2.4	3.9	0.3	2.5			
563	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	2.8	3.1	0.2	6.6		地盤+	
564	SM1001	R-T	1-2m以下	泥炭質 灰岩	柱状	2.8	4.2	0.2	4.9		地盤+	
565	SM1001	R-T	20cm	泥炭質 灰岩	柱状	3.1	2.0	0.2	3.5			

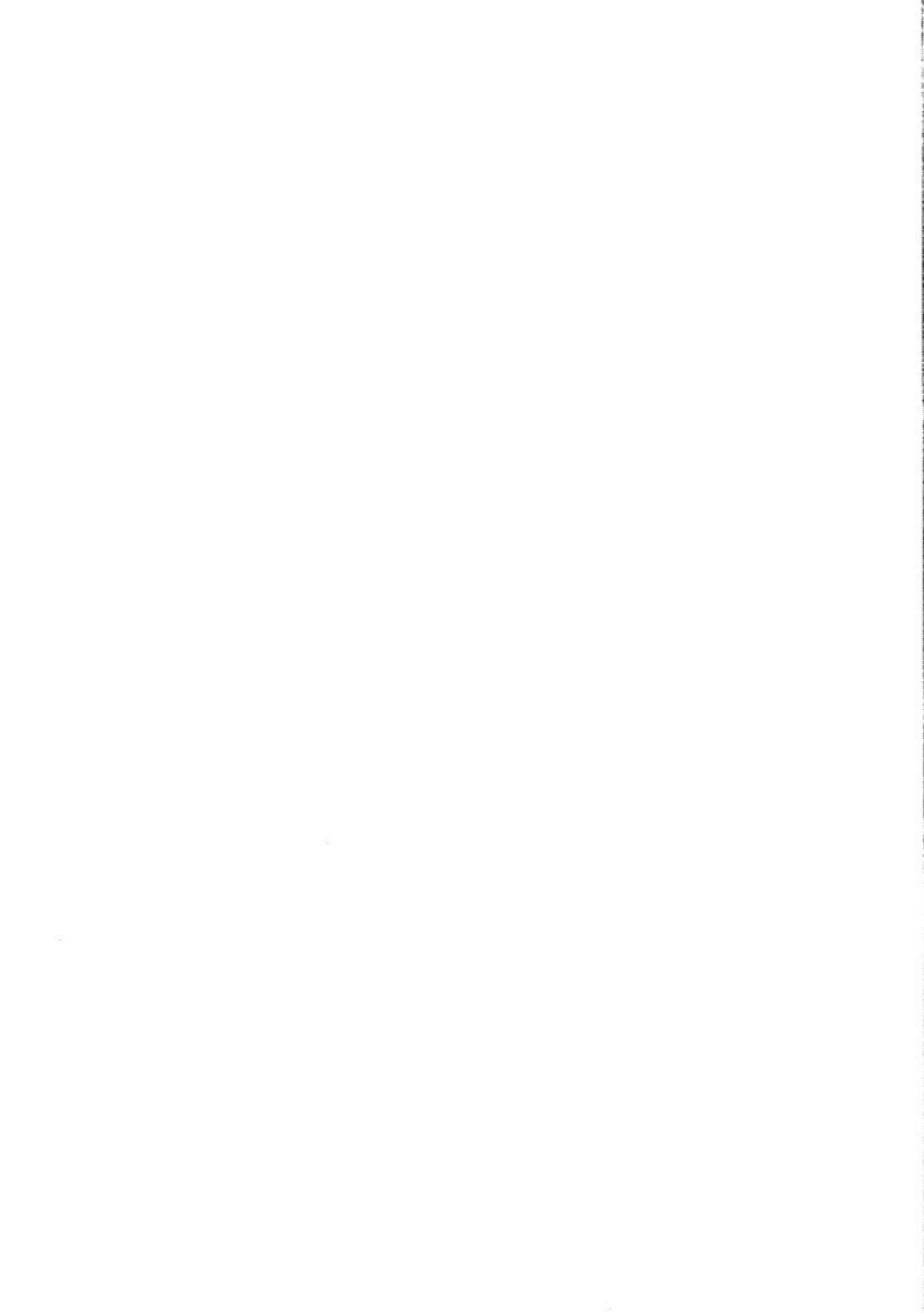
調査名 地點番号	地圖 番號	経度 緯度	地区	標高 m	傾斜 度	高さ (cm)	幅 (cm)	深さ (cm)	重量 (g)	老朽化の 度合 (%)	種別	種子
566	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	3.3	2.0	0.1	2.9			
567	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	3.0	2.8	0.2	4.0			
568	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	2.2	2.0	0.2	2.8			
569	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	2.6	2.4	0.2	3.8			
570	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	3.2	2.8	0.2	3.2			
571	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	2.7	4.2	0.4	13.5			
572	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	2.0	3.0	0.4	6.0			
573	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	2.4	2.6	0.2	2.9			
574	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	2.1	2.0	0.8	10.5			
575	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	1.7	3.0	0.4	11.1			
576	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	4.6	2.8	0.8	7.4			
577	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	3.9	2.7	0.4	6.4			
578	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面	4.5	2.8	0.5	8.0			
579	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	2.7	2.6	0.8	3.9			
580	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面	2.0	2.0	0.2	2.9			
581	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				33.4			
582	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				16.6			
583	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
584	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
585	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
586	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
587	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
588	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
589	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
590	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
591	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
592	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
593	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
594	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
595	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
596	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
597	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
598	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
599	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
600	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
601	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
602	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
603	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
604	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
605	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
606	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
607	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
608	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
609	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
610	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
611	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
612	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
613	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
614	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
615	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
616	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
617	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
618	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
619	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
620	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
621	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
622	SM1001	R-7	1区	低地風景	海面				1.6			
623	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			
624	SM1001	R-7	1°2'N~1°3'	低地風景	海面				1.6			

登録番号	品名	出土地点	地区	型式	基準	奥D (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (kg)	その他 の寸法 (mm)	残存率	部位	備考
676	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	2.5	1.4	0.8	3.9				
676	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	2.0	1.8	0.4	5.7				
677	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	6.7	1.8	1.2	27.7				
678	SMU001	戸 7	1区	遺傳机 汽笛	鉄針	8.6	1.9	0.8	63.1				
679	SMU001	戸 7	1-2-4-A-3	遺傳机 汽笛	鉄針	7.6	2.6	1.2	36.1				
680	SMU001	戸 7	1-2-4-A-3	遺傳机 汽笛	鉄針	10.9	2.0	0.3	123.9				
681	SMU001	戸 7	27-28-29-30	遺傳机 汽笛	鉄針	2.6	2.6	0.8	1.2			内凹不直箇所	
682	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	4.2	2.5	0.8	26.9				
683	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	5.4	2.3	0.8	22.1				
684	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	5.5	2.6	0.8	21.6				
685	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	4.9	1.3	0.8	10.3	3.6	1/1	万能	木質遺存。
686	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	4.3	1.2	0.8	9.3	3.3	1/1	万能	木質遺存。
687	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.3	1.9	0.8	5.4	4.1	1/1	万能	木質遺存。
688	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	6.1	1.4	0.8	4.9	1/1	万能	木質遺存。	
689	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.7	1.6	0.4	4.4	1/2	万能	木質遺存。	
690	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	5.2	1.6	0.4	5.7	2/3		木質遺存。	
691	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	5.3	1.2	0.6	5.1	1/5	万能	木質遺存。	
692	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	4.5	1.1	0.6	5.6	4/3	万能	木質遺存。	
693	SMU001	戸 7	1区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.9	1.4	0.8	5.8	1/2	万能	木質遺存。	
694	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	0.7	2.4	1.7	43.4	1/1			
695	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	0.8	3.4	0.2	37.7	1/1			
696	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	0.9	3.2	0.2	31.4	1/1			
697	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	0.2	4.0	0.2	46.0				
698	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.7	5.1	0.3	15.4	1/2	37.5		
699	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	5.7	4.2	0.6	30.4	1/1			
700	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	1.6	1.6	0.6	23.5	1/10			
701	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	7.1	1.4	0.4	18.7				
702	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	7.6	1.6	0.4	18.0				
703	SMU001	戸 7	27-28-29-30	遺傳机 汽笛	鉄針	3.1	1.3	0.3	4.6	5.6		小程度存。	
704	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.1	1.1	0.3	3.3				
705	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	2.3	1.1	0.2	3.0	1/4	万能	木質遺存。	
706	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	2.4	1.1	0.2	2.6				
707	SMU001	戸 7	1区	遺傳机 汽笛	鉄針	6.6	0.9	0.4	20.3				
708	SMU001	戸 7	1-2-4-A-3	遺傳机 汽笛	鉄針	3.8	1.6	0.4	2.9	4/5		木質遺存。	
709	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	3.0	0.6	0.1	1.9				
710	SMU001	戸 7	2区	遺傳机 汽笛	鉄針	6.6	0.8	0.4	3.9				
711	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	3.1	2.5	0.2	21.0				
712	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	3.4	2.2	0.5	9.5				
713	SMU001	戸 7	1-2-4-C-3	遺傳机 汽笛	鉄針	2.8	2.0	0.8	2.8				
714	SMU001	戸 7	1区	遺傳机 汽笛	鉄針	2.0	3.5	1.9	30.5	1/2			
715	SMU001	戸 7	1区	遺傳机 汽笛	鉄針	3.1	4.1	0.3	18.0				

ST1001 (鉄器)

登録番号	品名	出土場所	層位	型式	基準	奥D (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (kg)	その他 の寸法 (mm)	残存率	部位	備考
696	ST1001	戸 7	0-1.5	中層	鉄針	16.7	2.8	0.6-0.7	969.0		1/1		

XX 亂 譲 騰



例　　言

- 1 本章は四国横断自動車道建設に伴う辺露遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 所在地 鳴門市大津町大代字辺露832他
調査対象面積 10,940m²
試掘調査面積 550m²
本調査面積 800m²
- 3 発掘調査期間及び報告書作成の実施期間は次の通りである。
試掘調査期間 平成12年1月1日～平成12年1月31日
発掘調査期間 平成12年4月1日～平成12年5月31日
報告書作成期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日
- 4 遺物番号・挿図番号・図版番号は通し番号とした。遺物番号は本文・挿図・表・図版と一致する。
- 5 本遺跡の地理的・歴史的環境については、「II 調査地点の立地と環境」を参照されたい。

1 調査の経過

(1) 調査の経過 (I-第1図およびII-第1・6・24図)

辺露遺跡は阿讃山脈南麓、鳴門市大津町大代字辺露832他の日開谷川によって形成された標高3.1~3.8mの扇状地上に位置する。徳島県鳴門市の南西部、吉野川河口の北岸、鳴門市大麻町~大津町の阿讃山脈南麓の低丘陵には多くの古墳が形成され、宮谷古墳（前方後円墳）の所在する徳島市国府町の気延山周辺と並び、周辺一帯には多数の古墳群が密集する地域として周知されている。平成11年度に四国横断自動車道建設に伴い、分布調査で推定された遺跡の範囲の内10,940m²を調査対象面積として試掘調査を実施し、遺構・遺物の有無およびその範囲の確認に努めた。試掘調査は平成12年1月1日~1月31日にかけて試掘トレンチを550m²掘削した。調査区の大部分では遺構・遺物を確認することができなかつたが、調査区南中央部において古墳時代を中心とする土器類・製塗器などが集中して出土した。遺物の集中がみられた調査区南中央部を中心にその拡がりの把握に努めた。その結果を受け、平成12年度に当初700m²を対象に本調査を実施した。調査の進行に伴い、調査区北西部において縄文土器片が集中して出土したため、北西部を100m²拡張して対応し、最終的に800m²の面積を調査した。本調査は平成12年4月1日~12年5月31日の期間実施された。

(2) 発掘調査の方法 (第1図)

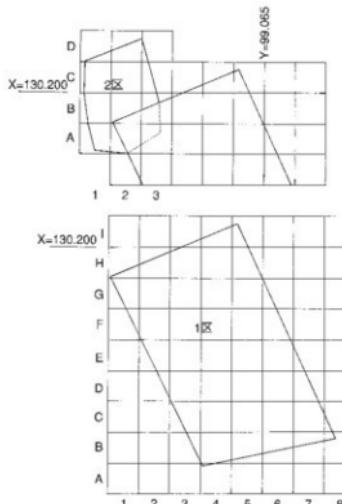
調査を始めるにあたり、グリッドの配置に際しては、発掘統一基準にならない、第IV系国土座標を基準とし、5mメッシュを1グリッドとして調査対象地を包み込む形で設定した。南西隅を基準として北にA・B・C…、東に1・2・3…の順に記号・番号をふり、その組み合わせで各グリッド名を表すこととした。遺構記号・番号は検出時に順次決定した。

(3) 調査日誌抄

辺露遺跡調査日誌抄

2000年

- 1月4日 試掘調査準備。機材移動。
- 1月6日 試掘開始。
- 1月12日 トレンチ掘削。土層断面写真。
撮影・図面作成。
- 1月27日 図面整理等。
- 1月31日 現場撤収。
- 4月3日 調査準備。
- 4月6日 測量作業開始。
- 4月13日 表土重機掘削開始。



第1図 グリッド配置図

- 4月17日 包含層人手掘削開始。
- 4月19日 SR等検出。掘下げ開始。
- 5月18日 調査区北西部において縄文土器出土。
- 5月19日 調査区外に縄文土器の出土範囲が拡がるため、調査区北西部拡張。
- 5月23日 調査区北西拡張部（2区）掘削開始。
- 5月30日 調査終了。現場撤収。

2 調査成果

遺跡の概要

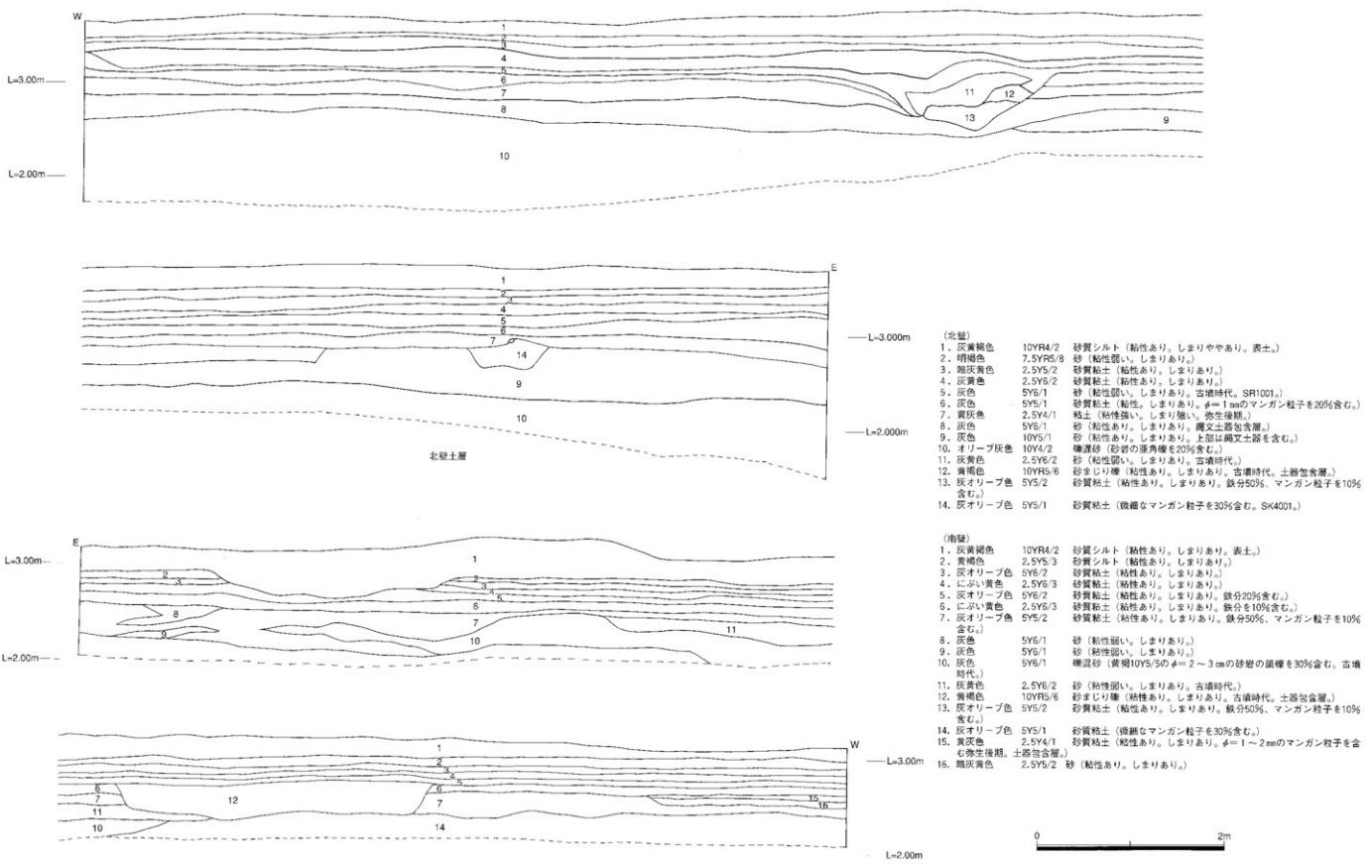
辺露遺跡は四国横断自動車道建設に伴い発掘調査が実施された。調査地点は鳴門市大津町大代の標高3.1~3.8mの扇状地上に位置する。調査の結果、遺構では弥生時代の自然流路や古墳時代の溝状遺構などが検出されたが、中世および縄文時代の遺構を確認することはできなかった。遺物は縄文時代後期の深鉢や弥生時代各期にわたる土器、古墳時代の須恵器・土師器・製塙土器、中世の土師質土器など各時代にわたり出土した。

（1）基本層序（第2・3図）

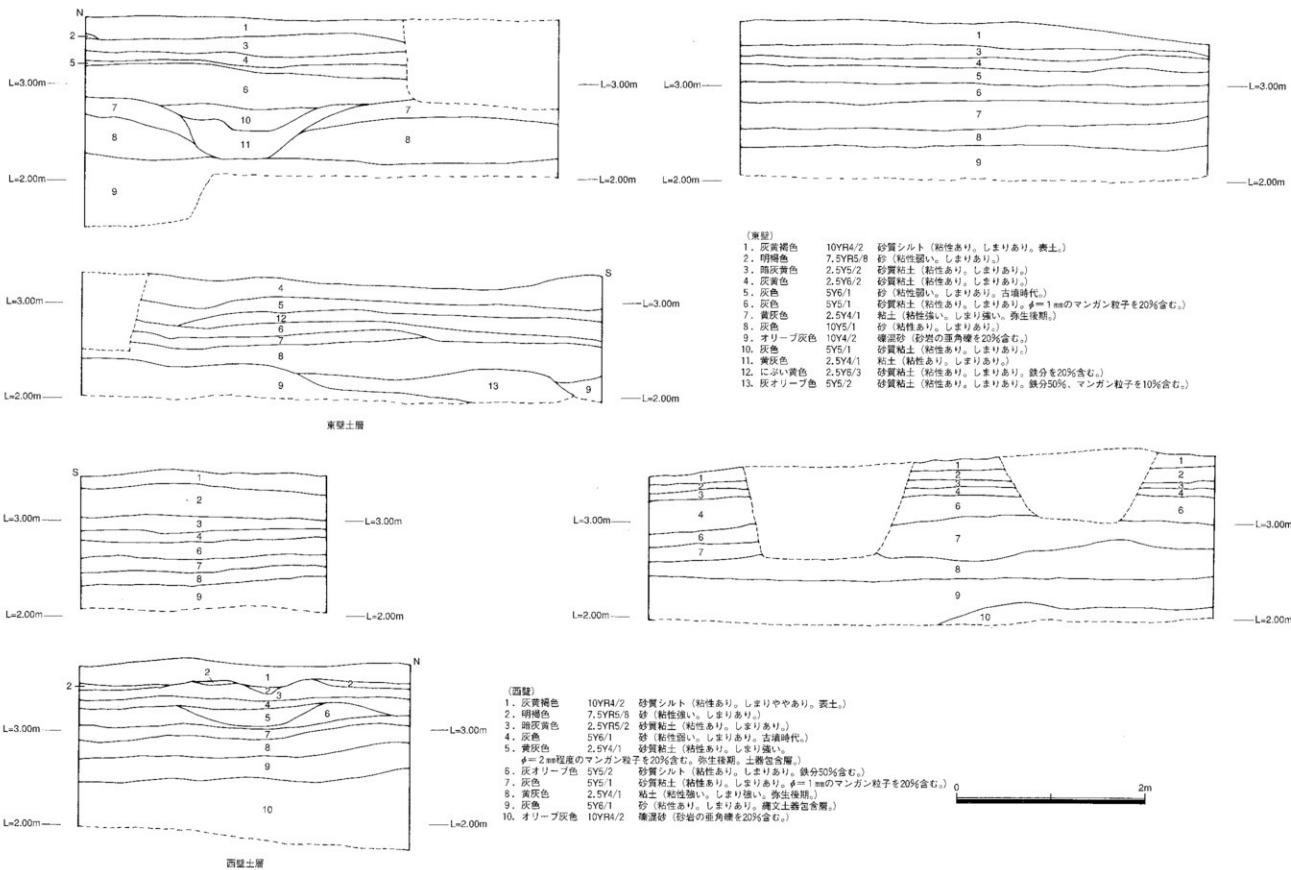
- 土層堆積状況の基本層序は以下の通りである。
1. 灰黄褐色 10YR4/2 砂質シルト（表土。）
 2. 明褐色 7.5YR5/8 砂
 3. 暗灰黄色 2.5YR5/2 粘性砂質土（中世包含層。）
 4. 灰色 5Y6/1 砂（第1遺構面。古墳時代。）
 5. 灰色 5Y5/1 粘性砂質土
 6. 黄褐色 2.5Y4/1 粘性砂質土（マンガン粒含む。 第2遺構面。弥生時代後期。）
 7. 灰色 5Y5/1 粘性砂質土
 8. 黄灰色 2.5Y4/1 粘土（第3遺構面。弥生後期。）
 9. 灰色 10Y5/1 砂（第4遺構面。弥生前期末～中期。）
 10. オリーブ灰色 10Y4/2 砂礫
 11. 灰色 5Y6/1 砂（縄文土器包含層。第5包含層。）
 12. 灰色 10Y5/1 砂（上位に縄文土器を含む。）
 13. オリーブ灰色 10Y4/2 砂礫

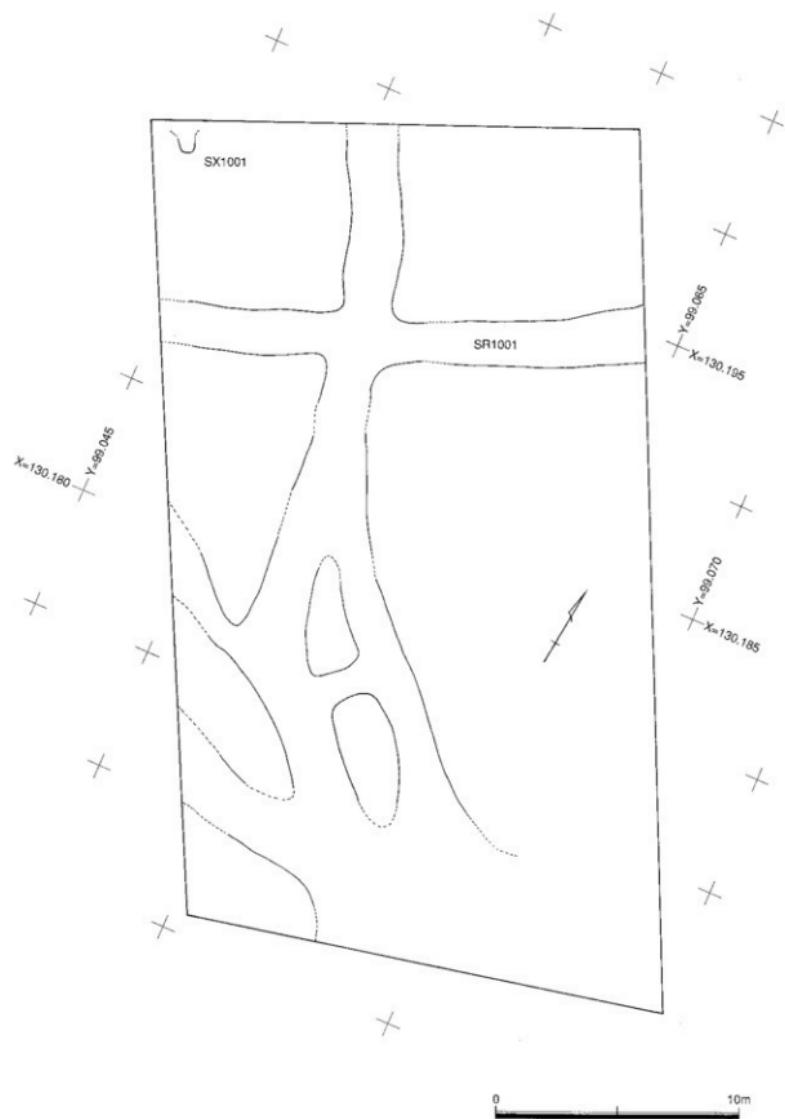






第2図 土層断面図1



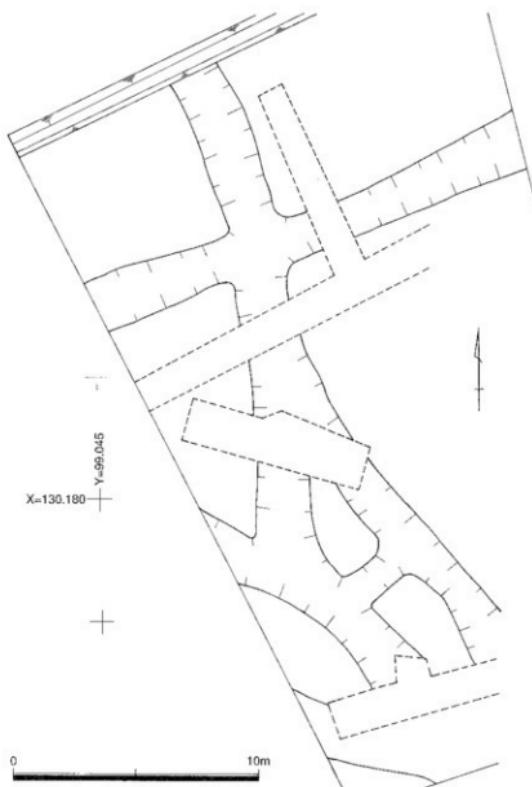


第4図 第1遺構面 遺構配置図

(2) 遺構と遺物

遺構では弥生時代の自然流路や古墳時代の溝状遺構などが検出されたが、中世および縄文時代の遺構を確認することはできなかった。遺物は縄文時代後期の深鉢や弥生時代の土器、古墳時代の須恵器・土師器・製塙土器、中世の土師質土器など各時代にわたり出土した。

遺構は検出レベルごとに第1遺構面～第4遺構面に分け調査を実施したが、出土遺構が自然流路等であり、切り合いも多く明瞭な平面プラン・遺構基底をおさえることは困難であった。よって遺構内出土遺物について時期が重複しているものもあり、厳密に所属遺構・遺構面を特定しきれていないのが現状である。



第5図 SR1001平面図

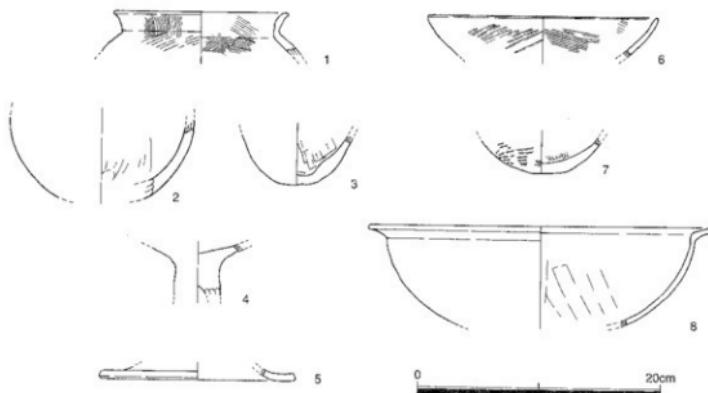
古墳時代（第1造構面）（第4図）

SR1001（自然流路）（第5図）

調査区を北から南へ延びる不整形な古墳時代後期の自然流路である。調査区の北壁で土層堆積が確認され、弥生・縄文土器を含む層を切り込んでいる。特に南側部分で製塙土器や土師器壺などが多く出土した。

出土遺物（第6図）

遺物出土点数は一定量みられたものの、復元・実測可能なものは少なかった。土師器類が出土している。1～3は壺、4・5は高杯、6～8は鉢である。小片のため詳細な時期決定は困難であるが、概ね古墳時代後期頃と思われる。



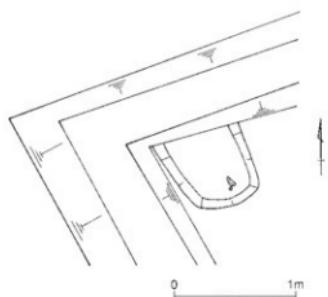
第6図 SR1001出土遺物

SX1001（不明遺構）（第7図）

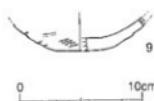
調査区北西部で検出された土坑状の遺構である。一部調査区外に延びており、全体の形状は不明である。現存規模は長軸65cm、短軸63cmである。

出土遺物（第8図）

土師器片等の出土がみられたが、復元・実測可能なものは1点のみである。9は甕の底部と思われる。小片のため詳細な時期決定は困難であるが、概ね古墳時代後期頃と思われる。



第7図 SX1001平面図

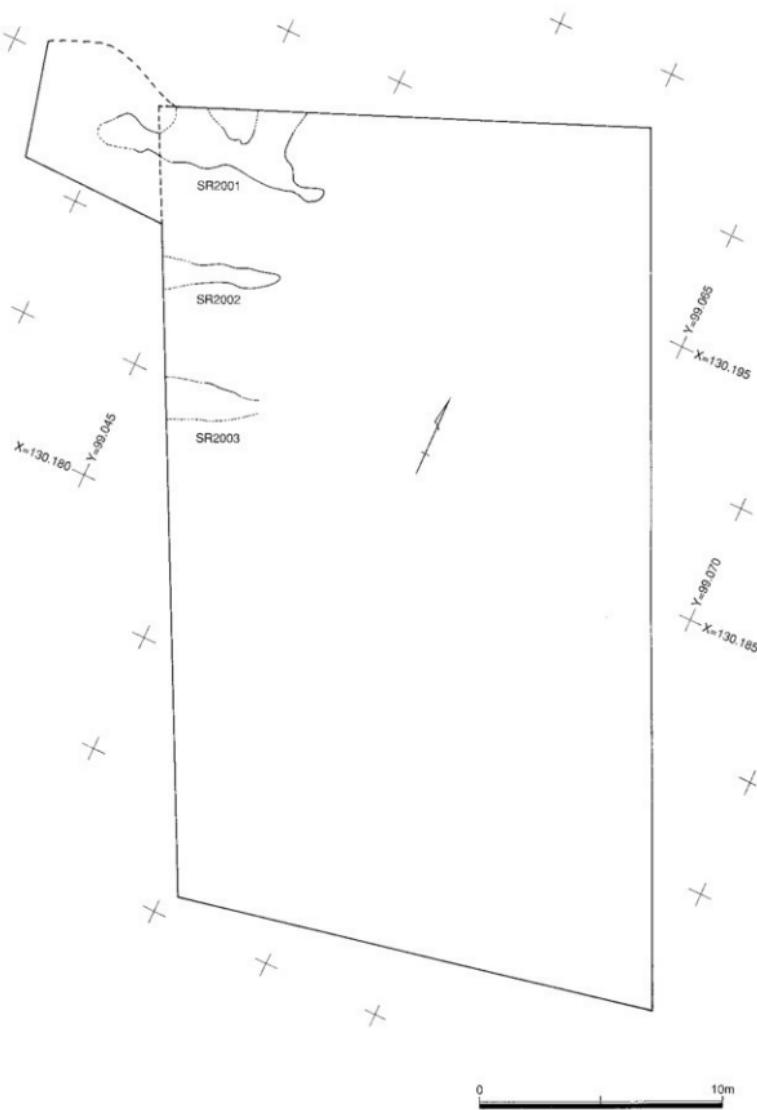


第8図 SX1001出土遺物

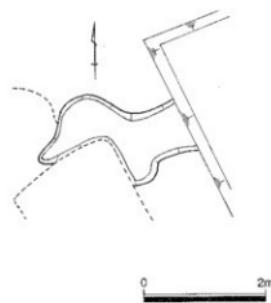
弥生時代（第2遺構面）（第9図）

SR2001（自然流路）（第10・11図）

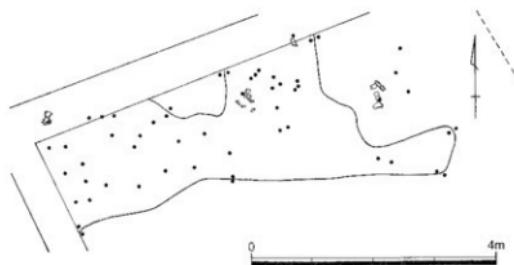
調査区北西部で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流れていたものとみられるが、一部調査区外に延びているため、全容は不明である。遺構内埋土からは、量的な主体として弥生時代後期頃の土器片が出土し、SR2001の時期はこの時期に求められると考えられるが、古墳時代後期の須恵器片も混入して出土している。



第9図 第2造構面 遺構配置図



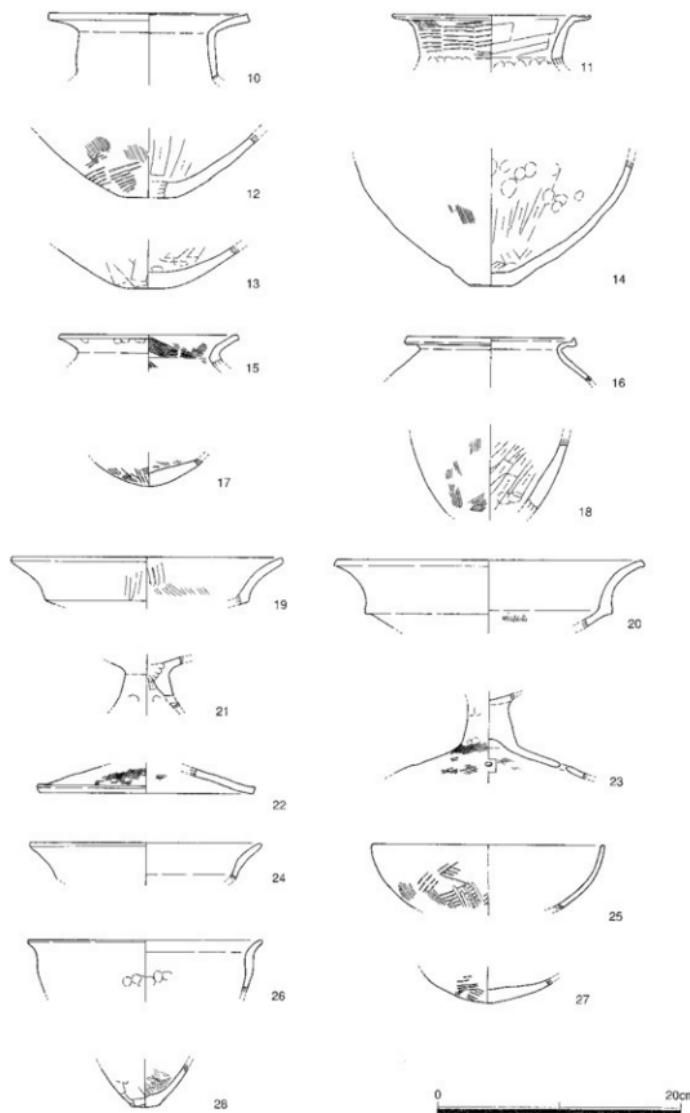
第10図 SR2001平面図



第11図 SR2001遺物出土状況平面図

出土遺物（第12図）

土師器・須恵器片等の出土がみられたが、復元・実測可能なものはなかった。量的な主体となるのは弥生時代後期頃の土器である。10~14は壺、15~18は盞である。19~24は高杯、25~27は鉢である。28は製塙土器と思われる。SR2001の時期については、小片のため詳細な時期決定は困難であるが、出土遺物から概ね弥生時代後期頃と思われる。



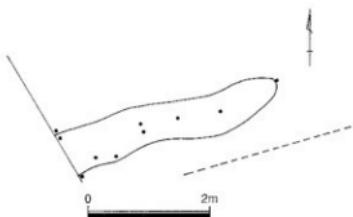
第12図 SR2001出土遺物

SR2002（自然流路）（第13図）

調査区北西部、SR2001の南側で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流れていたものとみられるが、一部調査区外に延びているため、全容は不明である。弥生時代後期頃の土器片が出土しているが、量的には少ない。

出土遺物（第14図）

弥生土器片が出土したが、復元・実測可能なものは1点のみである。29は壺の体部と思われる。小片のため詳細な時期決定は困難であるが、概ね弥生時代後期頃と思われる。



第13図 SR2002遺物出土状況平面図



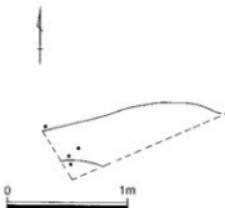
第14図 SR2002出土遺物

SR2003（自然流路）（第15図）

調査区北西部、SR2002の南側で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流れていたものとみられるが、一部調査区外に延びているため、全容は不明である。弥生時代後期頃の土器片が出土しているが、量的には少ない。

出土遺物

弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。

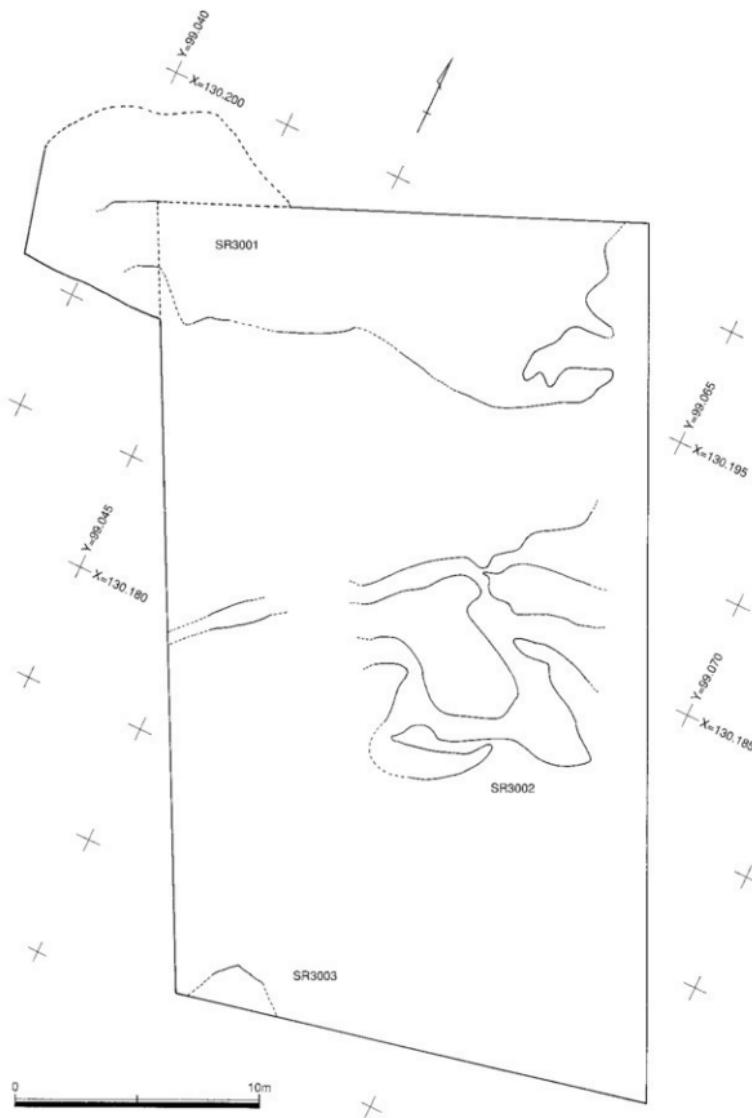


第15図 SR2003遺物出土状況平面図

弥生時代（第3遺構面）（第16図）

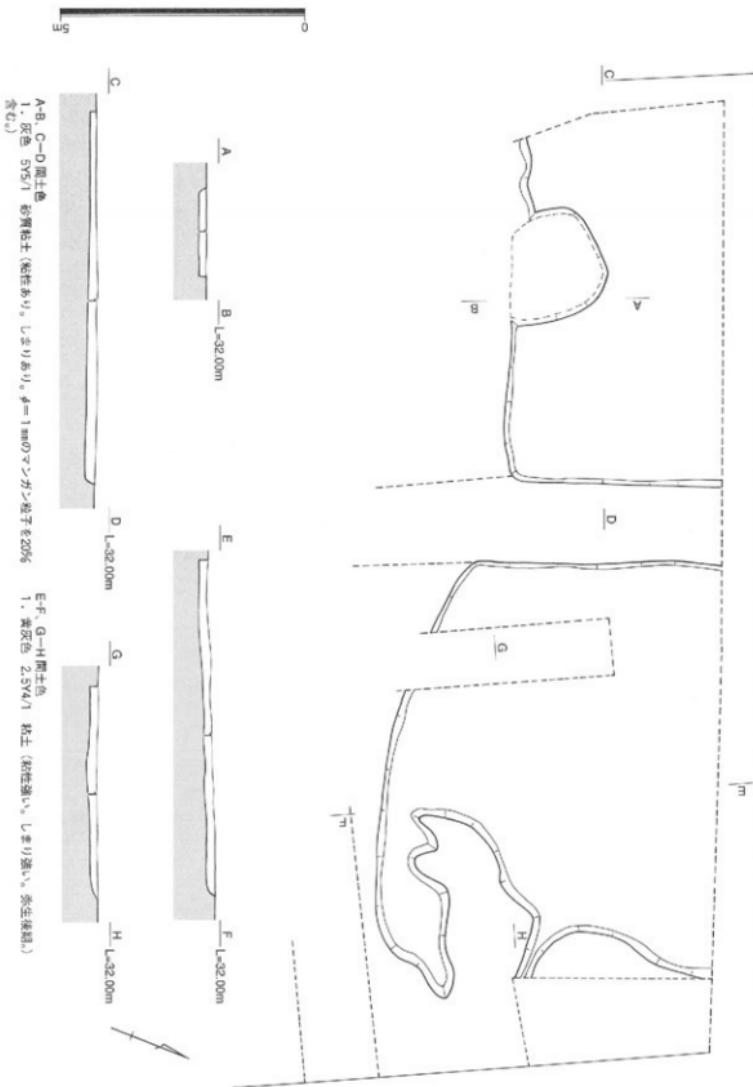
SR3001（自然流路）（第17・18図）

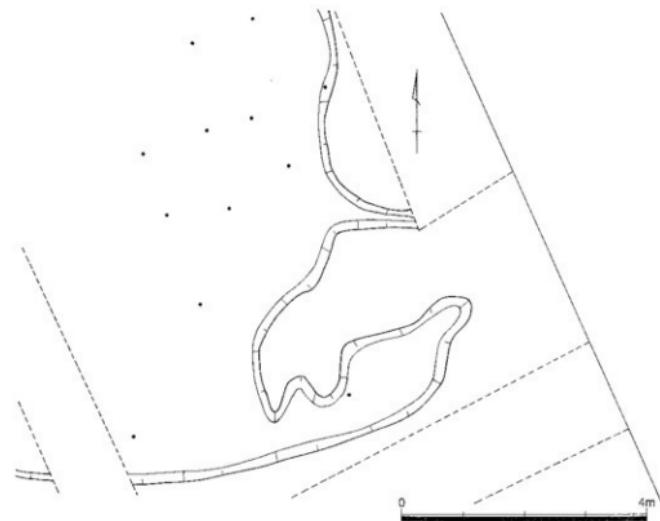
第2遺構面から20cm程度の間層をはさみ、検出した面を第3遺構面とした。SR3001は調査区北部で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流れていたものとみられるが、一部調査区外に延びているため、全容は不明である。遺構内埋土からは、量的な主体として弥生時代後期頃の土器片が出土した。SR3001の時期もこの時期に求められると考えられる。



第16図 第3遺構面 遺構配置図

第17図 SR3001平・断面図





第18図 SR3001遺物出土状況平面図

出土遺物（第19・20図）

他の遺構に比べて、多くの弥生土器が出土した。小片のため詳細な時期決定は困難であるが、時期的には概ね弥生時代後期頃と思われる。30~45は壺である。32~45は壺の底部とした。46・47は壺口縁部である。48~53は鉢である。54は高杯の口縁部としたが、壺口縁の可能性もある。

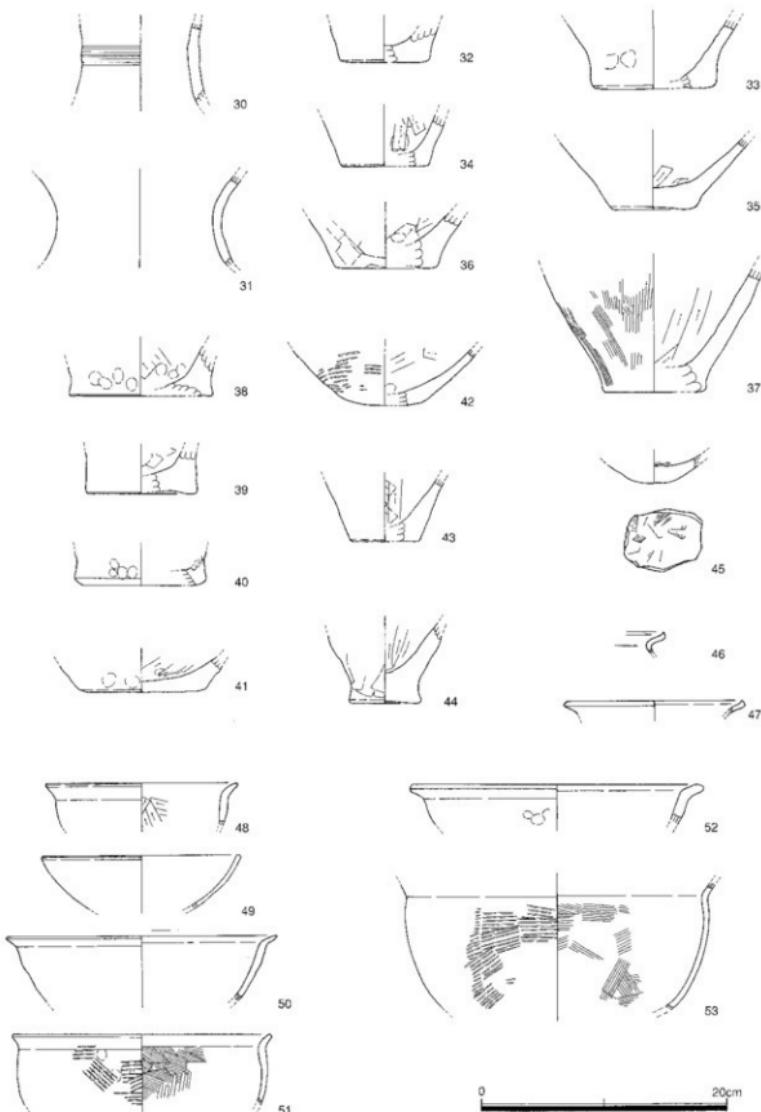
55・56は土器器で古墳時代後期頃のものと思われる。55は壺と思われる。56は底部に穿孔がみられ、壺と思われる。57~61は土師質の杯で、60・61は中世期のものと思われる。

SR3002（自然流路）（第21図）

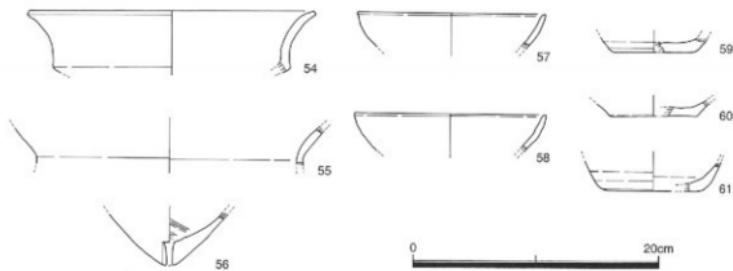
調査区中央部で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流动していたものとみられるが、一部調査区外に延びているため、全容は不明である。遺構内埋土からは、弥生時代後期頃の土器片が出土した。SR3002の時期もこの時期に求められると考えられる。

出土遺物

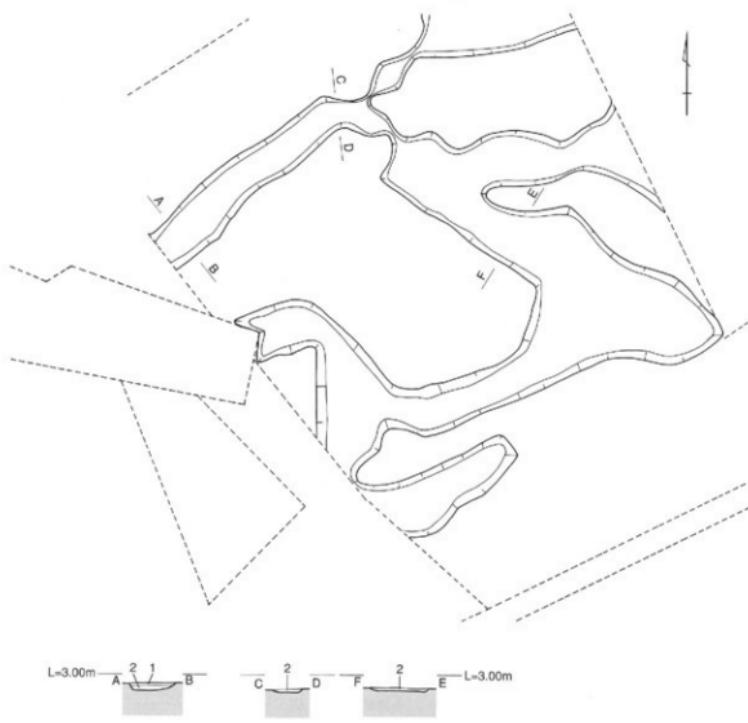
弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。



第19図 SR3001出土遺物1



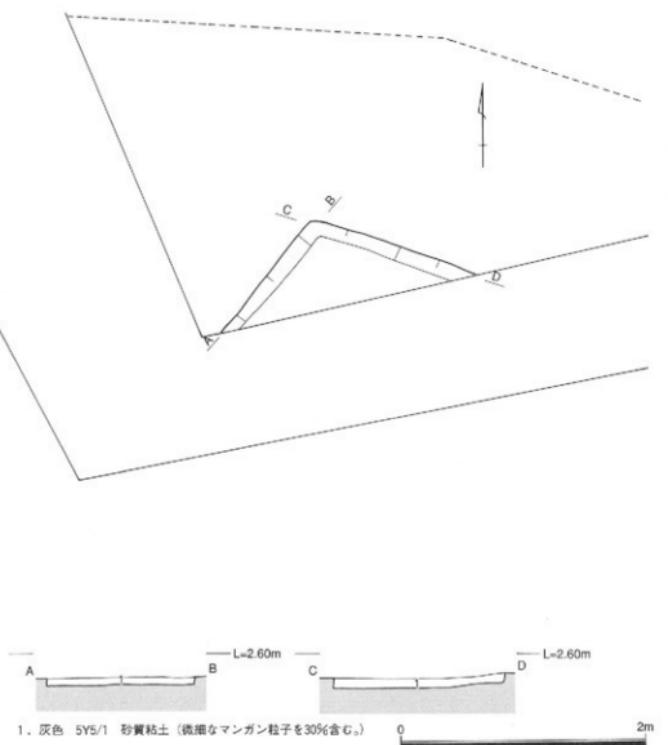
第20図 SR3001出土遺物 2



第21図 SR3002平・断面図

SR3003（自然流路）（第22図）

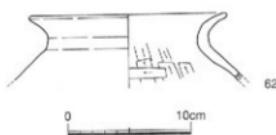
調査区南部で検出された自然流路である。調査区を東西方向に流れているものとみられるが、大部分が調査区外に延びているため、全容は不明である。遺構内埋土からは、弥生時代後期頃の土器片が出上した。SR3003の時期もこの時期に求められると考えられる。



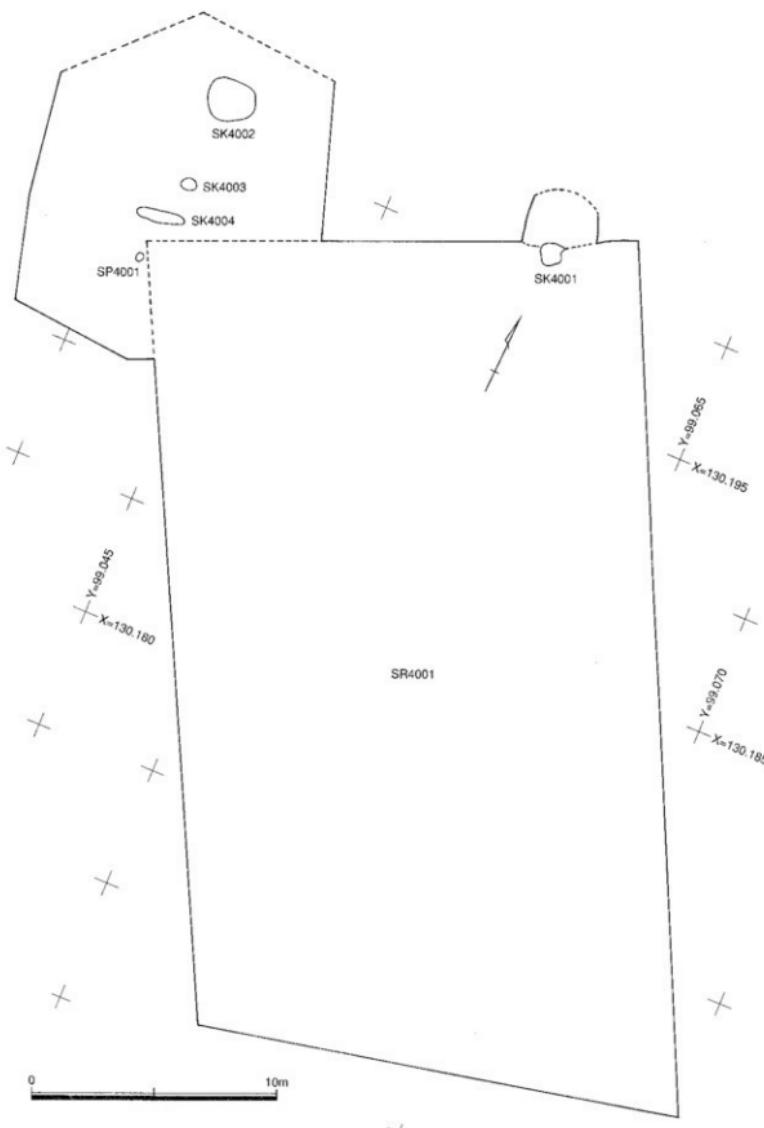
第22図 SR3003平・断面図

出土遺物（第23図）

弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものは1点のみである。62は弥生土器甕である。小片のため詳細な時期決定は困難であるが、時期的には概ね弥生時代後期頃と思われる。



第23図 SR3003出土遺物



第24図 第4構造面 構造配置図

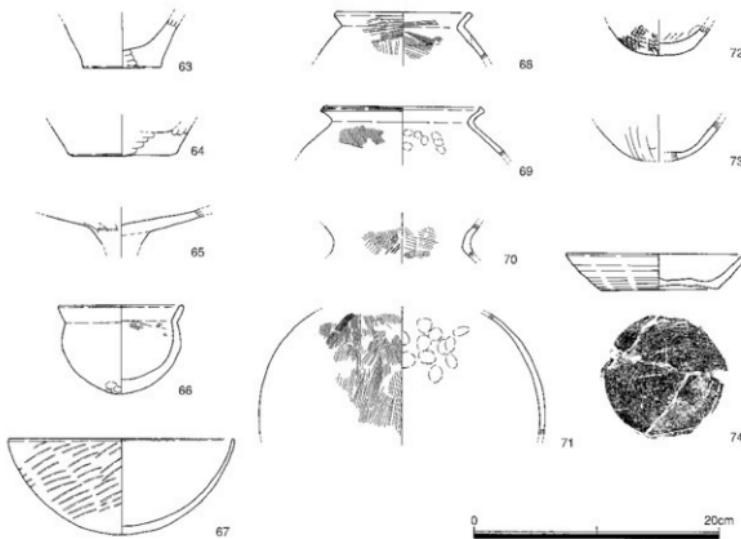
弥生時代（第4遺構面）（第24図）

SR4001（自然流路）（第24図）

調査区全域にわたる自然流路である。調査区内においては、流路の立ち上がりを確認することができなかつたため、全体の規模は不明である。出土遺物は弥生時代中期～後期にかけての時期が主体となっている。一部、弥生時代前期にはいるものもみられる。

出土遺物（第25図）

弥生時代前期末～中期～後期の土器が出土したが、小片が多く実測し得たのは弥生後期のものが主体である。63・64は壺、65は高杯、66・67は鉢である。68～73は壺である。74は12世紀後半頃の上師質土器杯である。

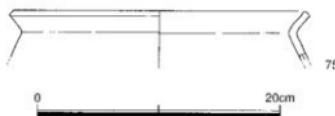


第25図 SR4001出土遺物

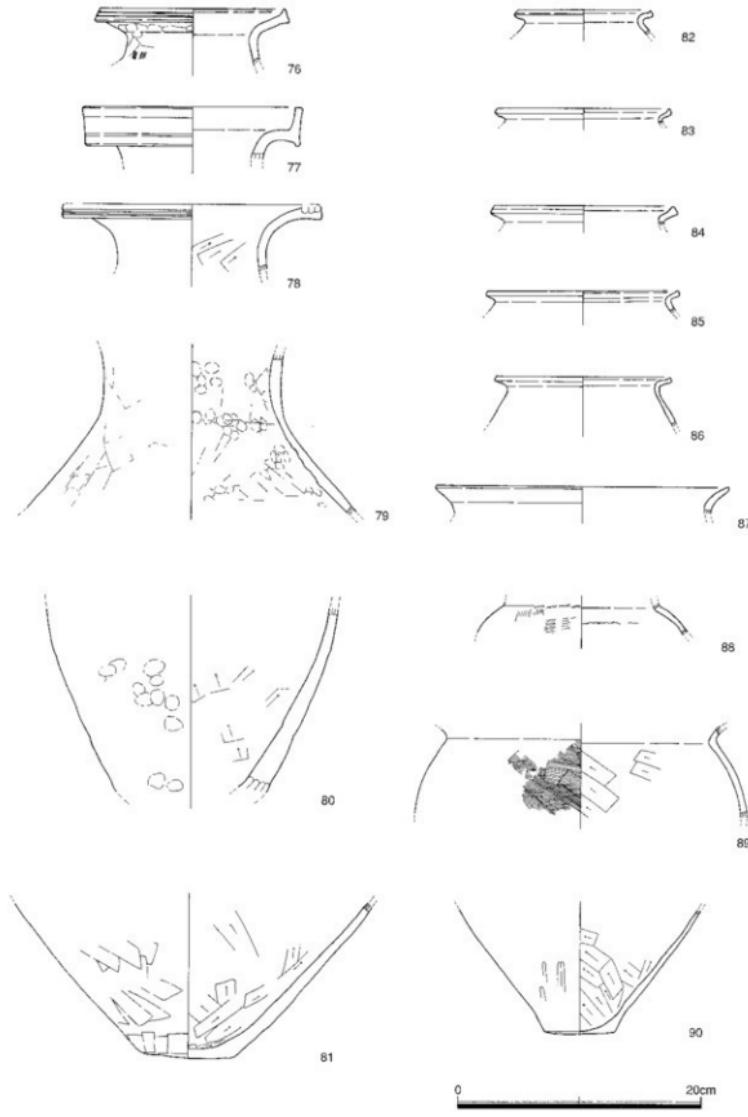
1区包含層出土遺物

第1包含層（第26図）

75は弥生土器壺である。小片のため詳細は不明であるが、時期的には概ね弥生時代後期頃と思われる。



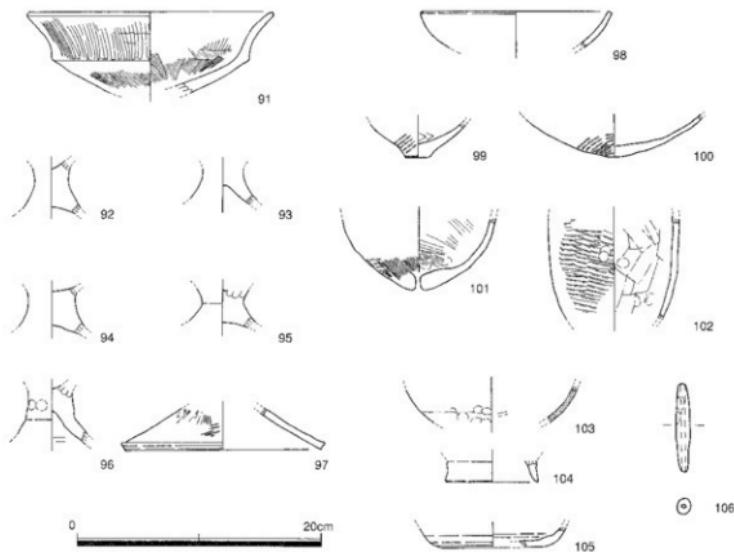
第26図 1区 第1包含層出土遺物



第27図 1区 第2包含層出土遺物1

第2包含層（第27・28図）

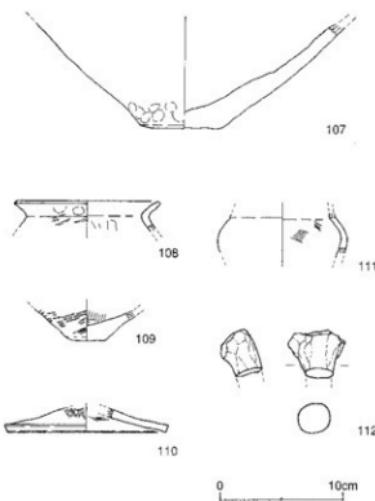
弥生時代後期頃の土器が主体的に出土している。76～81は壺、82～90は甕である。91～97は高杯、98～100は鉢である。101は瓶、102は甕の体部と思われる。時期的にはいずれも弥生時代後期頃と思われる。103は瓦器の楕と思われる。104は上部器軸の高台部である。小片のため詳細な時期は不明であるが、7～9世紀、古墳～古代頃の時期と思われる。105は土師質土器の杯である。106は土錘である。12世紀後半頃と思われる。



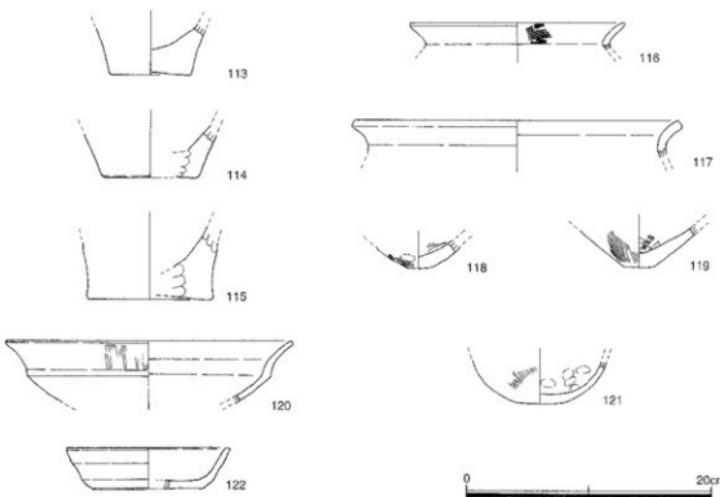
第28図 1区 第2包含層出土遺物2

第3包含層（第29図）

出土遺物は弥生時代後期頃の土器が主体的に出土しているが、弥生中期の土器も散見していた。107は壺、108・109は甕である。110は高杯、111は鉢である。時期的にはいずれも弥生時代後期頃と思われる。112は中世の土師質土器の笠脚部である。



第29図 1区 第3包含層出土遺物



第30図 1区 第4包含層出土遺物

2区の遺構と遺物

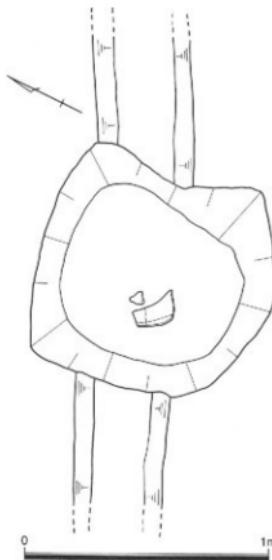
当初、設定した調査区の北西部において弥生土器片等がまとめて出土し、その拡がりがさらに北西部に延びることが予測されたため、調査区北西部を拡張し、その拡張部分を2区として調査を行った。

SK4001（土坑4）（第31・32図）

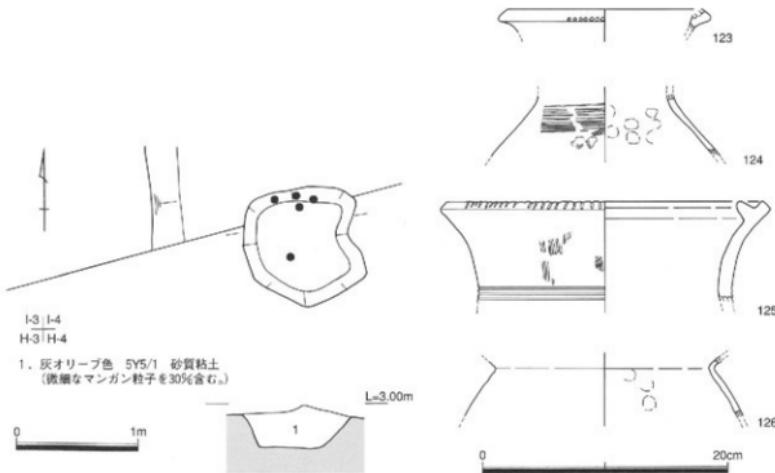
調査区北東部、SR3001基底面で検出された楕円形の平面プランを呈する土坑である。遺構内には炭化物が多く堆積していた。遺構内からは弥生時代前期末～中期頃の壺等が出土している。

出土遺物（第33図）

123～125は壺、126は壺である。出土土器は弥生時代前期末～中期にかけての頃と思われる。125は壺の口縁部である。口縁端部外面に刻目文が施される。口縁部内面にかえしが貼り付けられる。頸部と体部の境には四線文が施される。時期的には弥生時代前期末頃と思われる。



第31図 SK4001遺物出土状況平面図



第32図 SK4001遺物出土状況平面図および断面図

第33図 SK4001出土遺物

SK4002（第34図）

2区で検出された、やや不整な楕円形状の平面プランを呈する土坑である。遺構内からは弥生土器小片等が出土した。

出土遺物

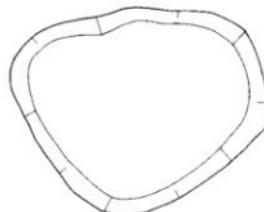
弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。

SK4003（第35図）

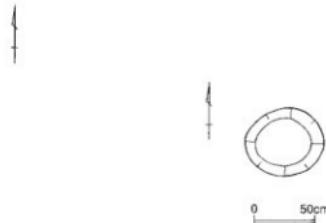
2区で検出された、円形状の平面プランを呈する土坑である。遺構内からは弥生土器小片等が出土した。

出土遺物

弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。



第34図 SK4002平面図



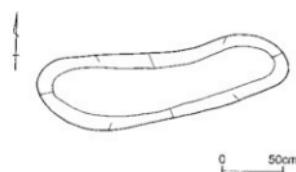
第35図 SK4003平面図

SK4004（第36図）

2区で検出された、長楕円形状の平面プランを呈する土坑である。遺構内からは弥生土器小片等が出土した。

出土遺物

弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。



第36図 SK4004平面図

SP4001（第37図）

2区で検出された、円形状の平面プランを呈する小穴である。造構内からは弥生土器小片等が出土した。

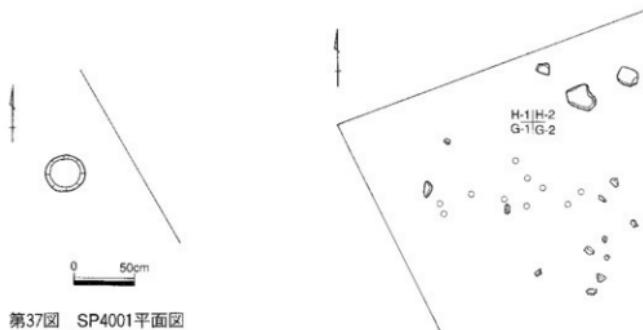
出土遺物

弥生土器片等が出土したが、小片のため復元・実測可能なものはなかった。

2区包含層

遺物出土状況平面図（第38図）

造構として確認されたものはないが、弥生時代～古墳時代～中世の各期にわたり、遺物が出土している。



第37図 SP4001平面図

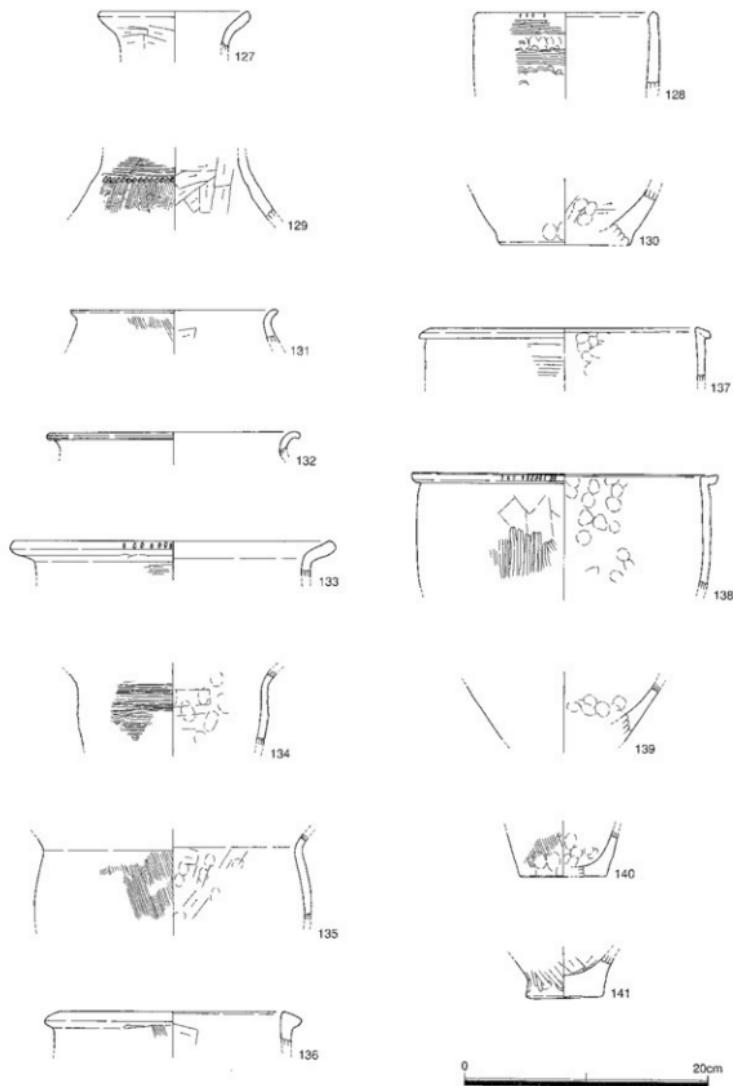


第38図 2区 包含層遺物出土状況平面図

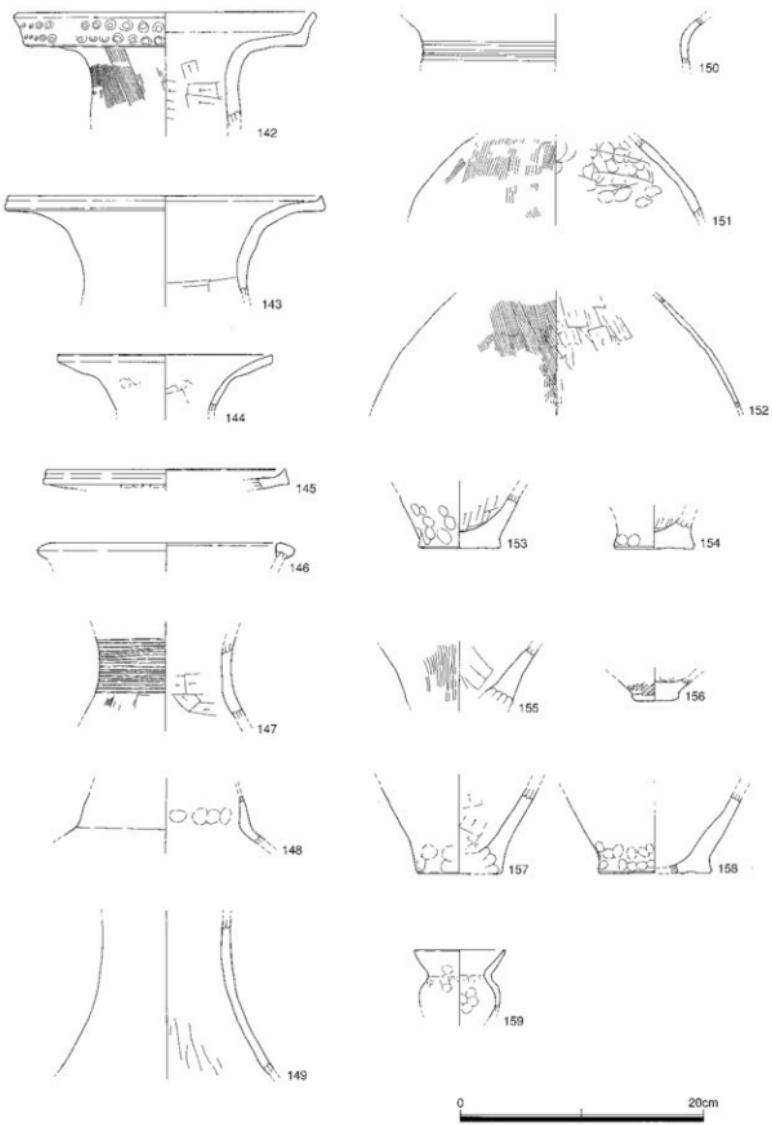
出土遺物（第39～42図）

127～130は壺、131～141は甌である。時期的には弥生時代前期末～中期にかけての頃と思われる。142～159は甌である。142・143は土師器壺で古墳時代後期頃と思われる。144～159は弥生土器で小片のため、全容は不明であるが、時期的には後期頃と思われる。160～196は甌、197～201は高杯、202～206は鉢である。207・208は製塙土器で、時期的には古墳時代後期頃と思われる。

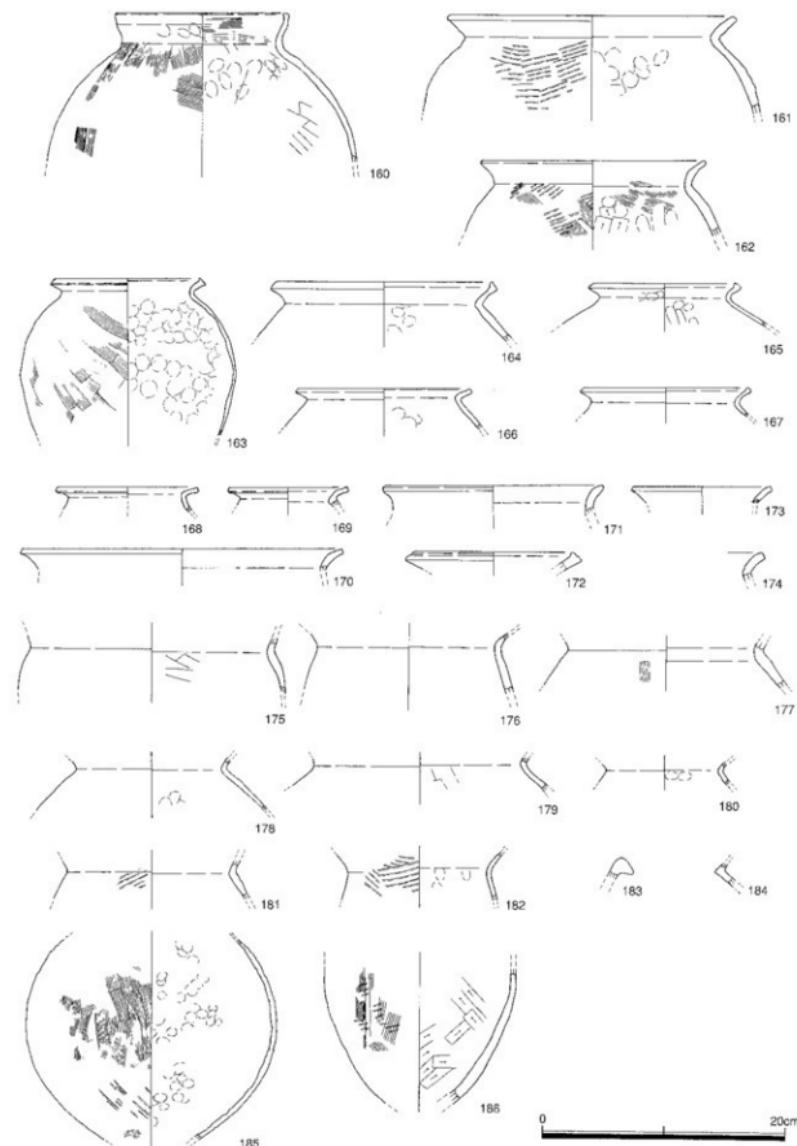
209は瓦器椀、210は土師質土器椀、211は土師質土器杯、212・213は土師質土器小皿である。214は龍泉窯系の青磁碗である。215は白磁の碗と思われるが、小片のため詳細は不明である。時期的には12世紀後半～13世紀前半頃と思われる。216は肥前系の碗、217は陶器の鉢と思われる。218～220は須恵器である。218は甌、219は椀、220は杯蓋である。小片のため詳細は不明である。221は弥生時代の石礫で石材はサヌカイトである。



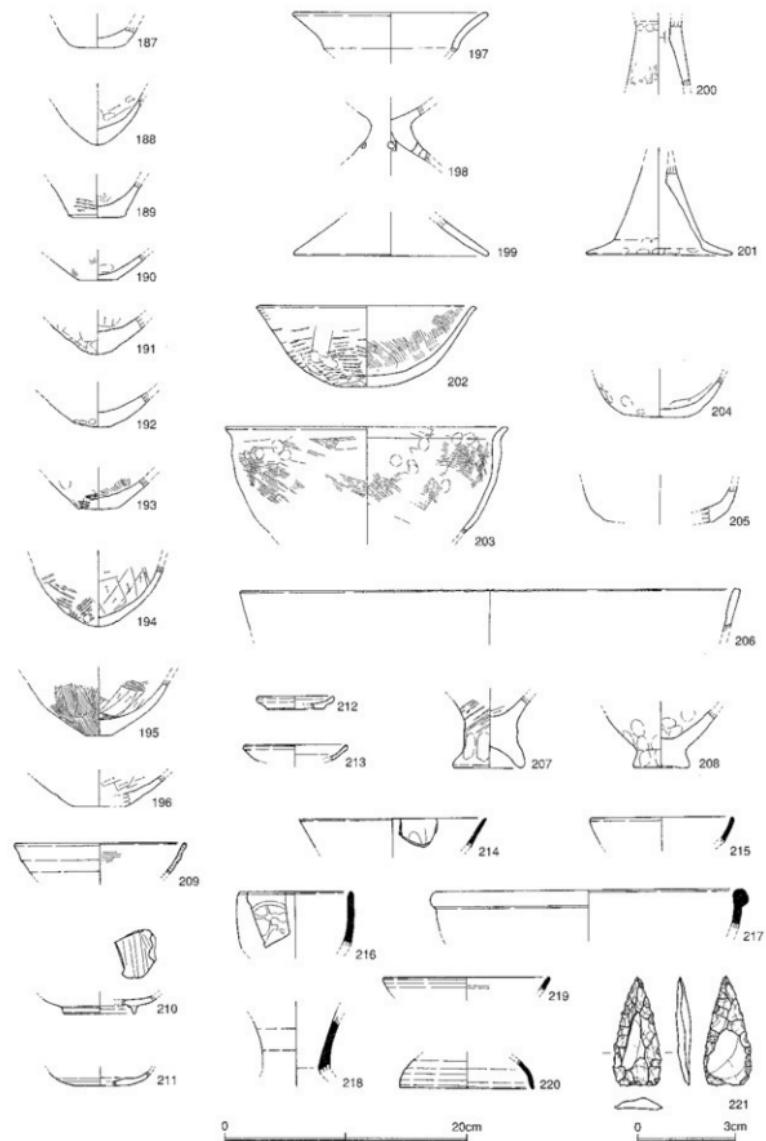
第39図 2区 包含層出土遺物 1



第40図 2区 包含層出土遺物 2



第41図 2区 包含層出土遺物 3



第42図 2区 包含層出土遺物 4

縄文時代

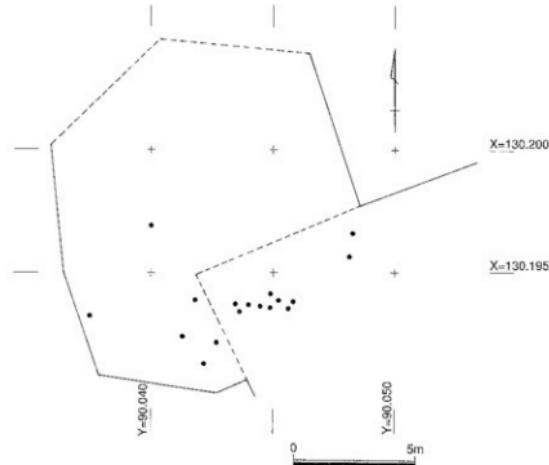
調査区北西部、拡張部分2区において縄文土器片がまとまって出土した。

縄文土器出土状況分布平面図（第43図）

縄文時代の遺構として確認されたものはない。縄文時代の遺物は調査区拡張部、SR3001の下層からの出土であり、若干の弥生土器片も混入していた。

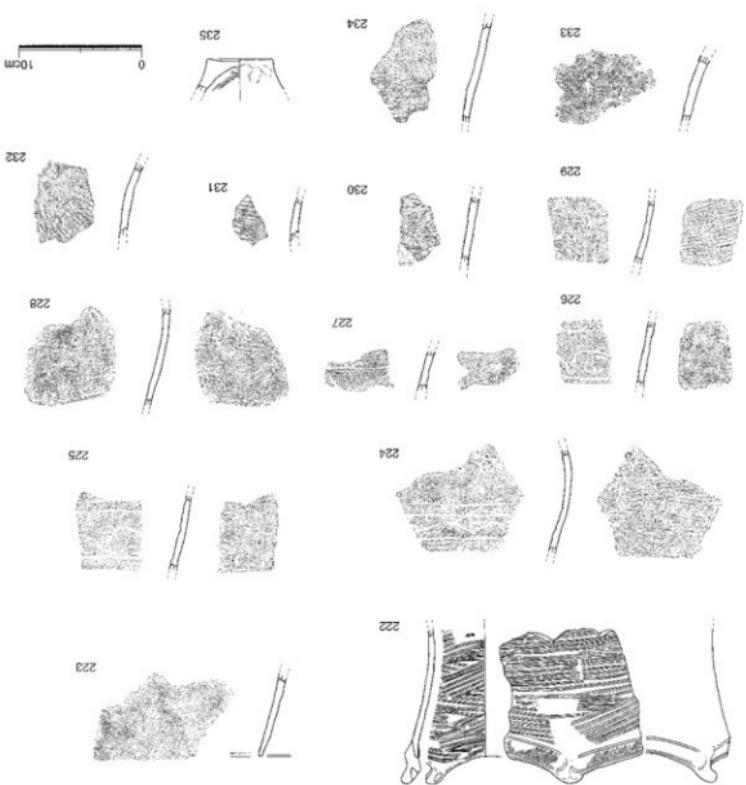
出土遺物（第44図）

縄文土器の出土点数は細片も含めると約500点を数えるが、復元・実測可能なものは少ない。縄文土器はSR3001基底、1区の第5包含層に対応する層位からの出土である。222は波状口縁をもつ深鉢である。口縁外面にはLR 縄文・巻貝条痕が施され、沈線で区画される。225・226は外面にLR 縄文・巻貝条痕が施され、沈線で区画された間に波状の沈線を施す。224・227も外面にLR 縄文で、沈線で区画された間に波状の沈線を施す。223・228～235もほぼ同様である。2区出土の縄文土器は時期的には後期頃のものと思われる。



第43図 縄文土器出土状況分布平面図

第44圖 出土繩文土器



(3) まとめ

辺露遺跡では調査の結果、室町・鎌倉～古墳後期～弥生後期・前期末～中期・縄文後期と各期にわたる土器などの遺物が出土し、一部遺構面も確認された。しかしながら、遺構自体は人為的なものは少なく、ほとんどが浅い谷状地形の落ち込み、あるいは自然流路である。出土遺物は、これらの埋没した堆積層（包含層）からの出土が大半を占めるが、層位的な安定に欠けており、複数時期にわたる遺物の出土がみられるため、厳密に出土遺物の帰属層位を特定することは困難である。

遺物出土の拡がりは、ほぼ調査区内に収まるものと考えられる。試掘の結果からは、調査地点以外の対象範囲から明確な遺構あるいは遺物の出土は確認することはできなかったが、遺物の出土状況や地形的条件を考慮すれば、調査地点の北西側に遺跡の存在する可能性があると思われる。

辺露遺跡

第1表 出土遺構一覧表

1区

遺構名	グリッド	平面形態	断面形態	長軸 (m)	短軸 (m)	深度 (cm)	備考
SK1001	B-II-1-6	不整形		30.0	17.5		
SX1001	G-H-1	不整形			0.65	0.63	
SK2001	G-H-1-2	不整形		東西 9.0	南北 4.0		
SK2002	F-G-2	横状		東西 3.6	南北 0.6		
SK2003	F 2	溝状		東西 1.3	南北 0.4		
SR3001	G-H-1~5	不整形	浅V-D字状	17.5	5.0	17	
SR3002	D-I-3~6	不整形	浅V-D字状	東西 9.0	南北 8.0	15	
SK3003	B-4	不整形	浅V-D字状	東西 2.0	南北 0.7	7	
SR4001	西東区全域						

2区

遺構名	グリッド	平面形態	断面形態	長軸 (m)	短軸 (m)	深度 (cm)	備考
SK4001	C-5	折円形状	適合形	0.95	0.9	34	
SK4002	C-2	やや不整形 折円形状		1.93	1.6		
SK4003	B-2	円形		0.66	0.6		
SK4004	B-2	長折円形状		2.0	0.6		
SP4001	A-2	円形		0.32	0.26		

第2表 出土遺物観察表

SR1001 (土器)

号番 測量 測定番号	通 用 名	出土地点	層 位	节 理	块 理	口 径 (cm)	底 径 (cm)	高 (cm)	基 底 (cm)	断 面 (cm)	壁 厚 (cm)	その他の 付着 (cm)	被 覆 状 況	形 態	残 度	合 金 部 分	色 調	備 考
1	SR1001	1区	埋二	十字節 透	上端幅 以下	33.9				12.9	3.3		口縁～ 体部～	内側直 線的凹 斜面、外 側は反 対斜面 の傾き。	外側：白 褐色ハケ(2 mm)、内 側：茶褐色 ハケ(2mm) 内底：ハバチ(2 mm)、内 外底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：黄褐色 内側：茶 褐色	
2	SR1001	1区	埋土	十字節 透	底部 以下					6.5			体部下 部	外側：内側 より少し くびれ、底 部丸み。	外側：薄 青褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	
3	SR1001	1区	埋土	十字節 透	上端幅 以下					4.1			体部上 部	内側：上方 が少し狭 くなっている。 底部丸み。	外側：浅 青褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	
4	SR1001	1区	埋土	土器部 高部	直筒部 以下					3.6	4.3		脚部部	脚部直立、脚部 丸み且びげ。	外側：浅 青褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面や不 規則
5	SR1001	1区	埋土	土器部 外鉢	直筒部 以下					16.0	1.0		脚部	脚部下方へ膨らむ。壁 は直線的で、内側 はよく外方に傾 いて、丸く收める。	外側：青 褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	
6	SR1001	1区	埋土	二重器 身	上端幅 以下	15.5					3.3		口縁～ 体部	体部や脚部内側 に内側へ向か る斜面があり、 脚部を多く含む ように見える。	外側：青 褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	
7	SR1001	1区	埋土	十字節 透	底部 以下					3.1			底部	底部上方へ傾かれて いる。	外側：青 褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面不 規則
8	SR1001	1区	埋土	土器部 身	口端部 以下	28.0				25.2	8.2		口縁～ 体部	口縁部膨 らみ、口縁部 から上に引け、内側に收 める。	外側：子口 内側：直口 内底：直口	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側：青 褐色、内 外底：茶 褐色	外側に直口 あり。

SX1001 (土器)

号番 測量 測定番号	通 用 名	出土地点	層 位	节 理	块 理	口 径 (cm)	底 径 (cm)	高 (cm)	基 底 (cm)	断 面 (cm)	壁 厚 (cm)	その他の 付着 (cm)	被 覆 状 況	形 態	残 度	合 金 部 分	色 調	備 考
9	SX.001	底 G-1	埋土	二重器 身	直筒部 以下	3.0				2.7			底部	底部は斜め上方に延び る。	外側：青 褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面不 規則

SR2001 (土器)

号番 測量 測定番号	通 用 名	出土地点	層 位	节 理	块 理	口 径 (cm)	底 径 (cm)	高 (cm)	基 底 (cm)	断 面 (cm)	壁 厚 (cm)	その他の 付着 (cm)	被 覆 状 況	形 態	残 度	合 金 部 分	色 調	備 考
10	SR2001	1区	埋土	单孔土器 身	直筒部 以下	16.1				11.4	5.0		口縁～ 体部	脚部は底近くで よく膨らむ。口縁部 はやや上に傾ける。	外側：白 褐色、内 側：茶褐色 内底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面：青 褐色、内 外底：茶 褐色	底面不 規則

SR2002 (土器)

日付 登録番号	種類	品目地點	位置	種類	種類	種類	種類	門檻 (cm)	壁 (cm)	床 (cm)	高さ (cm)	壁面 距離 (cm)	底面 距離 (cm)	その他の 距離 (cm)	頭部	左脚	右脚	坐姿	全高 距離	台座	備考
2019-05-29 SR2002	1区段	新2階西側	私共土蔵	木造	木造	木造	木造														外観:對称構成。 一般ハーフ(左)、 一般ハーフ(右)、 一般ハーフ(後)、 一般ハーフ(前)。

SR3001 (土器)

目次番号	造 庫	戸二地皮	要 件	目 標	底 底	上 口	底 大径	高 度	表 面	底 面	縁 高	縁 突 破	その他の特徴	性 質	有 限	色 調	備 考
30	SR3001	1 戸	西上	弥生二層 壁	底板 1.6			9.5	6.9	縁部	断面直。	外面：ケダマ 内面：ケダマ	右丸、表面 底面：直角	赤茶、表面 底面：直角	有 限	赤茶 表面：直角 底面：直角	
31	SR3001	1 戸	東七	発生一部 壁	底板 1.8 以下			13.5	7.4	縁部	断面やかに内反して いる。	外面：24号不規 内面：24号不規	石青、食 衣部：直角	外面：食 衣部：直角	有 限	石青 表面：直角 底面：直角	
32	SR3001	1 戸	東上	弥生二層 壁	底板 1.5			7.2	3.0	底部	底部にヒビ 入る。	外面：ケダマ 内面：ケダマ	右丸、被 衣部：直角	外面：被 衣部：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角	
33	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.5			10.3	5.6	縁部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：外壁：セミコリュ 内面：内壁：セミコリュ 底面：内壁：セミコリュ	右丸、表面 底面：直角	外面：底 内面：底	有 限	右丸、表面 底面：直角	
34	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.9			7.2	4.0	縁部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：ケダマ 内面：ケダマ	右丸、被 衣部：直角	外面：被 衣部：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角	
35	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.1			7.0	5.8	縁部	縁からトロ延び。体部は 内側の方に傾げる。	外面：開口不規 内面：ケダマ 底面：内壁 内面：底面	右丸、表 内面：底 内面：底	外面：表 内面：底 内面：底	有 限	右丸、表 内面：底 内面：底	
36	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.7			8.2	4.6	縁部	縁からトロ延び。体部は 内側の方に傾ける。	外面：ケダマ 内面：ケダマ	右丸、被 衣部：直角	外面：被 衣部：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角	
37	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.9			8.6	10.1	縁部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：体部ハテ（6 号）、内面：内壁 内面：内壁 内面：ヘラズリ（底 1.3cm）	右丸、表 内面：直角 内面：直角 内面：直角	外面：直角 内面：直角	有 限	右丸、表 内面：直角 内面：直角	
38	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.9			11.7	4.0	縁部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：ナマのちビボ 内面：ナマのちビボ 内面：ナマのちビボ	右丸、被 衣部：直角	外面：被 衣部：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角	古事記時代
39	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.9			9.0	3.4	縁部	縁からトロ延び。体部は 内側の方に傾ける。	外面：体部直角 内面：内壁 内面：内壁 内面：ヘラズリ（底 1.3cm）のちみびオサ ム。	右丸、表 内面：直角 内面：直角 内面：直角	外面：医 内面：直角	有 限	右丸、表 内面：直角 内面：直角	
40	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.7			9.3	2.8	縁部	平底。先端は直面で なじみがある。	外面：ミズオサム 内面：ミズオサム 内面：ミズオサム	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
41	SR3001	1 戸	東七	弥生土器 壁	底板 1.9			9.4	2.9	縁部	平底。次第に外上方に 傾ける。	小面：外壁：セミコリュ 内面：内壁：セミコリュ 内面：底面	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
42	SR3001	1 戸	東上	弥生二層 壁	底板 1.9 以下			6.3	4.7	下面部 -縁部	やや先丸。骨器は斜 方方に傾ける。	外面：体部タカタ（3 号）、内面：内壁 内面：作業ハツ（内 1.2cm）、内面：内壁 内面：ミズオサム 底面：ミズオサム	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
43	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.9			5.7	5.2	縁部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：内側斜削不規 内面：内壁 内面：内壁 内面：ケズリ（底 1.2cm）	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
44	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.7			5.9	6.0	縁部	縁から上げて。体部は 内側方に傾ける。	外面：内側斜削ナメ 内面：内壁 内面：内壁 内面：ヘラズリ	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
45	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.2				2.4	底部	平底。体部は外上方に 傾ける。	外面：内壁：ナマのち 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
46	SR3001	1 戸	東上	弥生上層 壁	底板 1.7				1.7	口縁部	口縁部がくぼぐ。 縁部は内側からくぼみと 傾斜をもつ形である。	外面：内壁：ナマのち 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
47	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.7				1.1	口縁部	体部の脇部分にこぼ がる。口縁部は内側からくぼ みと傾斜をもつ形である。	外面：内壁：ナマのち 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
48	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.7			15.6		口縁部	外縁部がくぼぐ。 内側は内側からくぼみと 傾斜をもつ形である。	外面：内壁：ナマのち 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
49	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.7			16.3		口縁部 -底部	底部は内側にこぼ がる。内側は内側からくぼ みと傾斜をもつ形である。	外面：口縁部タコナ 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
50	SR3001	1 戸	東七	弥生土器 壁	底板 1.7				2.2	口縁部 -底部	底部の内側にこぼ がる。内側は内側からくぼ みと傾斜をもつ形である。	外面：ケダマ 内面：ケダマ	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
51	SR3001	1 戸	東上	弥生上層 壁	底板 1.7	21.0	20.4		5.8	口縁部 -底部	外縁部がくぼぐ。 内側は内側からくぼみと 傾斜をもつ形である。	外面：口縁部タコナ 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	
52	SR3001	1 戸	東七	弥生上層 壁	底板 1.7	24.0			3.3	口縁部 -底部	底部は内側にこぼ がる。内側は内側からくぼ みと傾斜をもつ形である。	外面：口縁部タコナ 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品
53	SR3001	1 戸	東上	弥生土器 壁	底板 1.7	24.9		24.6	10.4	体部	体部の内側にこぼ がる。内側は内側からくぼ みと傾斜をもつ形である。	外面：口縁部タコナ 内面：内壁：ナマのち	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	外面：被 衣部：直角 内面：直角	有 限	右丸、被 衣部：直角 内面：直角	成城や不 良品

番号 登録番号	通　号	出土場所	年　代	種　類	摘要	口　径 (cm)	底　径 (cm)	壁　厚 (cm)	深　さ (cm)	容積 (cm ³)	その他の 寸法(cm)	部位	形　態	内　容	古文書	色　調	考　察
54 SR3001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	1.5cm	23.2			5.0			外縁	口縁部中央の 内側不規則。 底盤部上方に 斜面状の凹部。 内側に凹部を 設けたため底盤 が傾く。	灰白・ 青白・ 青白・ 青白・ 青白・ 青白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	
55 SR3001	1区	土 壤	土器容器 裏	口縁部 直筒	1.5cm				3.2			口縁部	口縁部を直して底やか に外する。	外白・ 内白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	
56 SR3001	1区	土 壤	土器容器 裏	口縁部 直筒	1.5cm			1.0	4.3		底盤	底盤より上方に弧び る。底盤は丸い。	外灰・ 内白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白		
37 SR3001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	1.5cm	23.3			3.8			口縁部	底部内側に立ち上がる 内側に凹部がある。	内面：ナチュラル 内面：ナチュラル	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	
38 SR3001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	1.5cm	15.7			3.0			口縁部	底部内側に立ち上がる 内側に凹部がある。	内面：ナチュラル 内面：ナチュラル	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	
59 SR3001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	1.5cm			7.4	1.2		底盤	底盤より上方に 弧びる。	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白		
60 SR3001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	1.5cm			7.0	1.4		底盤	底盤より上方に 弧びる。	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白		
61 SR3001	1区	土 壤	土器容器 裏	口縁部 直筒	1.5cm			7.0	2.5		底盤	底盤より上方に 弧びる。底盤と底盤の 間に隙間。	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白		

SR3003 (土器)

番号 登録番号	通　号	出土場所	年　代	種　類	摘要	口　径 (cm)	底　径 (cm)	壁　厚 (cm)	深　さ (cm)	容積 (cm ³)	その他の 寸法(cm)	部位	形　態	内　容	古文書	色　調	考　察
62 SR3003	1区 B-1	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	15.0			13.1	5.6			口縁部 底盤	口縁部外側に 底盤部より内側へ 傾く。	内面：白 内面：ナチュラル 内面：ナチュラル 内面：ナチュラル 内面：ナチュラル 内面：ナチュラル	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白

SR4001 (土器)

番号 登録番号	通　号	出土場所	年　代	種　類	摘要	口　径 (cm)	底　径 (cm)	壁　厚 (cm)	深　さ (cm)	容積 (cm ³)	その他の 寸法(cm)	部位	形　態	内　容	古文書	色　調	考　察
63 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	1.5cm			6.2	4.0			底盤部 底盤	底盤内にしき底。 体盤は外方に傾ける。	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
64 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	1.5cm			8.1	2.5			底盤	底盤内にしき底。 体盤は外方に傾ける。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
65 SR4001 付属品	1区	土 壤	住居一器 裏	口縁部 直筒	1.5cm			3.1	2.9			底盤	底盤表面をよく磨いて 内側に見ゆる。斜面 上方に傾げる。	外白・ 内白	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
66 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	1.5cm	10.0	9.7	9.2	7.2			口縁部 底盤	人面。半身をもつて いた形を有する。口縁 部は内側に傾く。底盤 部は丸く以める。	外白・ 内白	外白・ 内白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
67 SR4001	1区	土 壤	住居上部 高床	口縁部 直筒	16.2			7.8				口縁部 底盤	人面。体盤内にしき底 があり、底盤内に斜面 がある。底盤内に斜面 がある。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
68 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	10.0			10	3.9			口縁部 底盤	口縁部「く」字型の 内側に底盤部に斜面 がある。内側に底盤部 に斜面がある。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
69 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	12.8			11.6	3.9			口縁部 底盤	口縁部から外方に 傾く。口縁部斜面部 に底盤部をつぶす。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
70 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	11.0			11.2	2.9			底盤	底盤底部「く」字型の 内側に底盤部に斜面 がある。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
71 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	11.0			23.4		10.0		底盤	内面に底盤内に底盤 部をつぶす。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
72 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	11.0			—	2.4			底盤	人面。底盤より上方に 傾げる。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
73 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	11.0			2.8	3.3			底盤	底盤内に底盤部を 上方に傾ける。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白
74 SR4001	1区	土 壤	住居土器 裏	口縁部 直筒	11.0			14.7	9.6			口縁部 底盤	底盤内に底盤部を 上方に傾ける。	内面：灰白 内面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白	内面：灰白 外面：灰白

1区 第1包含層（土器）

層位 測量番号	種類	出土状況	層位	深さ	種別	口径 (cm)	底径 (cm)	厚さ (cm)	断面 (mm) B-B'	断面 (mm) C-C'	その他の 記述	被覆	形態	算定 容積	含蓄物 状況	色調	備考
25		1区 D-3 第1包含層 出土状況 底付	1区 D-3 第1包含層 出土状況 底付	23.9					22.5	4.0	口縁部 底付	口縁部「く」字字形内 側底部を凸角で 内張り、輪郭的な彫型 有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。

1区 第2包含層（土器）

層位 測量番号	法線	出土地点	層位	種類	底付	断面 (mm)	底付 (mm)	厚さ (mm)	断面 (mm) B-B'	断面 (mm) C-C'	その他の 記述	被覆	形態	算定 容積	含蓄物 状況	色調	備考	
26		1区	第2包含層 出土上部 底付	1区 D-3 第1包含層 出土上部 底付	口縁部 底付	3.4	13.1			10.5	4.5	口縁部 底付	口縁部大きく外反。 口縁部直角にしてて 底付する。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。	外周：口縁部直角的な 底付小切。体：丸角 内張り、輪郭的な彫型 有る。
77		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1.8	18.0			1.3		口縁部 底付	口縁部凹凸してて 底付する。外側に 底付有る。底付 内側に底付 有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。
78		1区 E-1	第2包含層 出土上部 底付	1区 D-3 第1包含層 出土上部 底付	口縁部 底付	21.0				12.1	5.5	口縁部 底付	底付は、底付に底付 してて底付有る。 底付内側に底付 有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。
79		1区 E-2	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/3				14.5	13.1	底付 底付	底付は、底付に底付 してて底付有る。 底付内側に底付 有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	石質、良 好な土質 内張り、輪 郭的な彫 型有る。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。
80		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				15.0		底付 底付	底付は斜め上方に傾け てて底付する。	外周：ニビカナヌ 内張り：ケズリ。	外周：底付直角的な 底付小切。内張り： ケズリ。	外周：底付直角的な 底付小切。内張り： ケズリ。	外周：底付直角的な 底付小切。内張り： ケズリ。	外周：底付直角的な 底付小切。内張り： ケズリ。
81		1区 E-1	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	4/5				7.8	12.9	底付 底付	平面、体側は斜め上方 に傾けてて底付する。	外周：体側は斜め上方 に傾けてて底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。
82		1区 E-5	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				9.6	2.0	口縁部 底付	口縁部直角外反。 口縁部斜め上方に傾け てて底付する。	外周：口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：オチテ 内張り：ナダ。	外周：オチテ 内張り：ナダ。	外周：オチテ 内張り：ナダ。	外周：オチテ 内張り：ナダ。
83		1区 E-4	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/12 底付				12.7	1.3	口縁部 底付	口縁部直角外反。 口縁部斜め上方に傾け てて底付する。	外周：口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：ロコナア 内張り：ロコナア。	外周：ロコナア 内張り：ロコナア。	外周：ロコナア 内張り：ロコナア。	外周：ロコナア 内張り：ロコナア。
84		1区 E-5	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				13.0	1.5	口縁部 底付	口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。
85		1区 E-6	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				16.3	1.8	口縁部 底付	口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：ナダ。	外周：口縁部ヨコče 内張り：ナダ。	外周：口縁部ヨコče 内張り：ナダ。	外周：口縁部ヨコče 内張り：ナダ。	外周：口縁部ヨコče 内張り：ナダ。
86		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				12.4	4.1	口縁部 底付	口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：口縁部ヨコče 底付直角にしてて 底付する。	外周：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。
87		1区 E-2	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				2.3		口縁部 底付	口縁部直角外反。 内張り：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。	外周：ナダ。
88		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				12.7	2.6	体正面 底付	体正面、上方に底付 してて底付する。	外周：体正面ハテ 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。
89		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/10 底付				22.0	7.4	体正面 底付	体正面、底付は斜め上方 に傾けてて底付する。	外周：体正面ハテ 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。
90		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/5				5.8	10.1	体正面 底付	体正面、底付は斜め上方 に傾けてて底付する。	外周：体正面ハテ 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。
91		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/3				6.6		断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：断面ヨコče 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。	外周：ミコナア 内張り：ミコナア。
92		1区 F-2	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	4/5				2.8	1.3	断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。
93		1区 F-5	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/1				3.5	2.9	断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。
94		1区 F-5	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/3				3.8	2.7	断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。
95		1区 F-5	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/2				3.3	3.1	断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。
96		1区	第2包含層 底付	1区 D-3 第1包含層 底付	口縁部 底付	1/1				3.6	4.7	断面	断面は、底付部より直角 に斜め外方に傾けてて 底付してて底付する。	外周：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。	外周：ミコナア 内張り：ナダ。

器名 目次番号	通　号	出土位置	層　位	縦　度	横　度	深　度	基　底	高　度	幅　度	高さ(底面) の基準	その他の 法線(底面)	形状	断　面	内　容	色　調	備　考
97	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 2/5			15.8		2.4			箱形	外側：陶器の凹凸部 内側：土台(底面)、 内側：土台(底面)、 内側：土台(底面)	灰白・ 灰白・ 灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰 内側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出ている。
98	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 2/5	15.1				3.0			箱形	外側：底部に凹凸部 内側：土台(底面)	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
99	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 2/1			2.1		2.8			箱形	底面は斜面で上り下りする 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
100	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 2/10					3.4			箱形	底面は斜面で上り下りする 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
101	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 2/1					5.8			箱形	底面は斜面で上り下りする 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
102	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/10					8.4			箱形	底面は斜面で上り下りする。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
103	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/5					3.0			箱形	底面は斜面で上り下りする。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
104	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/4					7.6			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
105	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/5					8.0			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
106	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/2								箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。

1区 第3包含層(土器)

器名 目次番号	通　号	出土場所	層　位	縦　度	横　度	深　度	基　底	高　度	幅　度	高さ(底面) の基準	その他の 法線(底面)	形状	断　面	内　容	色　調	備　考	
107	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 4/5				6.6	8.6			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
108	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/10	11.6			10.0	2.5			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
109	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/1				3.3	2.6			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
110	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/2				12.0	2.0			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
111	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/5				10.6	8.6	4.4		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
112	1区 H-2	第2区分層 底土層	牛牛十號 底土	縫隙 1/1					3.9			箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	外側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底部ハケ(5条 2cm)、底面のため 底面不規則。	灰白・ 灰白	外側：灰 内側：灰	全体的に 底面がむき 出している。

1区 第4包含層(土器)

器名 目次番号	通　号	出土場所	層　位	縦　度	横　度	深　度	基　底	高　度	幅　度	高さ(底面) の基準	その他の 法線(底面)	形状	断　面	内　容	色　調	備　考	
113	1区 H-G-3	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 2/3				6.6		4.2		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
114	1区 G-2	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 3/5				7.8		4.3		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
115	1区 E-2	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 1/3				10.3		6.1		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
116	1区 E-2	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 1/3				12.5		2.2		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
117	1区 E-2	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 1/3				26.5		3.0		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。
118	1区 E-2	第4区分層	牛牛十號 底土	縫隙 1/1				1.5		2.3		箱形	底面は斜面で上り下りする。 下方に底面がある。	内側：底部ハケ(5条 2cm)、エギヤマ 内側：底面のため 底面不規則。	石白・ 灰白	内側：灰 外側：灰	全体的に 底面がむき 出している。

性別	種	性成熟点	春化	越冬	稚虫/成虫	口徑 (mm)	後脚 長(毫米)	頭 (mm)	腿 (mm)	前翅 (毫米) 後翅 (毫米)	前胸 寬(毫米)	前胸 深(毫米)	その他 の量(毫米)	前足	後足	形態	調査	寄生蟹	色調	備考
♂	ミズ C-4	硬4 雌卵期	鶴山土蟻 桑	近地 2.5m			2.4			3.5							丸頭。後足爪ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點
♂	ミズ D-3.4	硬4 雌卵期	鶴山土蟻 桑	山腹 1.8m		23.3				5.1							丸頭。口器ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點
♂	ミズ D-3.4	硬4 雌卵期	鶴山土蟻 桑	近地 2.5m						3.5							丸頭。後足は外上に丸頭。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點
♂	ミズ D-3.4	硬4 雌卵期	鶴山土蟻 桑	金谷 1.5m		13.1			9.0	3.4							丸頭。後足：外上に丸頭。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點
♂	ミズ D-3.4	硬4 雌卵期	鶴山土蟻 桑	金谷 1.5m						3.5							丸頭。前脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。 後脚：足掌幅ハシラヒゲ有り。	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點	白灰、 青灰、 赤色 斑點

SK4001 (土器)

品目名 規格	種類	生地衣	著者	著者	原寸半 幅 (m)	高 度 (cm)	最大張 合 (m)	仕 様	測定 性質 (cm)	幅 度 (cm)	手の幅 (cm)	手の長 (cm)	周長	形 状	測 量	吉原作 成績	色 調	備 考
123 SK4001 1/4	現土	佐佐木芳 輔	L-175 1/10	15.8			1.6	山澤用	廣幅内引、下端を山 ににつぶみ出す。					舟型	吉原：山澤用 右元：中筋 内面：中筋 底面：無	吉原：淡黃 右元：淡黃 内面：淡黃 底面：無		
124 SK4002 1/4	現土	佐佐木芳 輔	佐佐木芳 輔	佐佐木芳 輔	1/10 1/10			5.0	山澤用	腰幅 左右外方へ大きき机 が付く。				舟型	吉原：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。 右元：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。	吉原：淡黃 右元：淡黃 内面：淡黃 底面：無		
125 SK4003 1/4	現土	井生土膏 屋	L-145 1/2	22.0			5.3	山澤用	腰幅は上より立とる から口通はる。腰幅 が付く。腰幅は腰幅 の2倍である。				舟型	吉原：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。 右元：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。	吉原：淡黃 右元：淡黃 内面：淡黃 底面：無	吉原：淡黃 右元：淡黃 内面：淡黃 底面：無		
126 SK4004 1/4	現土	佐佐木芳 輔	佐佐木芳 輔	佐佐木芳 輔	1/10 以下		17.5	5.0	腰幅 腰幅	腰幅は上より立とる から口通はる。腰幅 が付く。			舟型	吉原：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。 右元：腰幅1.5cm 内面：(1.5cm)のち腰幅 が付く。	吉原：淡 右元：淡 内面：淡 底面：無	吉原：淡 右元：淡 内面：淡 底面：無		

2区 包含層（土器）

法名	登録年	品種	原産地	栽培地	口数	株高(cm)	茎長(cm)	根幅(cm)	根深(cm)	その他の記述	特徴	形質	病害	合計株数	生育期	花期	備考			
139	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	福井35 1/10 以下						4.9	外翻。	外翻は外上方に伸び る。	外翻；瘤茎小弱。 内翻；ユビキナズム。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。 内翻；瘤茎小弱。	外系；にぶ い房型。 内翻；瘤茎 小弱。	外系；瘤 茎小弱。				
140	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	福井1 1/1					7.2	3.8	外翻。	外翻は下方に伸び る。	外翻；外上方に記 載。	外翻；瘤茎小弱。 内翻；ユビキナズム。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。 内翻；瘤茎小弱。	外系；瘤 茎小弱。	外系；瘤 茎小弱。			
141	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	福井1 1/1					6.3	3.5	外翻。	外翻は下方に伸び る。	外翻；外上方に記 載。	外翻；ユビキナズム。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。 内翻；瘤茎小弱。	外系；瘤 茎小弱。	外系；瘤 茎小弱。			
142	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽1 1/2	24.0				11.9	8.3	口一 直線。	葉部直立。口部化粧直 線。葉幅狭。葉基部は葉 幅より狭く。	葉部直立。口部化粧直 線。葉幅狭。葉基部は葉 幅より狭く。	葉部直立。口部化粧直 線。葉幅狭。葉基部は葉 幅より狭く。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	外系；にぶ い房型。 内田；桜	外系；瘤 茎小弱。			
143	2次	百合番	土浦番	門司 1/6	25.6				13.2	8.2	口一 直線。	葉部は外方にシラフ がある。葉幅狭。葉基部 は狭く、葉幅より狭く。 葉幅は狭く。	葉部は外方にシラフ がある。葉幅狭。葉基部 は狭く、葉幅より狭く。 葉幅は狭く。	葉部は外方にシラフ がある。葉幅狭。葉基部 は狭く、葉幅より狭く。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。			
144	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	口崎5 1/4	17.6				4.6	外翻。	葉部から口部直線にかけ て透やかに反らし。口 部は直線。葉基部は外方に 伸びる。	葉部から口部直線にかけ て透やかに反らし。口 部は直線。葉基部は外方に 伸びる。	外翻；口縁細か。 内翻；アラ。	外翻；口縁細か。 内翻；アラ。	外翻；口縁細か。 内翻；アラ。	外翻；口縁 細か。	外翻；口縁 細か。	外翻；口縁 細か。		
145	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	口崎6 1/8	19.4				1.6	口横斜。	口部葉大大きく外反し。 葉基部は上方にのみ 伸びる。	口部葉大大きく外反し。 葉基部は上方にのみ 伸びる。	外翻；ヨウタケのカス マギナム。	外翻；ヨウタケのカス マギナム。	外翻；ヨウタケのカス マギナム。	外翻；にぶ い房型。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。		
146	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽3 1/10 以下	18.7				1.3	口横斜。	口部横斜上端に弧曲。 葉基部は下方に弧曲。	口部横斜上端に弧曲。 葉基部は下方に弧曲。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；にぶ い房型。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。		
147	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/5					10.7	6.6	横葉。	横葉丸形。葉部外一方 へ広がる。	横葉丸形。葉部外一方 へ広がる。	横葉丸形。葉部外一方 へ広がる。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
148	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/10					12.5	3.9	外翻。	葉基部丸形に内凹して て二つ折り。葉基部上方へ 伸びる。	葉基部丸形に内凹して て二つ折り。葉基部上方へ 伸びる。	葉基部丸形に内凹して て二つ折り。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	西高、東低。 外翻；瘤茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
149	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	今体 1/10 以下					10.4	12.7	外翻。	葉部から外側へ下方へ 広がる。	葉部から外側へ下方へ 広がる。	葉部から外側へ下方へ 広がる。	外翻；難波不名。 内翻；難波不名。 内翻；アラ。	外翻；難波不名。 内翻；アラ。	外翻；難波不名。 内翻；アラ。	外翻；難波不名。 内翻；アラ。	外翻；難波不名。 内翻；アラ。	外翻；難波不名。 内翻；アラ。
150	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/10 以下					21.7	4.0	外翻。	葉部固定し直立し。葉 基部は下方へ凹曲。	葉部固定し直立し。葉 基部は下方へ凹曲。	葉部固定し直立し。葉 基部は下方へ凹曲。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
151	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽1 1/5					6.5	休眠。	休眠内蔵しながら立ち 上がる。	休眠内蔵しながら立ち 上がる。	休眠内蔵しながら立ち 上がる。	外翻；ハタケノキ/山 谷。	外翻；ハタケノキ/山 谷。	外翻；ハタケノキ/山 谷。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	
152	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/5					9.2	休眠。	外側外上方に向く。	外側外上方に向く。	外側外上方に向く。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	外翻；休眠 内蔵。	
153	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/3					6.6	6.6	外翻。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
154	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/10					6.2	2.6	外翻。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	葉部丸形にして 横葉側外上方へ伸びる。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ケヌリ。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
155	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/6					4.6	休眠。	休眠は外上方へ弧曲す る。	休眠は外上方へ弧曲す る。	休眠は外上方へ弧曲す る。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；ヨコチ。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	
156	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/1					3.6	1.9	休眠。	平根。外輪葉外一方へ 伸びる。	平根。外輪葉外一方へ 伸びる。	平根。外輪葉外一方へ 伸びる。	外翻；タケノキ(4& Q)。	外翻；タケノキ(4& Q)。	外翻；タケノキ(4& Q)。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
157	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/3					7.0	7.1	休眠。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
158	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/4					9.7	6.7	休眠。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	平根。休眠側上方へ 伸びる。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
159	2次 C-2	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/4					5.2	5.6	休眠。	口縁斜。外輪葉外一方へ 伸びる。	口縁斜。外輪葉外一方へ 伸びる。	口縁斜。外輪葉外一方へ 伸びる。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；ヨビキナズム。 内翻；ヨビキナズム。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。
160	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/10 以下					13.7					外翻；瘤茎小弱。	外翻；瘤茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。		
161	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽10 1/10 以下					23.1					外翻；口縁斜。	外翻；口縁斜。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。		
162	2次	百合番	新潟トヨタ 農業	山陽5 1/7					16.1	5.9	休眠。	休眠。口縁斜に拘る。 外輪葉外方に向かって 伸びる。根の部分が 伸びて、外輪葉を上方へ 向かって伸びる。	休眠。口縁斜に拘る。 外輪葉外方に向かって 伸びる。根の部分が 伸びて、外輪葉を上方へ 向かって伸びる。	休眠。口縁斜に拘る。 外輪葉外方に向かって 伸びる。根の部分が 伸びて、外輪葉を上方へ 向かって伸びる。	外翻；口縁斜。	外翻；口縁斜。	外翻；口縁斜。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。	外翻；瘤 茎小弱。

番号	地名	立地点	特徴	各種	理屈	上(cm)	下(cm)	最大位(cm)	底(cm)	標高(MSL)	高さ(cm)	その他の(cm)	種立	形態	異常	生物	生物	名前	角
189	2区	低き場	私有地 高さ10 cm					6.8		3.0			地盤	平地、低地は特に 見つかる。	低地、低 地帯に見 られる。	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
190	2区	生立場	私有地 高さ5 cm					3.2		2.1			地盤	低地、標高は他の一方 に比べる。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
191	2区	低き場	私有地 高さ10 cm							3.2			地盤	高さより加減の無い 傾斜地内方に張る。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
192	2区	低き場	私有地 高さ7 cm							2.3			地盤	小さな凹地、傾斜地 内方に張る。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
193	2区	私有地	生立場 高さ1 cm					3.4		2.6			地盤	平地、低地は斜の左方 に張る。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
194	2区	低き場	私有地 高さ5 cm							5.3			地盤	地盤は斜右へ 傾斜地に立ち上がる。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
195	2区	低き場	私有地 高さ1 cm					2.2		4.5			地盤	小さな平地。傾斜地 内方に張る。	内面：無 外面：無	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
196	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							2.5			地盤	標高は斜上方へ張り 出る。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
197	2区	低き場	私有地 高さ10 cm							3.3			地盤	山地は距離して、低 いところが最も多く なる。山地低部は傾 斜地。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
198	2区	私有地	生立場 高さ2 cm							3.3	4.6		地盤	山地外、斜上方へ張り 出る。傾斜地下りに張 り出る。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
199	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							15.9			地盤	2.1方に張る。通す ややくねめ。	内面：無 外面：ナメ	内面：無 外面：ナメ	内面：無	内面：無	
200	2区	私有地	生立場 高さ2 cm							3.6	3.3		地盤	斜上方へ下りてある ところが最も多く なり。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	
201	2区	私有地	生立場 高さ1 cm							12.0	7.3		地盤	斜上方へ下りてある ところに溝がある こと。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	地表の變 遷あり
202	2区	低き場	私有地 高さ10 cm							17.5			地盤	山地に内包地帯 に立つ。山地は傾 斜地でない。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	西側なども 変遷あり
203	2区	生立場	私有地 高さ5 cm							22.0			地盤	山地斜上方に張り出 る。山地低部は傾 斜地。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	西側なども 変遷あり
204	2区	低き場	私有地 高さ5 cm							6.5			地盤	低地、標高は斜上方へ 傾斜地に立ち上がる。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	西側なども 変遷あり
205	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							9.6	3.1		地盤	おおむね斜上方に張 る。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
206	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							10.8			地盤	山地斜上方に張り出 る。山地低部は傾 斜地。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
207	2区	私有地	製糖土場 高さ1 cm							5.7			地盤	一辺窓（窓蓋）で、端 壁はなく認められ。斜 上方へ下りる。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
208	2区	生立場	私有地 高さ1 cm							4.6			地盤	柱に穴あき柱と 柱頭部は斜上方へ 傾斜地に立つ。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
209	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							11.0			地盤	山地斜上方に張り出 る。山地低部は傾 斜地。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
210	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							5.9	1.4	底成り 0.7	地盤	柱に穴あき柱で、端 壁はなく認められ。斜 上方へ下りる。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
211	2区	私有地	生立場 高さ1 cm							4.3			地盤	柱に穴あき柱で、端 壁はなく認められ。斜 上方へ下りる。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
212	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							6.2			地盤	山地斜上方に張り出 る。山地低部は傾 斜地。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地
213	2区	私有地	生立場 高さ5 cm							8.3			地盤	柱に穴あき柱で、端 壁はなく認められ。斜 上方へ下りる。	内面：ナメ 外面：ナメ	内面：無 外面：無	内面：無	内面：無	底成りなし 地

品種名	規格	出荷地	種子	収量	内溝率	J	田	生産	高さ	幅	根	根出率	根出量	根出率	内溝	形	特	賞	販賣方法	外溝	備考
214	1 枚	新潟県	青梗穂	山形県 福島県 宮城県	15.2						2.4					山形へ 福島へ	内溝前半部を折りしめ、 部分で小ぶりで実に似る のみ。	外:ヨクナガデのち 百穂。内:ヨクナガデのち, 百穂。根:ヨクナガデのち, 百穂。葉:ヨクナガデのち, 百穂。茎:ヨクナガデのち, 百穂。	梅:あわらの梅のア レード。根:近江	近畿系。	
215	2 枚	佐賀県	白和賀	山形県 福島県 宮城県	11.6						2.1					群跡へ 群跡	内溝上部へ折りしめ、内溝 しだれから立ち上がり、 内溝底をよく枝の根 など。	外:ヨクナガデのち 百穂。内:ヨクナガデのち 百穂。根:ヨクナガデのち 百穂。葉:ヨクナガデのち 百穂。茎:ヨクナガデのち 百穂。	梅:ひじい 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	
216	2 枚	佐賀県	西和賀	山形県 福島県 宮城県	9.0						4.5					群跡へ 群跡	外溝はほぼほぼにしまる が、内溝はほぼほぼにしま く折める。	外:ヨクナガデのち 百穂。内:ヨクナガデのち 百穂。根:ヨクナガデのち 百穂。葉:ヨクナガデのち 百穂。茎:ヨクナガデのち 百穂。	梅:グレイ 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	
217	2 枚	筑紫野	陶香	山形県 福島県 宮城県	25.0						3.2					内溝	内溝上部へ折りしめ が立ち上がり、内溝 折れたり、内溝は 立ち上がり、内溝 底をよく枝の根 など。	外:山形県、川崎市 内:山形県、川崎市	梅:黄葉 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	
218	2 枚	佐賀県	赤豊	山形県 福島県 宮城県	—						5.5	5.3				内溝	作風から内溝し、内 溝は立ち上がり、 内溝へ立ち上がる。	外:山形チバ 内:山形チバ 根:山形チバ 葉:山形チバ 茎:山形チバ 枝:山形チバ	梅:白梅 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	
219	2 枚	筑紫野	鹿島春	山形県 福島県 宮城県	13.6						1.8					内溝	作風上部へは内溝 折れたり、内溝は 立ち上がり、内溝 底をよく枝の根 など。	外:山形県 内:山形県 根:山形県 葉:山形県 茎:山形県 枝:山形県	梅:白梅 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	
220	2 枚	筑紫野	深秀若	山形県 福島県 宮城県	11.0						2.8					山形へ 福島へ	全株に丸みを帯びたカーブ で、穂をかき立てる。内溝 は立ち上がり、内溝 底をよく枝の根 など。	外:山形チバ 内:山形チバ 根:山形チバ 葉:山形チバ 茎:山形チバ 枝:山形チバ	梅:白梅 豆:豆みの豆のア レード。根:伏爪	近畿系、 豆。	

包含層（石器）

品種名	属	出产地	葉型	石臼	花被	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(mm)	重量(g)	その他(花被)	残存率	説明	備考
221	セイヨウ	生毛櫻	テスカイ	右脚	3.3	1.4	0.4	1.6		/		注記: 右脚は通常の三角印を もつたる「脚」を指す。	

縹文土器

徳島県埋蔵文化財センター調査報告書 第62集

四国横断自動車道建設に伴う

埋蔵文化財発掘調査報告

(本文編 第2分冊)

発行日 平成17年9月30日

編集 財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

〒779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字平山86番2

TEL (088) 672-4545

発行 徳島県教育委員会

財団法人 徳島県埋蔵文化財センター

日本道路公団

印刷 株式会社 教育出版センター